

日野市男女平等についての 市民意識アンケート調査結果報告書

令和6年12月

日 野 市

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2
1	回答者属性.....	2
2	男女平等に関する意識や教育について.....	5
3	日頃の生活について.....	20
4	仕事について.....	38
5	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について.....	47
6	性のあり方に関することについて.....	56
7	女性支援新法に関することについて.....	62
8	配偶者暴力防止法に関することについて.....	65
9	市が取り組むべきこと.....	79
III	調査票.....	81

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民のみなさまから男女平等に関するご意見やご感想をお聞きし、今後の施策を検討するための基礎資料とさせていただくことを目的に実施いたします。

2 調査対象

18 歳から 89 歳までの市民 2,000 人を無作為に抽出

3 調査期間

令和 6 年 7 月 30 日から令和 6 年 8 月 31 日

4 調査方法

郵送配付・回収、Web による調査

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000通	738通	36.9%

6 調査結果の表示方法

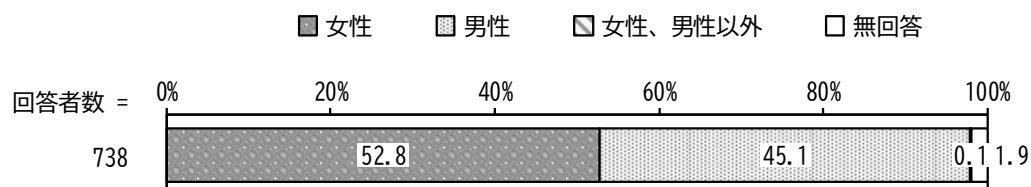
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が 1 桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が 1 桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果

1 回答者属性

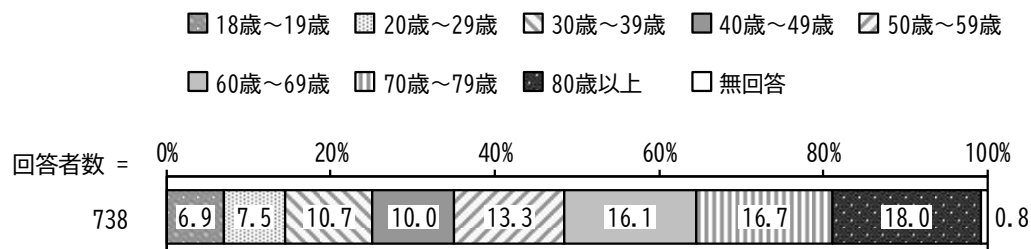
問1 あなたの自認する性別をお答えください。(○は1つ)

「女性」の割合が52.8%、「男性」の割合が45.1%となっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

「80歳以上」の割合が18.0%と最も高く、次いで「70歳～79歳」の割合が16.7%、「60歳～69歳」の割合が16.1%となっています。



【性別】

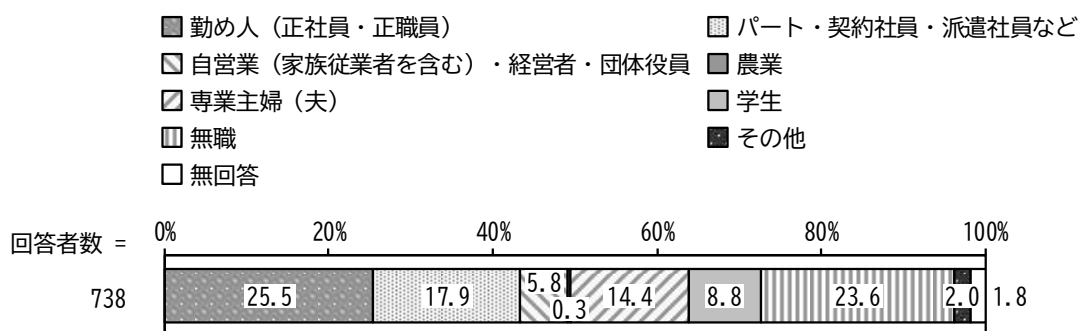
男女別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	18歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上	無回答
全 体	738	6.9	7.5	10.7	10.0	13.3	16.1	16.7	18.0	0.8
女性	390	7.7	8.2	12.8	11.0	15.6	15.6	13.3	15.1	0.5
男性	333	6.3	6.6	8.7	9.3	11.1	16.8	20.4	20.7	—
女性、男性以外	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—

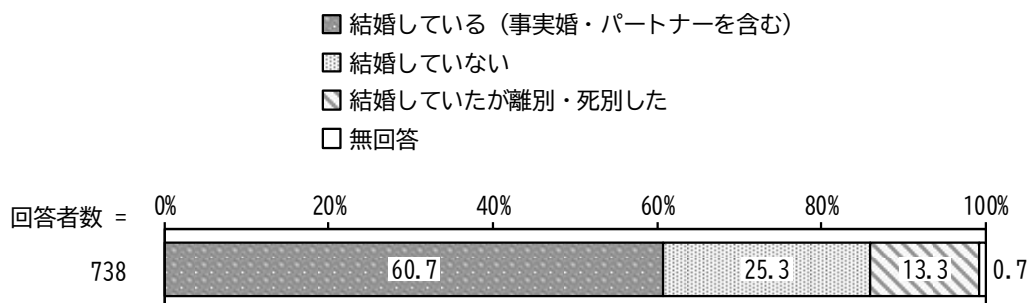
問3 あなたのご職業をお答えください。(○は1つ)

「勤め人（正社員・正職員）」の割合が 25.5%と最も高く、次いで「無職」の割合が 23.6%、「パート・契約社員・派遣社員など」の割合が 17.9%となっています。



問4 あなたは結婚されていますか。(○は1つ)

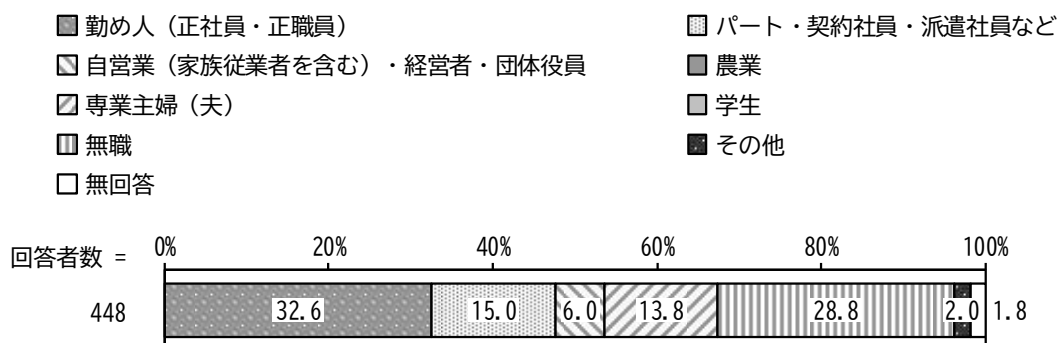
「結婚している（事実婚・パートナーを含む）」の割合が 60.7%と最も高く、次いで「結婚していない」の割合が 25.3%、「結婚していたが離別・死別した」の割合が 13.3%となっています。



問4で「結婚している（事実婚・パートナーを含む）」とお答えの方にお伺いします。

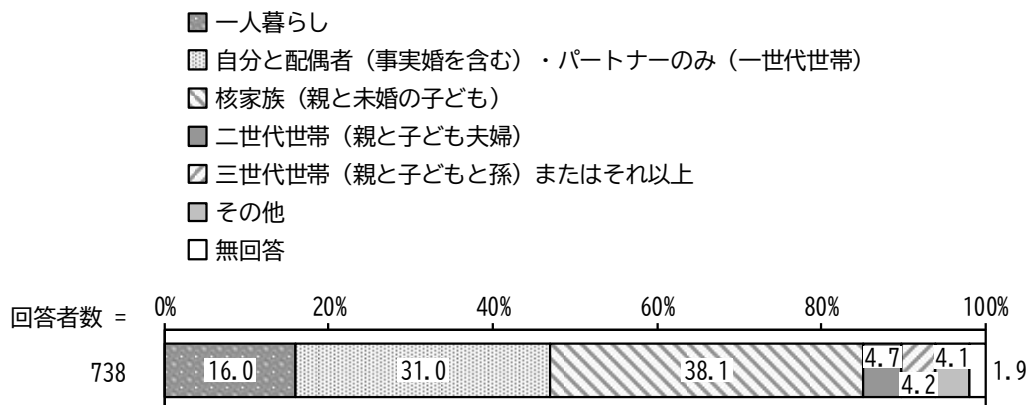
問4-1 あなたのパートナーのご職業をお答えください。(○は1つ)

「勤め人（正社員・正職員）」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「無職」の割合が 28.8%、「パート・契約社員・派遣社員など」の割合が 15.0%となっています。



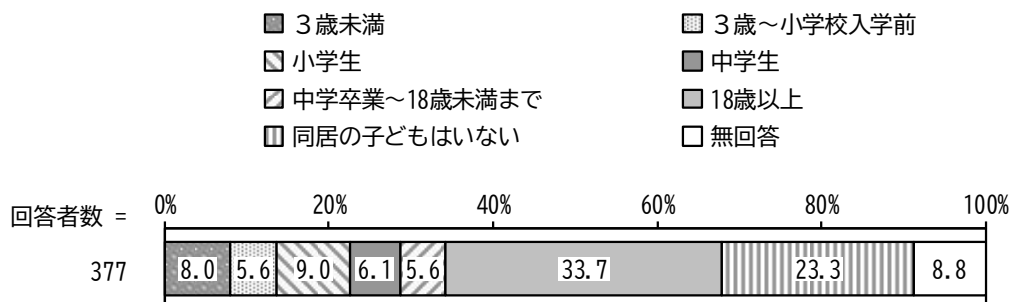
問5 あなたの世帯構成をお答えください。(○は1つ)

「核家族（親と未婚の子ども）」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「自分と配偶者（事実婚を含む）・パートナーのみ（一世代世帯）」の割合が 31.0%、「一人暮らし」の割合が 16.0%となっています。



問6 同居のお子さんがある方は一番下のお子さんの年齢をお答えください。(○は1つ)

「18歳以上」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「同居の子どもはいない」の割合が 23.3%となっています。

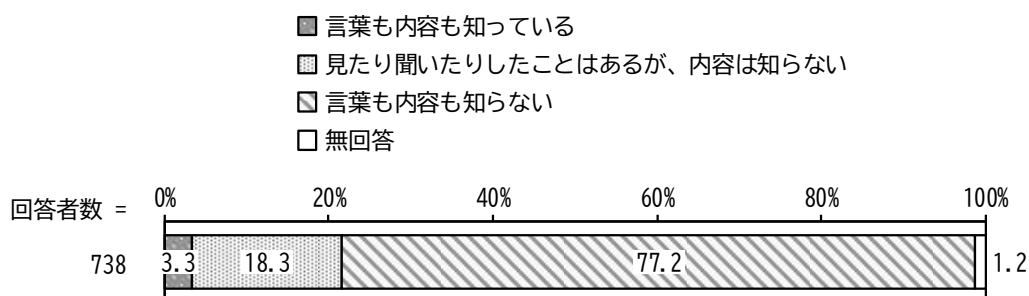


2 男女平等に関する意識や教育について

問7 「日野市立男女平等推進センター「ふらっと」」についてお伺いします。

(1) 「日野市立男女平等推進センター「ふらっと」」を知っていますか。(〇は1つ)

「言葉も内容も知らない」の割合が77.2%と最も高く、次いで「見たり聞いたりしたことはあるが、内容は知らない」の割合が18.3%となっています。



【性・年代別】

性・年代別にみると、女性20歳～29歳、男性18歳～19歳、20歳～29歳で「言葉も内容も知らない」の割合が高くなっています。

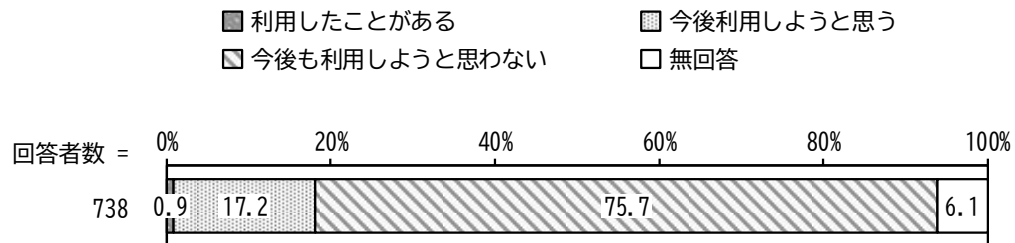
単位：%

区分	回答者数 (件)	言葉も 内容も 知っ ている	見たり聞いたりしたことはあるが、内容は知らない	言葉も内容も知らない	無回答
全 体	738	3.3	18.3	77.2	1.2
女性 18歳～19歳	30	—	10.0	90.0	—
女性 20歳～29歳	32	—	3.1	96.9	—
女性 30歳～39歳	50	2.0	16.0	82.0	—
女性 40歳～49歳	43	—	32.6	67.4	—
女性 50歳～59歳	61	4.9	19.7	75.4	—
女性 60歳～69歳	61	1.6	21.3	77.0	—
女性 70歳～79歳	52	3.8	25.0	69.2	1.9
女性 80歳以上	59	5.1	30.5	64.4	—
男性 18歳～19歳	21	—	4.8	95.2	—
男性 20歳～29歳	22	—	4.5	95.5	—
男性 30歳～39歳	29	3.4	17.2	79.3	—
男性 40歳～49歳	31	3.2	19.4	77.4	—
男性 50歳～59歳	37	—	10.8	86.5	2.7
男性 60歳～69歳	56	—	8.9	89.3	1.8
男性 70歳～79歳	68	10.3	14.7	72.1	2.9
男性 80歳以上	69	7.2	24.6	63.8	4.3

(2)「日野市立男女平等推進センター「ふらっと」」を利用していますか(利用したいですか)。

(○は1つ)

「今後も利用しようと思わない」の割合が 75.7%と最も高く、次いで「今後利用しようと思う」の割合が 17.2%となっています。



【性・年代別】

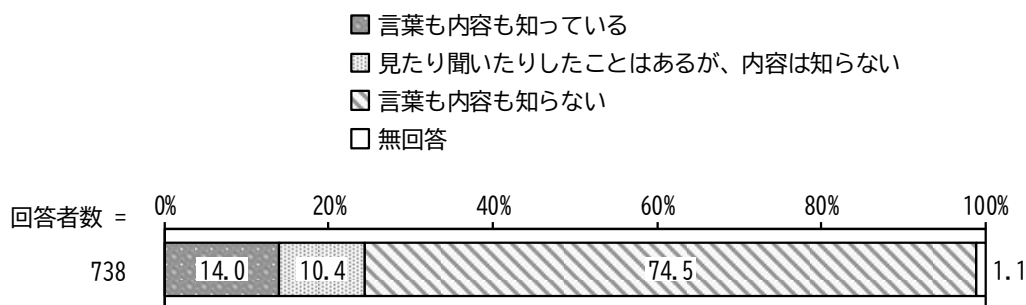
性・年代別にみると、男性 40 歳～49 歳で「今後利用しようと思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	利用したことがある	今後利用しようと思う	今後利用しようと思わない	無回答
全 体	738	0.9	17.2	75.7	6.1
女性 18 歳～19 歳	30	—	13.3	83.3	3.3
女性 20 歳～29 歳	32	—	15.6	81.3	3.1
女性 30 歳～39 歳	50	—	28.0	70.0	2.0
女性 40 歳～49 歳	43	—	23.3	76.7	—
女性 50 歳～59 歳	61	4.9	21.3	68.9	4.9
女性 60 歳～69 歳	61	1.6	27.9	59.0	11.5
女性 70 歳～79 歳	52	1.9	13.5	69.2	15.4
女性 80 歳以上	59	1.7	6.8	88.1	3.4
男性 18 歳～19 歳	21	—	9.5	90.5	—
男性 20 歳～29 歳	22	—	13.6	86.4	—
男性 30 歳～39 歳	29	—	17.2	82.8	—
男性 40 歳～49 歳	31	—	32.3	67.7	—
男性 50 歳～59 歳	37	—	10.8	83.8	5.4
男性 60 歳～69 歳	56	—	14.3	80.4	5.4
男性 70 歳～79 歳	68	1.5	11.8	79.4	7.4
男性 80 歳以上	69	—	14.5	71.0	14.5

問8 あなたは「アンコンシャス・バイアス」という言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。(○は1つ)

「言葉も内容も知らない」の割合が74.5%と最も高く、次いで「言葉も内容も知っている」の割合が14.0%、「見たり聞いたりしたことはあるが、内容は知らない」の割合が10.4%となっています。



【性・年代別】

性・年代別にみると、男性 40 歳～49 歳で「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。

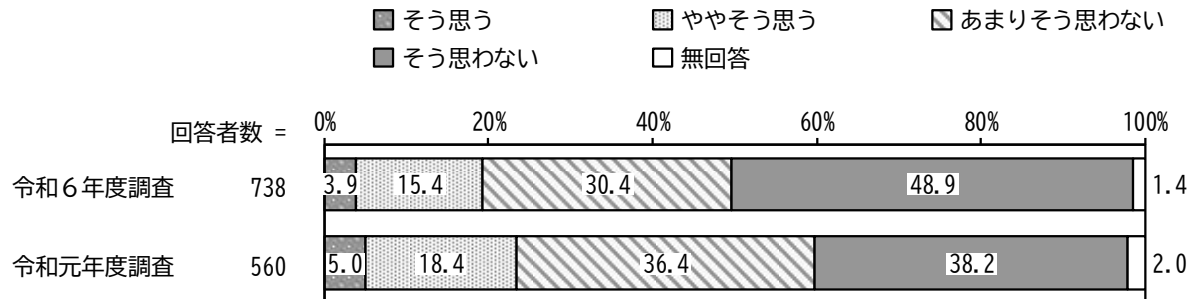
単位：％

区分	回答者数 (件)	言葉も 内容も知っ ている	見たり聞いたりし たことはあるが、内 容は知らない	言葉も 内容も知ら ない	無 回 答
全 体	738	14.0	10.4	74.5	1.1
女性 18 歳～19 歳	30	16.7	13.3	70.0	—
女性 20 歳～29 歳	32	18.8	12.5	68.8	—
女性 30 歳～39 歳	50	10.0	26.0	64.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	14.0	11.6	72.1	2.3
女性 50 歳～59 歳	61	18.0	9.8	72.1	—
女性 60 歳～69 歳	61	13.1	14.8	72.1	—
女性 70 歳～79 歳	52	3.8	7.7	88.5	—
女性 80 歳以上	59	5.1	6.8	88.1	—
男性 18 歳～19 歳	21	4.8	9.5	85.7	—
男性 20 歳～29 歳	22	22.7	13.6	63.6	—
男性 30 歳～39 歳	29	24.1	17.2	58.6	—
男性 40 歳～49 歳	31	32.3	6.5	61.3	—
男性 50 歳～59 歳	37	24.3	8.1	64.9	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	19.6	5.4	73.2	1.8
男性 70 歳～79 歳	68	14.7	4.4	79.4	1.5
男性 80 歳以上	69	2.9	10.1	82.6	4.3

問9 あなたは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について
どのように思われますか。(〇は1つ)

「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が19.3%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が79.3%となっています。

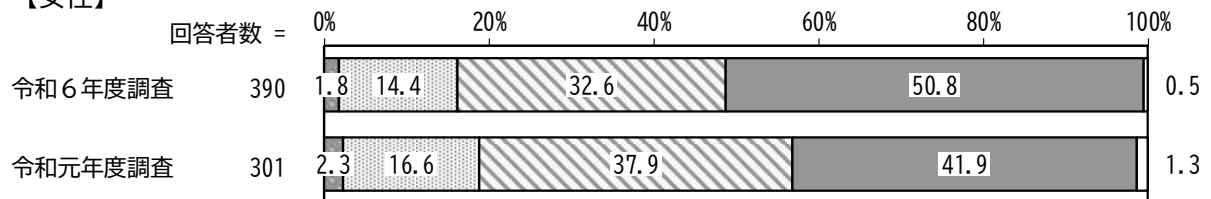
令和元年度調査と比較すると、“そう思わない”の割合が増加しています。



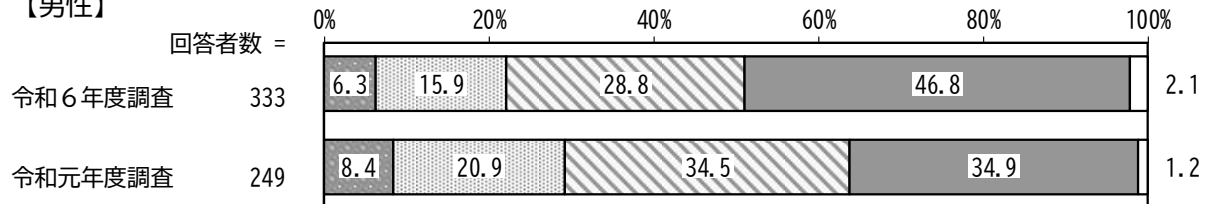
【男女別にみた経年比較】

男女別に令和元年度調査と比較すると、男女とも“そう思わない”の割合が増加しています。

【女性】



【男性】



【性・年代別】

性・年代別にみると、女性 20 歳～29 歳、60 歳～69 歳で“そう思わない”の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない	無 回 答
全 体	738	3.9	15.4	30.4	48.9	1.4
女性 18 歳～19 歳	30	—	13.3	23.3	63.3	—
女性 20 歳～29 歳	32	—	3.1	37.5	59.4	—
女性 30 歳～39 歳	50	4.0	14.0	40.0	42.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	2.3	27.9	27.9	39.5	2.3
女性 50 歳～59 歳	61	—	16.4	37.7	45.9	—
女性 60 歳～69 歳	61	—	3.3	41.0	55.7	—
女性 70 歳～79 歳	52	1.9	23.1	17.3	55.8	1.9
女性 80 歳以上	59	5.1	13.6	30.5	50.8	—
男性 18 歳～19 歳	21	—	9.5	52.4	38.1	—
男性 20 歳～29 歳	22	4.5	22.7	18.2	54.5	—
男性 30 歳～39 歳	29	—	20.7	27.6	51.7	—
男性 40 歳～49 歳	31	6.5	6.5	38.7	48.4	—
男性 50 歳～59 歳	37	5.4	18.9	21.6	51.4	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	1.8	8.9	21.4	64.3	3.6
男性 70 歳～79 歳	68	7.4	22.1	29.4	39.7	1.5
男性 80 歳以上	69	14.5	15.9	30.4	34.8	4.3

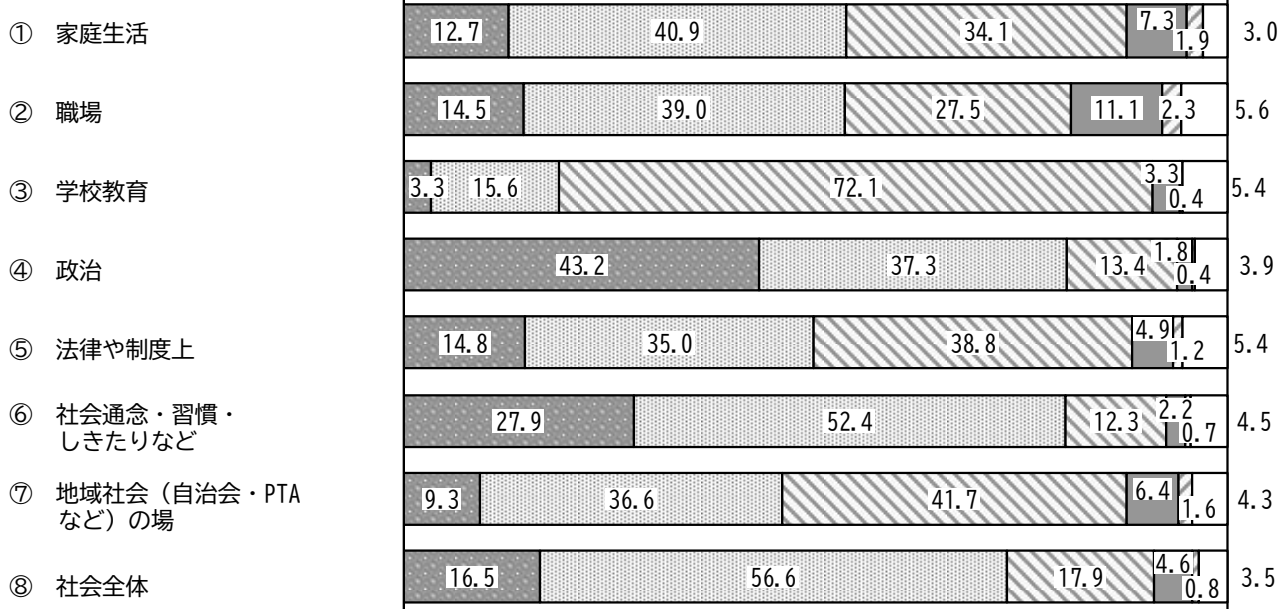
問 10 次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

『③ 学校教育』で「平等」の割合が高く、約7割となっています。

一方、『④ 政治』、『⑥ 社会通念・習慣・しきたりなど』で「男性の方が優遇されている」と「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」をあわせた“男性の方が優遇されている”の割合が高く、約8割となっています。

- 男性の方が優遇されている
- ▨ どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ▤ 平等
- ▧ どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- 無回答

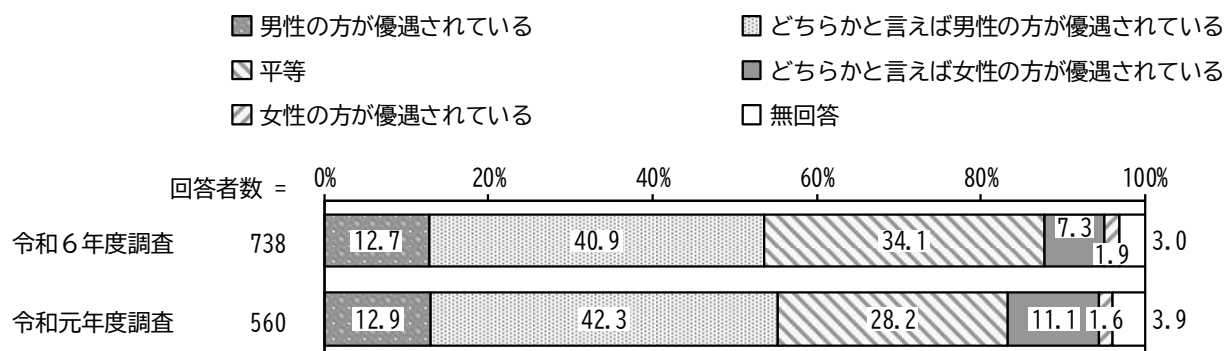
回答者数 = 738



① 家庭生活

【経年比較】

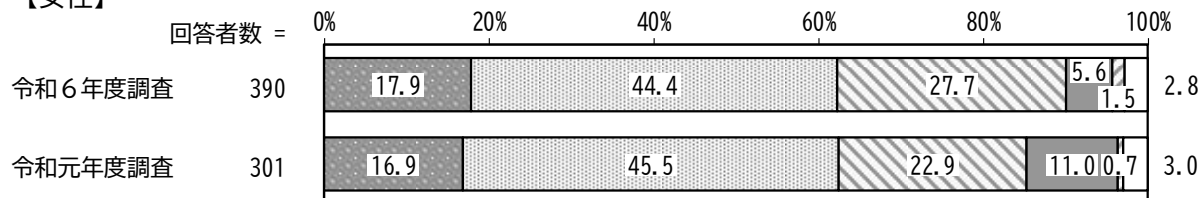
令和元年度調査と比較すると、「平等」の割合が増加しています。



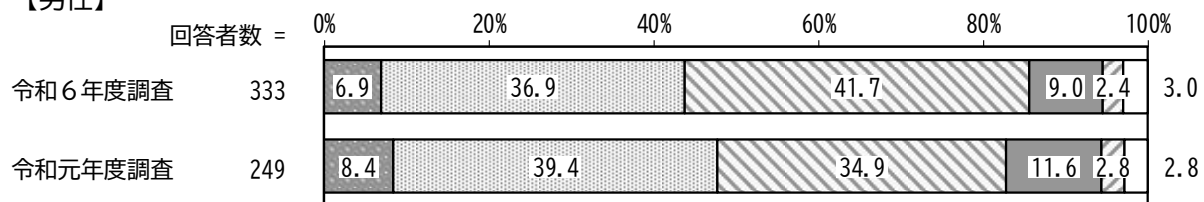
【男女別にみた経年比較】

男女別に令和元年度調査と比較すると、男女とも「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」と「女性の方が優遇されている」をあわせた“女性の方が優遇されている”の割合が減少し、「平等」の割合が増加しています。また、男性で“男性の方が優遇されている”の割合が減少しています。

【女性】



【男性】



【性・年代別】

性・年代別にみると、男性 18 歳～19 歳で「平等」の割合が高くなっています。また、女性 40 歳～49 歳、70 歳～79 歳で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	男性の方が 優遇されている	どちらかと言えば 男性の方が優遇されて いる	平等	どちらかと言えば 女性の方が優遇されて いる	女性の方が優遇されて いる	無回答
全 体	738	12.7	40.9	34.1	7.3	1.9	3.0
女性 18 歳～19 歳	30	16.7	30.0	36.7	16.7	—	—
女性 20 歳～29 歳	32	12.5	40.6	21.9	21.9	3.1	—
女性 30 歳～39 歳	50	22.0	28.0	40.0	4.0	2.0	4.0
女性 40 歳～49 歳	43	20.9	51.2	16.3	9.3	—	2.3
女性 50 歳～59 歳	61	24.6	39.3	26.2	3.3	4.9	1.6
女性 60 歳～69 歳	61	11.5	55.7	27.9	1.6	—	3.3
女性 70 歳～79 歳	52	19.2	57.7	21.2	—	1.9	—
女性 80 歳以上	59	13.6	45.8	30.5	1.7	—	8.5
男性 18 歳～19 歳	21	—	19.0	61.9	9.5	9.5	—
男性 20 歳～29 歳	22	9.1	22.7	50.0	18.2	—	—
男性 30 歳～39 歳	29	—	41.4	41.4	6.9	3.4	6.9
男性 40 歳～49 歳	31	—	25.8	48.4	19.4	6.5	—
男性 50 歳～59 歳	37	5.4	37.8	45.9	10.8	—	—
男性 60 歳～69 歳	56	12.5	33.9	35.7	10.7	3.6	3.6
男性 70 歳～79 歳	68	10.3	44.1	38.2	4.4	1.5	1.5
男性 80 歳以上	69	7.2	44.9	36.2	4.3	—	7.2

【性別】

男女別にみると、女性では、“男性の方が優遇されている”の割合が男性よりも高くなっています。また、男性では、「平等」の割合が女性よりも高くなっています。

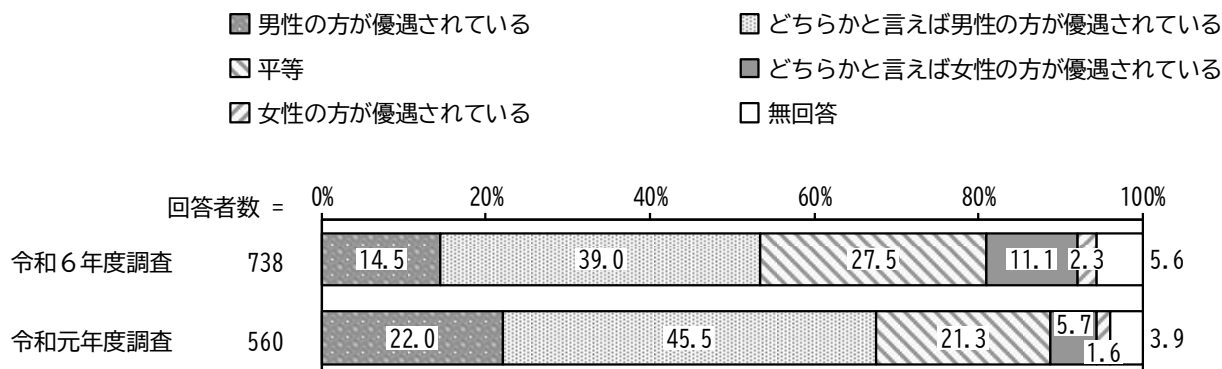
単位：％

区分	回答者数（件）	男性の方が 優遇されている	どちらかと言えば 男性の方が優遇されて いる	平等	どちらかと言えば 女性の方が優遇されて いる	女性の方が優遇されて いる	無回答
全 体	738	12.7	40.9	34.1	7.3	1.9	3.0
女性	390	17.9	44.4	27.7	5.6	1.5	2.8
男性	333	6.9	36.9	41.7	9.0	2.4	3.0
女性、男性以外	1	—	—	—	100.0	—	—

② 職場

【経年比較】

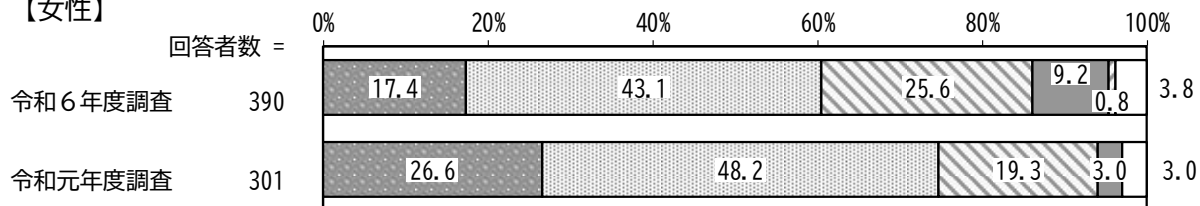
令和元年度調査と比較すると、「平等」、「女性の方が優遇されている」の割合が増加しています。



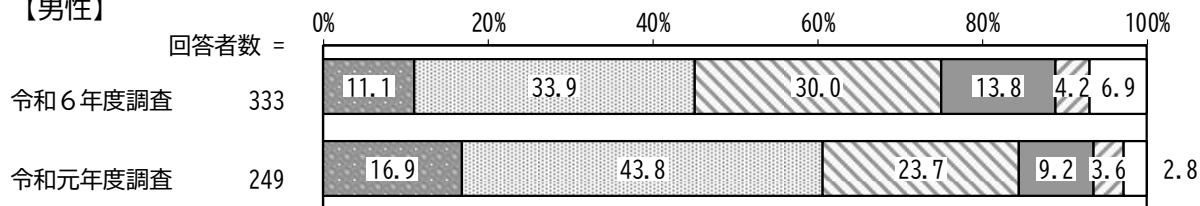
【男女別にみた経年比較】

男女別に令和元年度調査と比較すると、男女とも、「平等」、「女性の方が優遇されている」の割合が増加しています。

【女性】



【男性】



【性・年代別】

性・年代別にみると、男性 18 歳～19 歳で「平等」の割合が高くなっています。また、女性 70 歳～79 歳で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性の方が 優遇さ れている	どちらかと言え ば男性の方が 優遇さ れている	平 等	どちらかと言え ば女性の方が 優遇さ れている	女性の方が 優遇さ れている	無 回 答
全 体	738	14.5	39.0	27.5	11.1	2.3	5.6
女性 18 歳～19 歳	30	10.0	30.0	40.0	13.3	3.3	3.3
女性 20 歳～29 歳	32	9.4	43.8	28.1	18.8	—	—
女性 30 歳～39 歳	50	12.0	30.0	34.0	20.0	2.0	2.0
女性 40 歳～49 歳	43	23.3	34.9	34.9	4.7	—	2.3
女性 50 歳～59 歳	61	19.7	37.7	29.5	11.5	—	1.6
女性 60 歳～69 歳	61	16.4	55.7	18.0	8.2	—	1.6
女性 70 歳～79 歳	52	25.0	55.8	11.5	1.9	1.9	3.8
女性 80 歳以上	59	18.6	45.8	20.3	1.7	—	13.6
男性 18 歳～19 歳	21	4.8	14.3	57.1	23.8	—	—
男性 20 歳～29 歳	22	4.5	36.4	31.8	22.7	4.5	—
男性 30 歳～39 歳	29	6.9	20.7	31.0	24.1	13.8	3.4
男性 40 歳～49 歳	31	3.2	22.6	19.4	35.5	19.4	—
男性 50 歳～59 歳	37	18.9	27.0	29.7	24.3	—	—
男性 60 歳～69 歳	56	8.9	32.1	41.1	8.9	5.4	3.6
男性 70 歳～79 歳	68	11.8	47.1	27.9	5.9	—	7.4
男性 80 歳以上	69	17.4	42.0	18.8	—	—	21.7

【性別】

男女別にみると、女性では、“男性の方が優遇されている”の割合が男性よりも高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性の方が 優遇さ れている	どちらかと言え ば男性の方が 優遇さ れている	平 等	どちらかと言え ば女性の方が 優遇さ れている	女性の方が 優遇さ れている	無 回 答
全 体	738	14.5	39.0	27.5	11.1	2.3	5.6
女性	390	17.4	43.1	25.6	9.2	0.8	3.8
男性	333	11.1	33.9	30.0	13.8	4.2	6.9
女性、男性以外	1	—	—	100.0	—	—	—

③ 学校教育

【性別】

男女別にみると、女性では、“男性の方が優遇されている”の割合が男性よりも高くなっています。また、男性では、「平等」の割合が女性よりも高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性の方が 優遇さ れている	どちらかと言え ば男性の方が 優遇さ れている	平 等	どちらかと言え ば女性の方が 優遇さ れている	女性の方が 優遇さ れている	無回 答
全 体	738	3.3	15.6	72.1	3.3	0.4	5.4
女性	390	5.4	18.5	68.2	3.1	0.3	4.6
男性	333	0.6	12.6	76.9	3.6	0.6	5.7
女性、男性以外	1	—	—	100.0	—	—	—

④ 政治

【性別】

男女別にみると、女性では、“男性の方が優遇されている”の割合が男性よりも高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性の方が 優遇さ れている	どちらかと言え ば男性の方が 優遇さ れている	平 等	どちらかと言え ば女性の方が 優遇さ れている	女性の方が 優遇さ れている	無回 答
全 体	738	43.2	37.3	13.4	1.8	0.4	3.9
女性	390	53.3	34.6	7.9	0.5	0.3	3.3
男性	333	32.4	40.8	18.9	3.3	0.6	3.9
女性、男性以外	1	—	—	100.0	—	—	—

⑤ 法律や制度上

【性別】

男女別にみると、女性では、“男性の方が優遇されている”の割合が男性よりも高くなっています。また、男性では、「平等」の割合が女性よりも高くなっています。

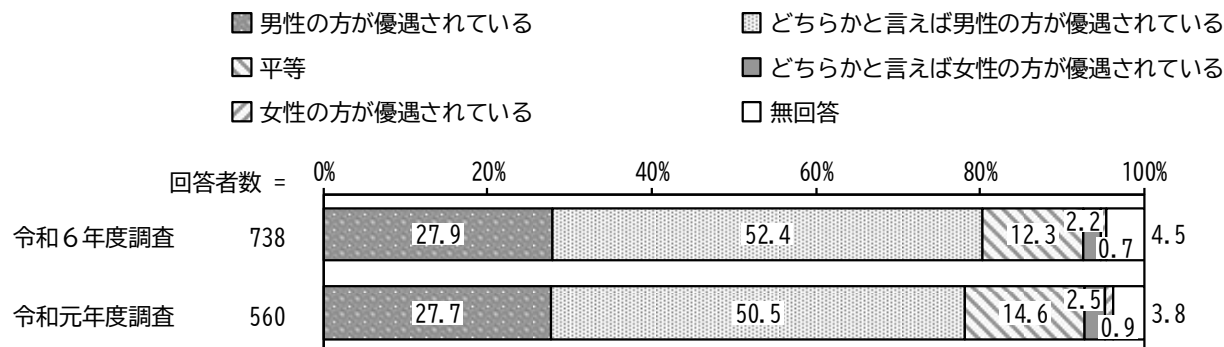
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性の方が 優遇さ れている	どちらかと言え ば男性の方が 優遇さ れている	平 等	どちらかと言え ば女性の方が 優遇さ れている	女性の方が 優遇さ れている	無回 答
全 体	738	14.8	35.0	38.8	4.9	1.2	5.4
女性	390	21.3	39.7	30.3	3.6	0.5	4.6
男性	333	7.8	28.5	49.2	6.6	2.1	5.7
女性、男性以外	1	—	100.0	—	—	—	—

⑥ 社会通念・習慣・しきたりなど

【経年比較】

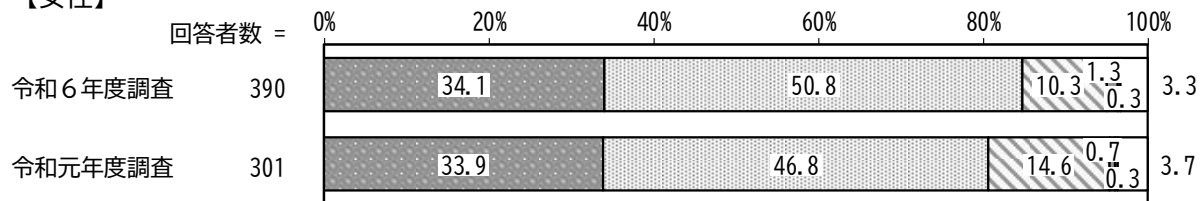
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



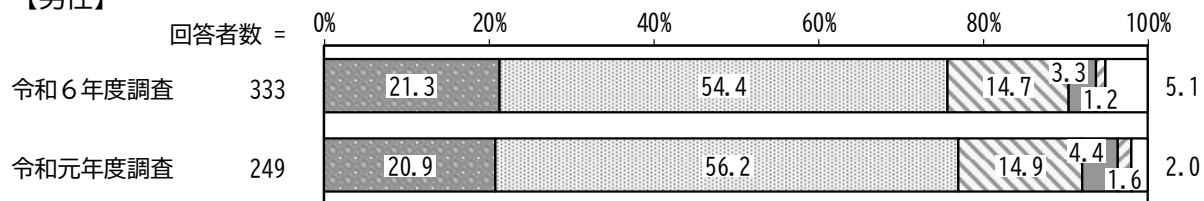
【男女別にみた経年比較】

男女別に令和元年度調査と比較すると、男女とも、大きな変化はみられません。

【女性】



【男性】



【性・年代別】

性・年代別にみると、女性 30 歳～39 歳、50 歳～59 歳、60 歳～69 歳で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。また、男性 18 歳～19 歳で「平等」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性の方が 優遇さ れている	どちらかと言え ば男性の方が 優遇さ れている	平 等	どちらかと言え ば女性の方が 優遇さ れている	女性の方が 優遇さ れている	無 回 答
全 体	738	27.9	52.4	12.3	2.2	0.7	4.5
女性 18 歳～19 歳	30	43.3	26.7	16.7	10.0	—	3.3
女性 20 歳～29 歳	32	40.6	46.9	12.5	—	—	—
女性 30 歳～39 歳	50	42.0	48.0	6.0	2.0	—	2.0
女性 40 歳～49 歳	43	34.9	48.8	14.0	—	—	2.3
女性 50 歳～59 歳	61	36.1	55.7	3.3	1.6	—	3.3
女性 60 歳～69 歳	61	32.8	59.0	6.6	—	—	1.6
女性 70 歳～79 歳	52	32.7	50.0	11.5	—	1.9	3.8
女性 80 歳以上	59	18.6	55.9	16.9	—	—	8.5
男性 18 歳～19 歳	21	14.3	47.6	33.3	—	4.8	—
男性 20 歳～29 歳	22	36.4	27.3	18.2	18.2	—	—
男性 30 歳～39 歳	29	13.8	58.6	13.8	6.9	3.4	3.4
男性 40 歳～49 歳	31	22.6	48.4	19.4	6.5	3.2	—
男性 50 歳～59 歳	37	18.9	56.8	16.2	2.7	2.7	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	26.8	57.1	10.7	1.8	—	3.6
男性 70 歳～79 歳	68	26.5	55.9	13.2	1.5	—	2.9
男性 80 歳以上	69	13.0	60.9	10.1	—	—	15.9

【性別】

男女別にみると、女性では、“男性の方が優遇されている”の割合が男性よりも高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性の方が 優遇さ れている	どちらかと言え ば男性の方が 優遇さ れている	平 等	どちらかと言え ば女性の方が 優遇さ れている	女性の方が 優遇さ れている	無 回 答
全 体	738	27.9	52.4	12.3	2.2	0.7	4.5
女性	390	34.1	50.8	10.3	1.3	0.3	3.3
男性	333	21.3	54.4	14.7	3.3	1.2	5.1
女性、男性以外	1	—	100.0	—	—	—	—

⑦ 地域社会（自治会・PTA など）の場

【性別】

男女別にみると、女性では、“男性の方が優遇されている”の割合が男性よりも高くなっています。また、男性では、「平等」の割合が特に女性よりも高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男性の方が 優遇さ れている	どちらかと言え ば男性の方が 優遇さ れている	平 等	どちらかと言え ば女性の方が 優遇さ れている	女性の方が 優遇さ れている	無 回 答
全 体	738	9.3	36.6	41.7	6.4	1.6	4.3
女性	390	14.1	40.5	36.7	4.1	1.3	3.3
男性	333	4.2	32.1	47.7	9.0	2.1	4.8
女性、男性以外	1	—	—	100.0	—	—	—

⑧ 社会全体

【性別】

男女別にみると、女性では、“男性の方が優遇されている”の割合が男性よりも高くなっています。

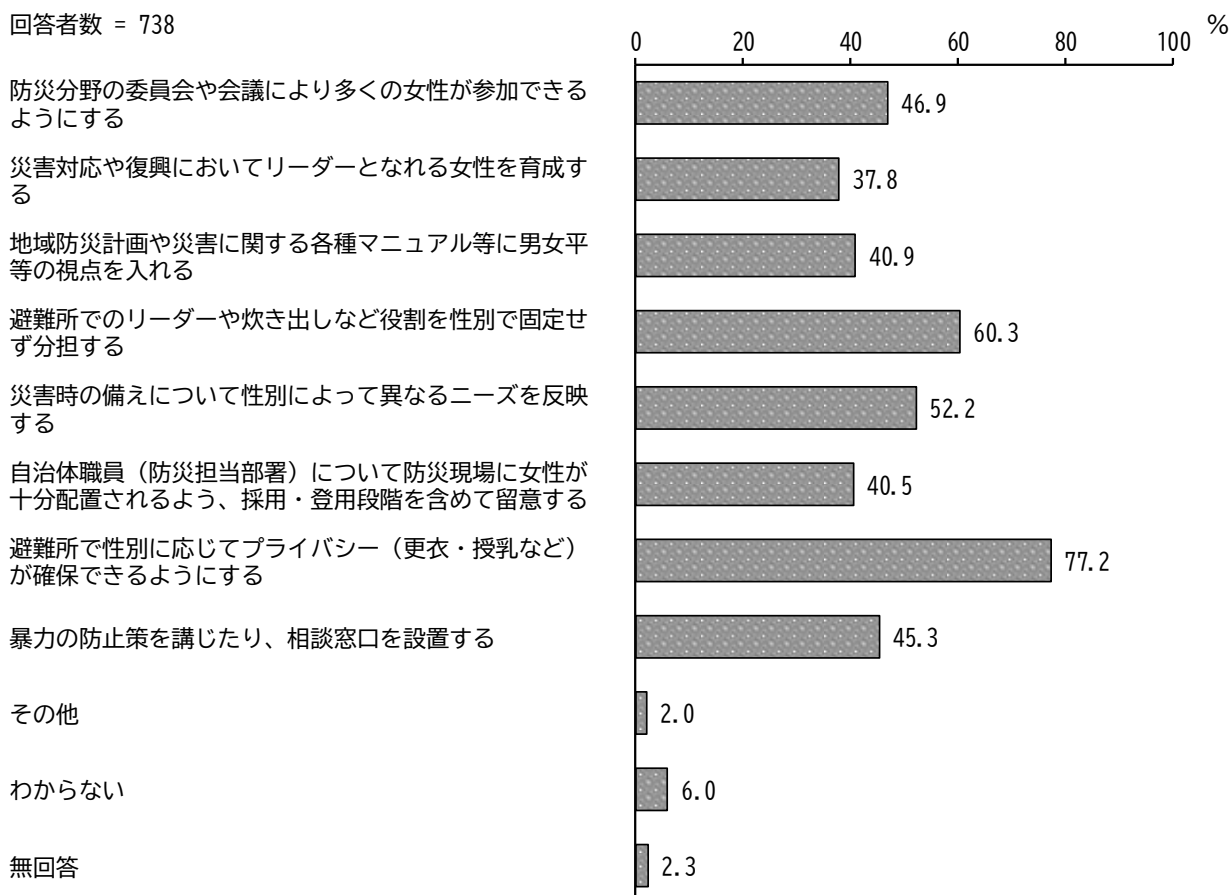
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性の方が 優遇さ れている	どちらかと言え ば男性の方が 優遇さ れている	平 等	どちらかと言え ば女性の方が 優遇さ れている	女性の方が 優遇さ れている	無 回 答
全 体	738	16.5	56.6	17.9	4.6	0.8	3.5
女性	390	22.8	57.4	14.6	1.5	0.3	3.3
男性	333	9.9	55.6	21.6	8.1	1.5	3.3
女性、男性以外	1	—	—	—	100.0	—	—

問 11 防災分野で男女平等の視点を活かすために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「避難所で性別に応じてプライバシー（更衣・授乳など）が確保できるようにする」の割合が77.2%と最も高く、次いで「避難所でのリーダーや炊き出しなど役割を性別で固定せず分担する」の割合が60.3%、「災害時の備えについて性別によって異なるニーズを反映する」の割合が52.2%となっています。

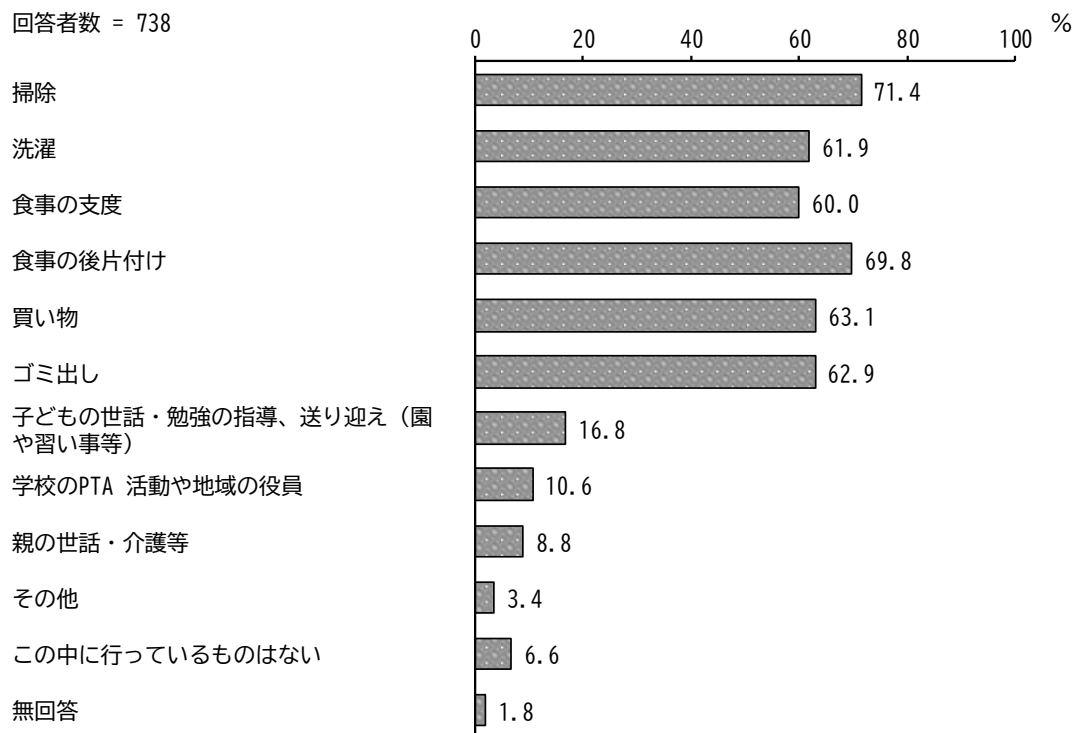
回答者数 = 738



3 日頃の生活について

問 12 次の中からあなたが主に行っているものをお答えください。(〇はいくつでも)

「掃除」の割合が 71.4%と最も高く、次いで「食事の後片付け」の割合が 69.8%、「買い物」の割合が 63.1%となっています。



【性別】

男女別にみると、女性では、「食事の支度」の割合が特に男性よりも高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	掃除	洗濯	食事の 支度	食事の 後片付け	買い物	ゴミ出し	子どもの世話・勉強の指導、 送り迎え（園や習い事等）	学校のPTA 活動や地域の 役員	親の世話・介護等	その他	この中 に行っ ている もの は な い	無 回 答
全 体	738	71.4	61.9	60.0	69.8	63.1	62.9	16.8	10.6	8.8	3.4	6.6	1.8
女性	390	79.0	78.5	79.7	76.4	70.3	62.6	24.6	14.9	10.5	3.3	6.4	1.5
男性	333	63.4	43.8	37.5	62.8	55.3	63.1	8.4	5.7	6.6	3.3	6.3	2.1
女性、男性以外	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—

問 13 あなたが行っている家事・子育て・介護などに関わる1日あたりの平均従事時間はどのくらいですか。(○はそれぞれ1つずつ)

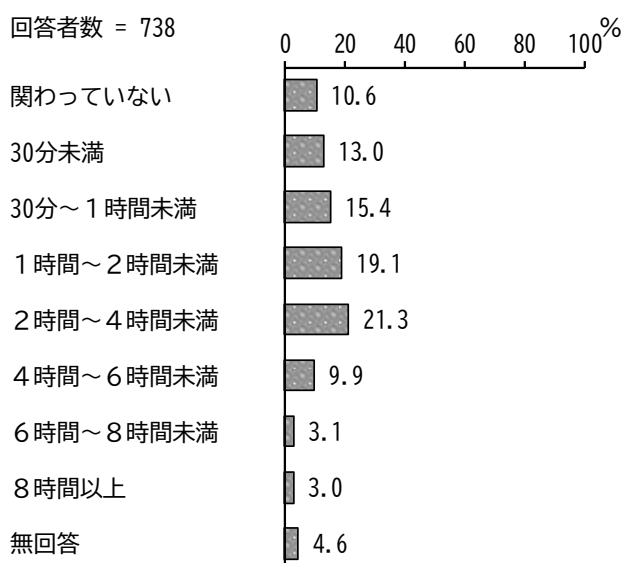
①家事

平日では、「2時間～4時間未満」の割合が21.3%と最も高く、次いで「1時間～2時間未満」の割合が19.1%、「30分～1時間未満」の割合が15.4%となっています。

休日では、「2時間～4時間未満」の割合が21.7%と最も高く、次いで「1時間～2時間未満」の割合が20.9%、「30分～1時間未満」の割合が13.6%となっています。

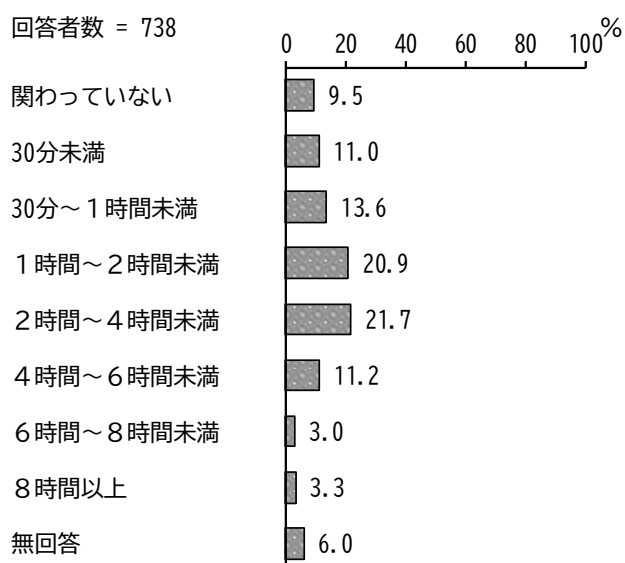
【平日 家事】

回答者数 = 738



【休日 家事】

回答者数 = 738



【性別】

<平日 家事>

男女別にみると、女性では、「2時間～4時間未満」から「8時間以上」をあわせた“2時間以上”の割合が男性よりも高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	関わっていない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～4時間未満	4時間～6時間未満	6時間～8時間未満	8時間以上	無回答
全 体	738	10.6	13.0	15.4	19.1	21.3	9.9	3.1	3.0	4.6
女性	390	6.4	7.4	8.7	17.9	29.2	15.9	5.9	5.4	3.1
男性	333	14.7	20.1	23.4	20.7	12.0	3.3	—	—	5.7
女性、男性以外	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—

<休日 家事>

男女別にみると、女性では、“2時間以上”の割合が男性よりも高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	関わっていない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～4時間未満	4時間～6時間未満	6時間～8時間未満	8時間以上	無回答
全 体	738	9.5	11.0	13.6	20.9	21.7	11.2	3.0	3.3	6.0
女性	390	5.4	6.9	8.2	18.5	28.5	17.9	5.4	5.6	3.6
男性	333	13.8	16.2	20.1	23.7	13.8	3.9	—	0.6	7.8
女性、男性以外	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—

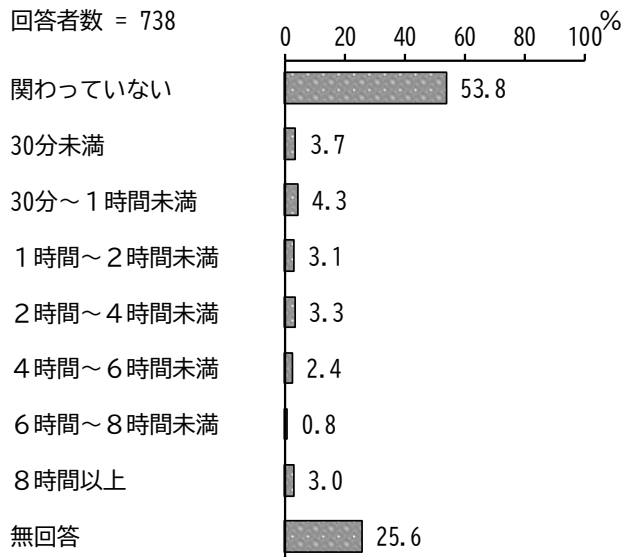
②子育て

平日では、「関わっていない」の割合が53.8%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」の割合が4.3%、「30分未満」の割合が3.7%となっています。

休日では、「関わっていない」の割合が53.3%と最も高く、次いで「8時間以上」の割合が6.6%、「30分～1時間未満」の割合が3.3%となっています。

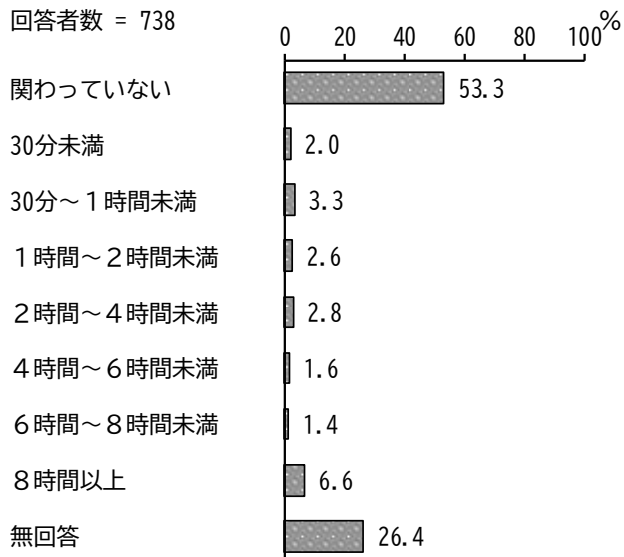
【平日 子育て】

回答者数 = 738



【休日 子育て】

回答者数 = 738

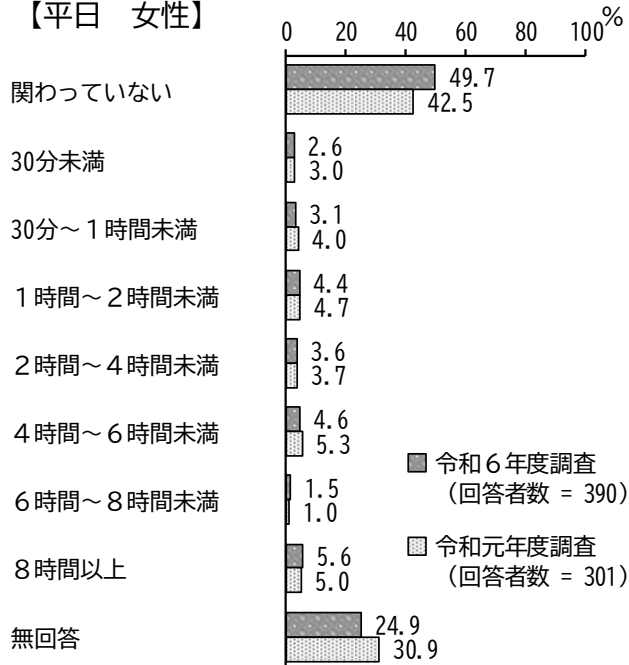


【男女別での経年比較】

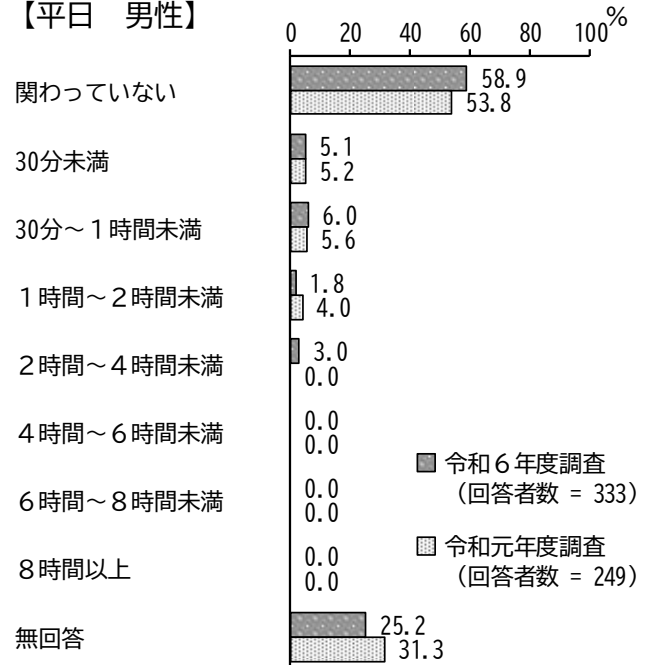
男女別にみると、平日、休日ともに、男性で「関わっていない」の割合が高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、男女とも、平日、休日いずれでも「関わっていない」の割合が増加しています。

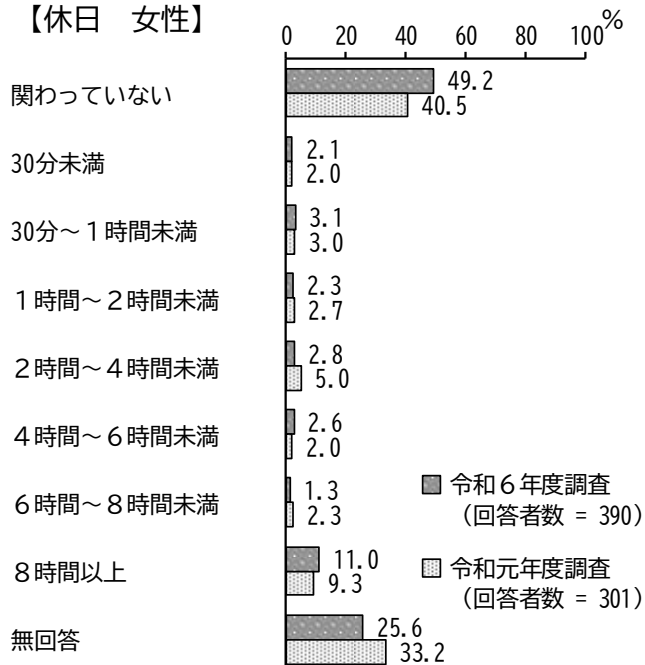
【平日 女性】



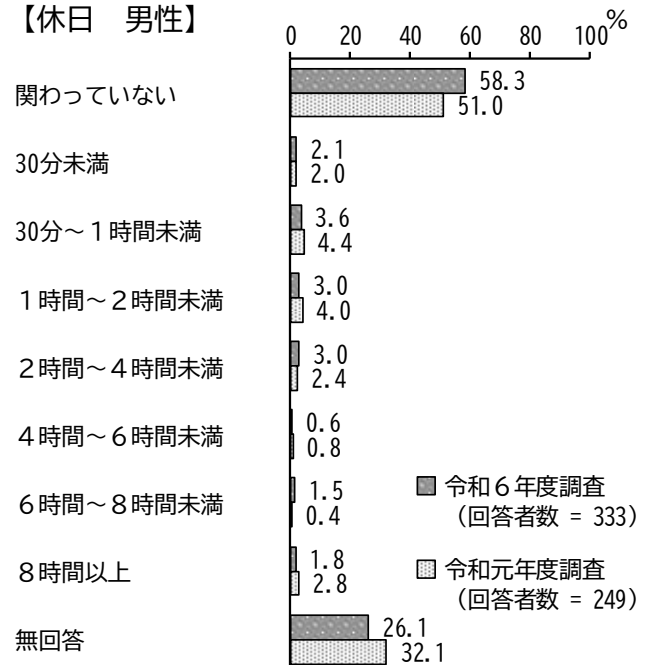
【平日 男性】



【休日 女性】



【休日 男性】



【性・年代別】

<平日 子育て>

性・年代別にみると、女性 30 歳～39 歳歳で「8 時間以上」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	関わっていない	30 分未満	1 時間 30 分 未満	2 時間 1 時間 未満	4 時間 2 時間 未満	6 時間 4 時間 未満	8 時間 6 時間 未満	8 時間以上	無回答
全 体	738	53.8	3.7	4.3	3.1	3.3	2.4	0.8	3.0	25.6
女性 18 歳～19 歳	30	93.3	3.3	—	—	—	—	—	—	3.3
女性 20 歳～29 歳	32	81.3	—	3.1	3.1	—	3.1	—	9.4	—
女性 30 歳～39 歳	50	38.0	2.0	—	4.0	12.0	16.0	6.0	22.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	32.6	—	4.7	11.6	11.6	18.6	4.7	14.0	2.3
女性 50 歳～59 歳	61	59.0	13.1	11.5	8.2	3.3	1.6	—	1.6	1.6
女性 60 歳～69 歳	61	49.2	—	1.6	6.6	1.6	—	1.6	1.6	37.7
女性 70 歳～79 歳	52	38.5	—	1.9	—	—	—	—	—	59.6
女性 80 歳以上	59	35.6	—	—	—	—	—	—	—	64.4
男性 18 歳～19 歳	21	90.5	—	4.8	—	—	—	—	—	4.8
男性 20 歳～29 歳	22	77.3	—	9.1	4.5	4.5	—	—	—	4.5
男性 30 歳～39 歳	29	58.6	3.4	10.3	3.4	13.8	—	—	—	10.3
男性 40 歳～49 歳	31	29.0	19.4	29.0	6.5	9.7	—	—	—	6.5
男性 50 歳～59 歳	37	51.4	16.2	5.4	5.4	5.4	—	—	—	16.2
男性 60 歳～69 歳	56	71.4	7.1	3.6	—	—	—	—	—	17.9
男性 70 歳～79 歳	68	67.6	—	1.5	—	—	—	—	—	30.9
男性 80 歳以上	69	42.0	—	—	—	—	—	—	—	58.0

<休日 子育て>

性・年代別にみると、女性 30 歳～39 歳歳で「8 時間以上」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	関わっていない	30 分未満	1 時間 30 分 未満	2 時間 1 時間 未満	4 時間 2 時間 未満	6 時間 4 時間 未満	8 時間 6 時間 未満	8 時間以上	無回答
全 体	738	53.3	2.0	3.3	2.6	2.8	1.6	1.4	6.6	26.4
女性 18 歳～19 歳	30	96.7	—	—	—	—	—	—	—	3.3
女性 20 歳～29 歳	32	84.4	—	—	3.1	—	—	—	12.5	—
女性 30 歳～39 歳	50	38.0	2.0	—	2.0	2.0	4.0	2.0	50.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	32.6	—	4.7	4.7	9.3	16.3	7.0	25.6	—
女性 50 歳～59 歳	61	57.4	9.8	14.8	4.9	6.6	1.6	—	3.3	1.6
女性 60 歳～69 歳	61	47.5	1.6	1.6	3.3	3.3	—	1.6	1.6	39.3
女性 70 歳～79 歳	52	36.5	—	—	—	—	—	—	—	63.5
女性 80 歳以上	59	33.9	—	—	—	—	—	—	—	66.1
男性 18 歳～19 歳	21	90.5	—	4.8	—	—	—	—	—	4.8
男性 20 歳～29 歳	22	86.4	—	—	9.1	—	—	4.5	—	—
男性 30 歳～39 歳	29	58.6	—	—	—	10.3	3.4	—	17.2	10.3
男性 40 歳～49 歳	31	29.0	6.5	16.1	19.4	9.7	—	9.7	3.2	6.5
男性 50 歳～59 歳	37	54.1	5.4	8.1	5.4	8.1	2.7	—	—	16.2
男性 60 歳～69 歳	56	66.1	5.4	3.6	—	1.8	—	—	—	23.2
男性 70 歳～79 歳	68	64.7	—	1.5	—	—	—	1.5	—	32.4
男性 80 歳以上	69	42.0	—	—	—	—	—	—	—	58.0

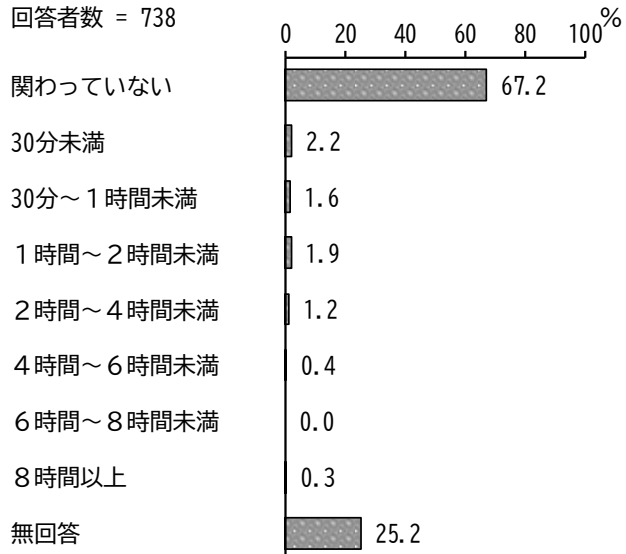
③介護

平日では、「関わっていない」の割合が 67.2%、「30 分未満」から「8 時間以上」のをあわせた“関わっている”の割合が 7.6%となっています。

休日では、「関わっていない」の割合が 66.1%、「30 分未満」から「8 時間以上」のをあわせた“関わっている”の割合が 8.1%となっています。

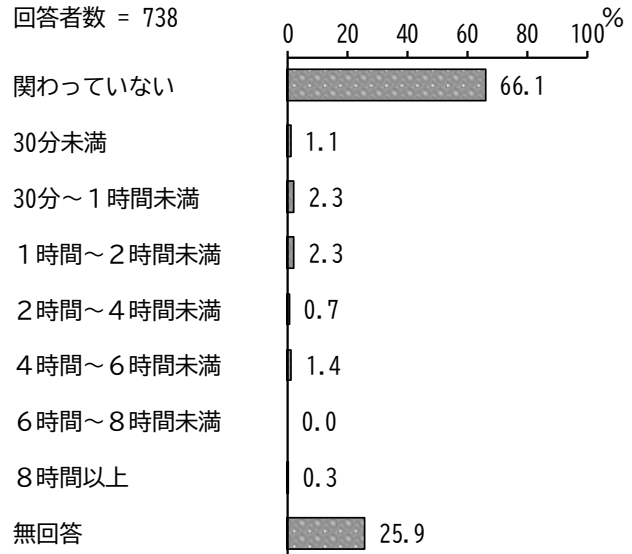
【平日 介護】

回答者数 = 738



【休日 介護】

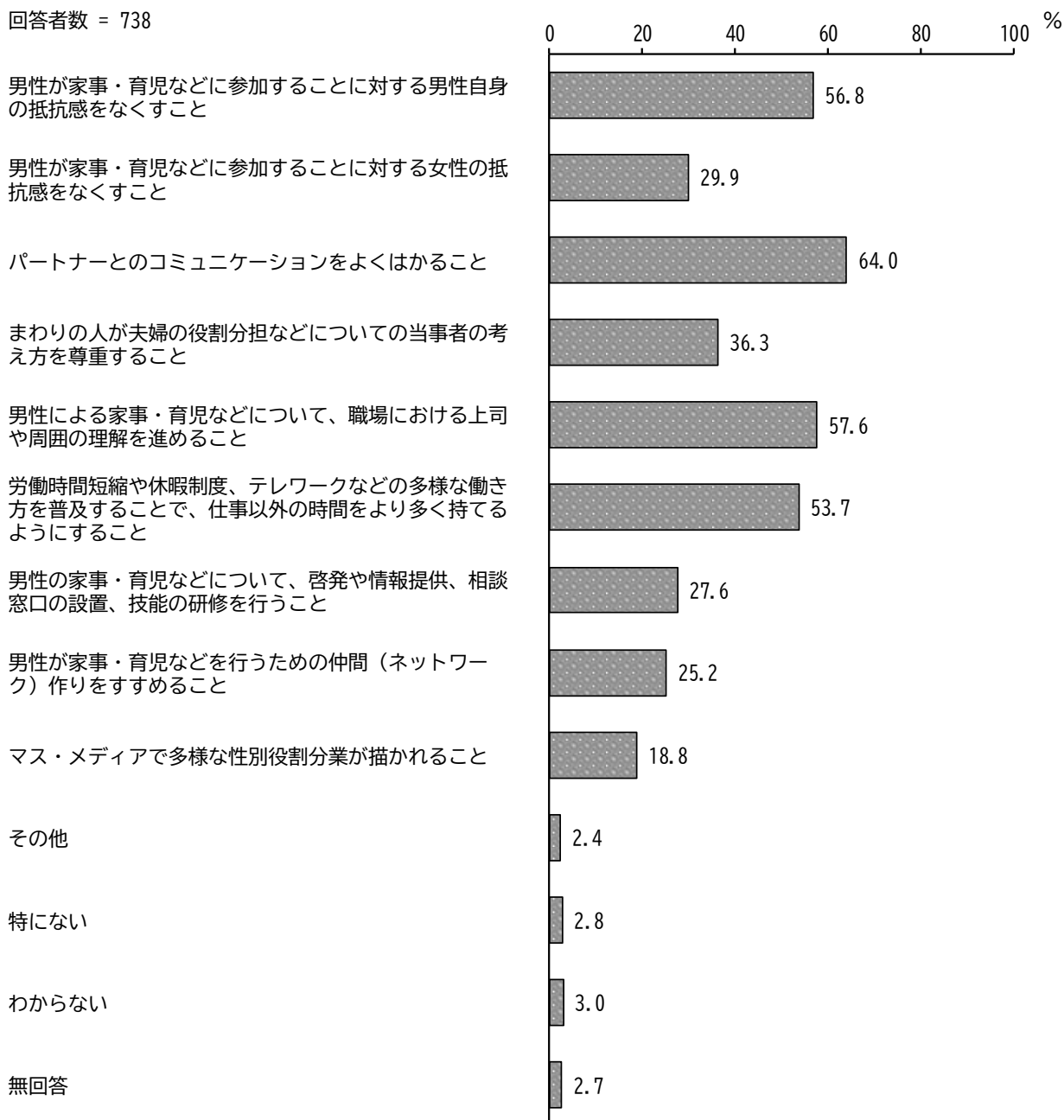
回答者数 = 738



問 14 今後、男性が家事、育児、介護、地域活動を積極的に行っていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「パートナーとのコミュニケーションをよくはかること」の割合が 64.0%と最も高く、次いで「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」の割合が 57.6%、「男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」の割合が 56.8%となっています。

回答者数 = 738



【性別】

男女別にみると、女性では、「男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」の割合が特に男性よりも高くなっています。

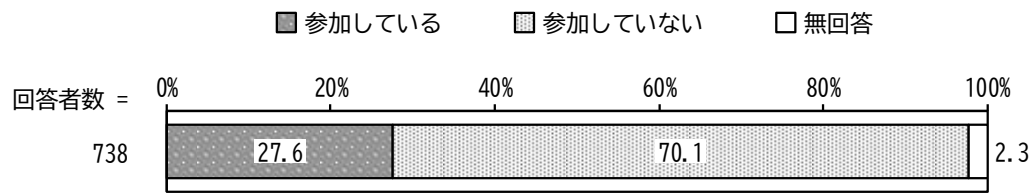
単位：％

区分	回答者数 (件)	男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	パートナーとのコミュニケーションをよくはかること	まわりの人が夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること	男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること	労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどの多様な働き方を普及すること、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
全 体	738	56.8	29.9	64.0	36.3	57.6	53.7
女性	390	64.4	35.1	66.4	40.5	65.1	57.2
男性	333	47.7	24.0	61.6	32.1	49.8	50.8
女性、男性以外	1	100.0	—	100.0	—	100.0	100.0

区分	男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	男性が家事・育児などを行うための仲間（ネットワーク）作りをすすめること	マス・メディアで多様な性別役割分業が描かれること	その他	特にない	わからない	無回答
全 体	27.6	25.2	18.8	2.4	2.8	3.0	2.7
女性	28.7	27.9	23.1	2.6	1.8	2.1	1.8
男性	27.0	21.9	14.4	2.4	4.2	3.9	3.3
女性、男性以外	—	—	—	—	—	—	—

問 15 あなたは職業以外の社会活動、地域活動に参加していますか。(○は1つ)

「参加している」の割合が 27.6%、「参加していない」の割合が 70.1%となっています。



【性別】

男女別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

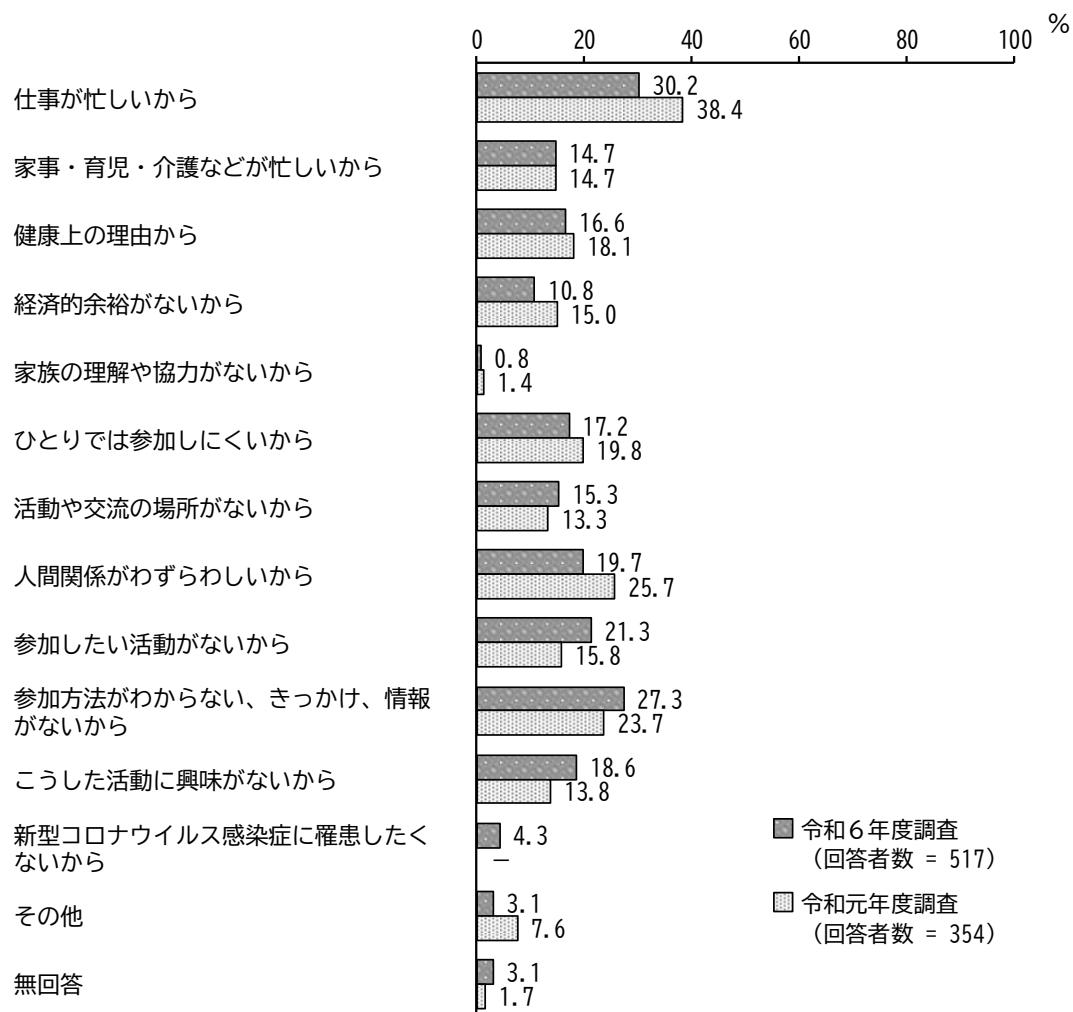
区分	回答者数 (件)	参加 している	参加 していない	無 回 答
全 体	738	27.6	70.1	2.3
女性	390	25.6	71.5	2.8
男性	333	30.0	68.5	1.5
女性、男性以外	1	100.0	—	—

問 15 で「参加していない」とお答えの方にお伺いします。

問 16 参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「仕事が忙しいから」の割合が 30.2%と最も高く、次いで「参加方法がわからない、きっかけ、情報がないから」の割合が 27.3%、「参加したい活動がないから」の割合が 21.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「仕事が忙しいから」「人間関係がわずらわしいから」の割合が減少しています。一方、「参加したい活動がないから」の割合が高くなっています。

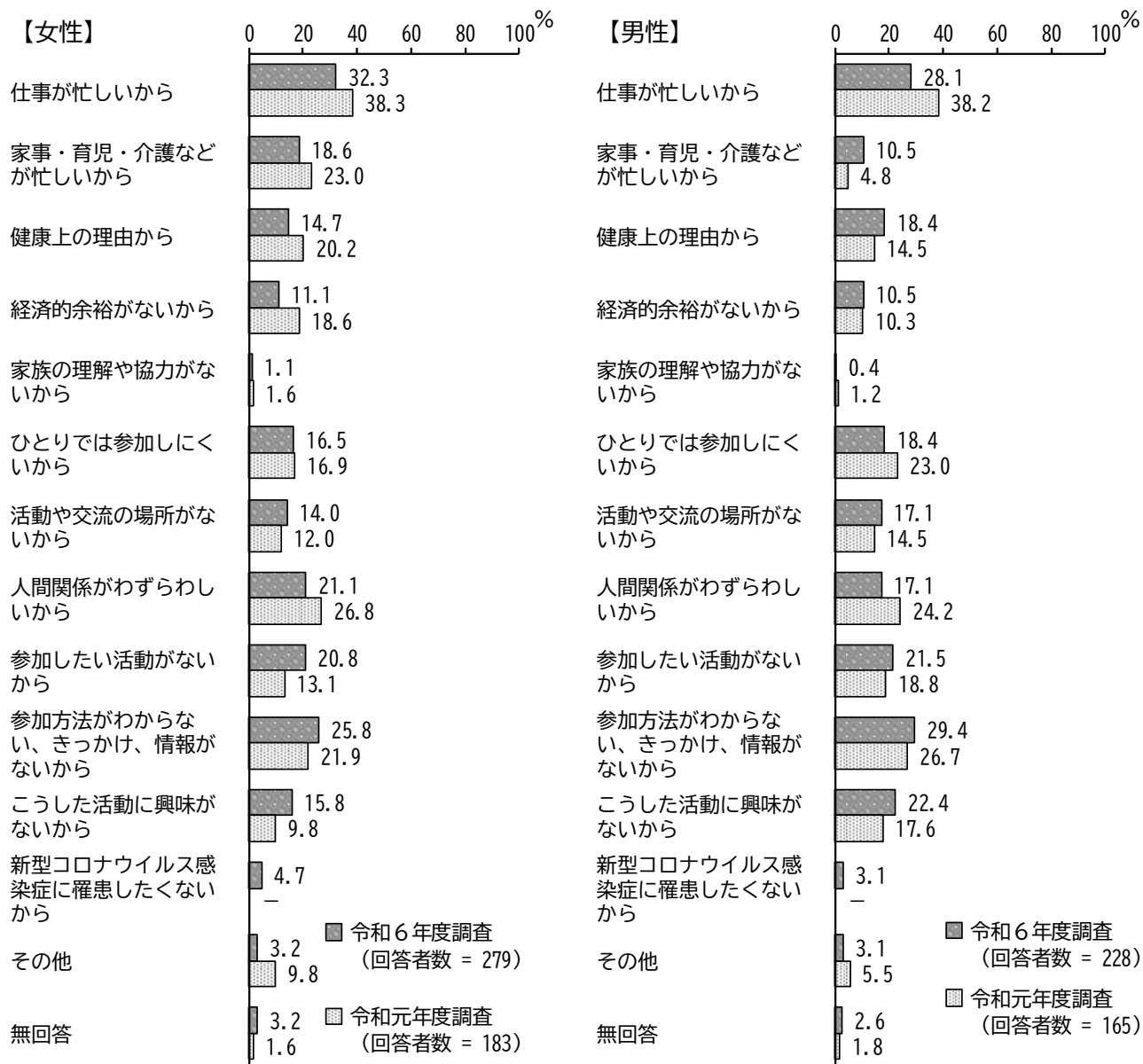


※令和元年度調査には「新型コロナウイルス感染症に罹患したくないから」の選択肢はありませんでした。

【男女別にみた経年比較】

男女別に令和元年度調査と比較すると、女性では「参加したい活動がないから」「こうした活動に興味がないから」の割合が増加し、「仕事が忙しいから」「健康上の理由から」「経済的余裕がないから」「人間関係がわずらわしいから」の割合が減少しています。

男性では、「家事・育児・介護などが忙しいから」の割合が増加し、「仕事が忙しいから」「人間関係がわずらわしいから」の割合が減少しています。



※令和元年度調査には「新型コロナウイルス感染症に罹患したくないから」の選択肢はありませんでした。

【性・年代別】

性・年代別にみると、男性 18 歳～19 歳で「こうした活動に興味がないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	仕事が忙しいから	家事・育児・介護などが忙しいから	健康上の理由から	経済的余裕がないから	家族の理解や協力がないから	ひとりでは参加しにくいから	活動や交流の場所がないから
全 体	517	30.2	14.7	16.6	10.8	0.8	17.2	15.3
女性 18 歳～19 歳	21	28.6	4.8	—	—	—	23.8	14.3
女性 20 歳～29 歳	28	35.7	7.1	—	10.7	—	17.9	14.3
女性 30 歳～39 歳	42	61.9	42.9	11.9	23.8	—	16.7	14.3
女性 40 歳～49 歳	32	56.3	37.5	3.1	6.3	3.1	18.8	9.4
女性 50 歳～59 歳	44	38.6	22.7	6.8	18.2	—	18.2	20.5
女性 60 歳～69 歳	39	15.4	12.8	17.9	15.4	2.6	20.5	20.5
女性 70 歳～79 歳	32	12.5	9.4	31.3	3.1	—	9.4	9.4
女性 80 歳以上	40	7.5	2.5	37.5	2.5	2.5	10.0	7.5
男性 18 歳～19 歳	18	27.8	—	5.6	11.1	—	22.2	16.7
男性 20 歳～29 歳	20	40.0	25.0	5.0	15.0	—	30.0	15.0
男性 30 歳～39 歳	27	55.6	25.9	3.7	29.6	—	29.6	22.2
男性 40 歳～49 歳	18	55.6	27.8	5.6	—	5.6	11.1	22.2
男性 50 歳～59 歳	26	42.3	11.5	7.7	11.5	—	19.2	15.4
男性 60 歳～69 歳	40	27.5	5.0	10.0	2.5	—	17.5	15.0
男性 70 歳～79 歳	44	4.5	2.3	40.9	11.4	—	15.9	13.6
男性 80 歳以上	35	5.7	2.9	40.0	5.7	—	8.6	20.0

区分	人間関係がわずらわしいから	参加したい活動がないから	参加方法がわからない、きっかけ、情報がないから	こうした活動に興味がないから	新型コロナウイルス感染症に罹患したくないから	その他	無回答
全 体	19.7	21.3	27.3	18.6	4.3	3.1	3.1
女性 18 歳～19 歳	14.3	28.6	42.9	19.0	—	4.8	—
女性 20 歳～29 歳	3.6	28.6	28.6	32.1	7.1	3.6	—
女性 30 歳～39 歳	35.7	23.8	28.6	21.4	—	2.4	—
女性 40 歳～49 歳	21.9	21.9	34.4	15.6	9.4	3.1	—
女性 50 歳～59 歳	18.2	29.5	27.3	15.9	2.3	—	2.3
女性 60 歳～69 歳	35.9	17.9	25.6	10.3	5.1	—	5.1
女性 70 歳～79 歳	15.6	15.6	15.6	3.1	—	3.1	3.1
女性 80 歳以上	12.5	5.0	12.5	12.5	12.5	10.0	12.5
男性 18 歳～19 歳	16.7	27.8	33.3	55.6	—	5.6	—
男性 20 歳～29 歳	25.0	50.0	55.0	30.0	—	—	—
男性 30 歳～39 歳	18.5	18.5	40.7	18.5	11.1	—	3.7
男性 40 歳～49 歳	16.7	11.1	22.2	22.2	—	—	5.6
男性 50 歳～59 歳	26.9	11.5	26.9	19.2	3.8	3.8	—
男性 60 歳～69 歳	22.5	12.5	35.0	15.0	—	2.5	2.5
男性 70 歳～79 歳	13.6	25.0	25.0	22.7	4.5	4.5	4.5
男性 80 歳以上	2.9	22.9	8.6	14.3	2.9	5.7	2.9

【性別】

男女別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	仕事が忙しいから	家事・育児・介護などが忙しいから	健康上の理由から	経済的余裕がないから	家族の理解や協力がいないから	ひとりでは参加しにくいから	活動や交流の場所がないから
全 体	517	30.2	14.7	16.6	10.8	0.8	17.2	15.3
女性	279	32.3	18.6	14.7	11.1	1.1	16.5	14.0
男性	228	28.1	10.5	18.4	10.5	0.4	18.4	17.1
女性、男性以外	－	－	－	－	－	－	－	－

区分	人間関係がわずらわしいから	参加したい活動がないから	参加方法がわからない、きつかけ、情報がないから	こうした活動に興味がないから	新型コロナウイルス感染症に罹患したくないから	その他	無回答
全 体	19.7	21.3	27.3	18.6	4.3	3.1	3.1
女性	21.1	20.8	25.8	15.8	4.7	3.2	3.2
男性	17.1	21.5	29.4	22.4	3.1	3.1	2.6
女性、男性以外	－	－	－	－	－	－	－

問 17 あなたは新型コロナウイルス感染症拡大により、生活や行動に次のような変化がありましたか。(○はそれぞれ1つずつ)

『ウ. 精神的な不安やイライラすること』で「とても増えた」と「少し増えた」をあわせた“増えた”の割合が高く、約4割となっています。また、『イ. 収入』で「少し減った」と「とても減った」をあわせた“減った”の割合が1割を超えています。

回答者数 = 738

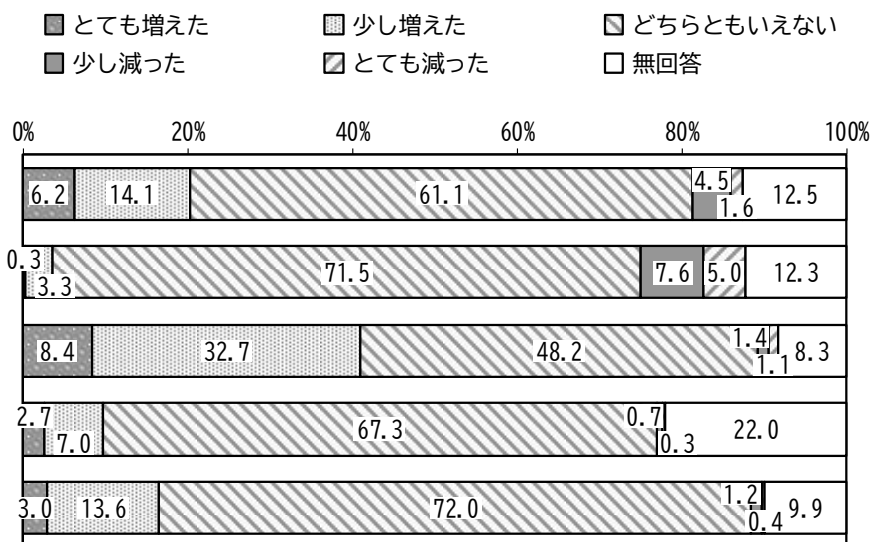
ア. 仕事の負担

イ. 収入

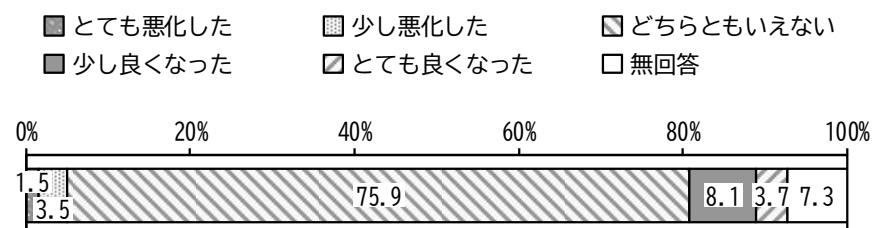
ウ. 精神的な不安やイライラすること

エ. 育児・介護の負担

オ. 家事（食事の準備や掃除等の）負担



カ. 家族との関係



【性・年代別】

ア. 仕事の負担

性・年代別にみると、男性 30 歳～39 歳で“増えた”の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	とても増えた	少し増えた	どちらとも いえない	少し減った	とても減った	無回答
全 体	738	6.2	14.1	61.1	4.5	1.6	12.5
女性 18 歳～19 歳	30	6.7	6.7	73.3	3.3	—	10.0
女性 20 歳～29 歳	32	—	12.5	75.0	6.3	—	6.3
女性 30 歳～39 歳	50	8.0	28.0	52.0	8.0	4.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	14.0	16.3	62.8	2.3	—	4.7
女性 50 歳～59 歳	61	13.1	24.6	60.7	1.6	—	—
女性 60 歳～69 歳	61	8.2	11.5	67.2	1.6	3.3	8.2
女性 70 歳～79 歳	52	1.9	9.6	67.3	1.9	—	19.2
女性 80 歳以上	59	—	5.1	45.8	3.4	3.4	42.4
男性 18 歳～19 歳	21	4.8	9.5	76.2	4.8	—	4.8
男性 20 歳～29 歳	22	—	27.3	59.1	4.5	4.5	4.5
男性 30 歳～39 歳	29	17.2	31.0	44.8	6.9	—	—
男性 40 歳～49 歳	31	3.2	12.9	67.7	12.9	—	3.2
男性 50 歳～59 歳	37	21.6	18.9	48.6	8.1	—	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	3.6	16.1	62.5	8.9	—	8.9
男性 70 歳～79 歳	68	1.5	8.8	73.5	2.9	2.9	10.3
男性 80 歳以上	69	1.4	5.8	53.6	2.9	2.9	33.3

イ. 収入

性・年代別にみると、女性 40 歳～49 歳、50 歳～59 歳、男性 30 歳～39 歳、50 歳～59 歳で“減った”の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	とても増えた	少し増えた	どちらとも いえない	少し減った	とても減った	無回答
全 体	738	0.3	3.3	71.5	7.6	5.0	12.3
女性 18 歳～19 歳	30	—	—	86.7	3.3	—	10.0
女性 20 歳～29 歳	32	—	3.1	78.1	15.6	—	3.1
女性 30 歳～39 歳	50	—	6.0	86.0	2.0	6.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	—	7.0	72.1	11.6	7.0	2.3
女性 50 歳～59 歳	61	—	4.9	77.0	14.8	3.3	—
女性 60 歳～69 歳	61	—	—	78.7	3.3	9.8	8.2
女性 70 歳～79 歳	52	1.9	1.9	65.4	7.7	1.9	21.2
女性 80 歳以上	59	—	—	50.8	—	3.4	45.8
男性 18 歳～19 歳	21	—	—	81.0	9.5	4.8	4.8
男性 20 歳～29 歳	22	—	—	86.4	4.5	4.5	4.5
男性 30 歳～39 歳	29	—	6.9	72.4	13.8	6.9	—
男性 40 歳～49 歳	31	—	19.4	74.2	6.5	—	—
男性 50 歳～59 歳	37	2.7	5.4	67.6	13.5	8.1	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	—	1.8	73.2	10.7	5.4	8.9
男性 70 歳～79 歳	68	—	1.5	76.5	7.4	5.9	8.8
男性 80 歳以上	69	—	1.4	52.2	5.8	5.8	34.8

ウ. 精神的な不安やイライラすること

性・年代別にみると、女性 50 歳～59 歳、60 歳～69 歳、男性 18 歳～19 歳で“増えた”の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	とても増えた	少し増えた	どちらとも いえない	少し減った	とても減った	無回答
全 体	738	8.4	32.7	48.2	1.4	1.1	8.3
女性 18 歳～19 歳	30	10.0	33.3	46.7	6.7	3.3	—
女性 20 歳～29 歳	32	12.5	37.5	46.9	—	3.1	—
女性 30 歳～39 歳	50	12.0	28.0	58.0	—	2.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	14.0	30.2	55.8	—	—	—
女性 50 歳～59 歳	61	13.1	39.3	45.9	—	1.6	—
女性 60 歳～69 歳	61	6.6	45.9	42.6	—	—	4.9
女性 70 歳～79 歳	52	3.8	32.7	51.9	1.9	—	9.6
女性 80 歳以上	59	5.1	30.5	37.3	—	—	27.1
男性 18 歳～19 歳	21	4.8	47.6	38.1	4.8	—	4.8
男性 20 歳～29 歳	22	18.2	13.6	54.5	4.5	4.5	4.5
男性 30 歳～39 歳	29	13.8	31.0	55.2	—	—	—
男性 40 歳～49 歳	31	6.5	25.8	61.3	3.2	—	3.2
男性 50 歳～59 歳	37	13.5	29.7	54.1	—	2.7	—
男性 60 歳～69 歳	56	3.6	30.4	55.4	3.6	—	7.1
男性 70 歳～79 歳	68	1.5	33.8	52.9	—	1.5	10.3
男性 80 歳以上	69	8.7	33.3	30.4	1.4	1.4	24.6

エ. 育児・介護の負担

性・年代別にみると、女性 30 歳～39 歳、40 歳～49 歳で“増えた”の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	とても増えた	少し増えた	どちらとも いえない	少し減った	とても減った	無回答
全 体	738	2.7	7.0	67.3	0.7	0.3	22.0
女性 18 歳～19 歳	30	—	3.3	90.0	—	—	6.7
女性 20 歳～29 歳	32	—	3.1	90.6	—	—	6.3
女性 30 歳～39 歳	50	10.0	18.0	70.0	—	—	2.0
女性 40 歳～49 歳	43	14.0	18.6	65.1	—	—	2.3
女性 50 歳～59 歳	61	3.3	9.8	85.2	—	—	1.6
女性 60 歳～69 歳	61	4.9	9.8	63.9	3.3	—	18.0
女性 70 歳～79 歳	52	—	9.6	42.3	—	3.8	44.2
女性 80 歳以上	59	1.7	—	33.9	—	—	64.4
男性 18 歳～19 歳	21	—	—	95.2	—	—	4.8
男性 20 歳～29 歳	22	—	4.5	90.9	—	—	4.5
男性 30 歳～39 歳	29	3.4	10.3	79.3	—	—	6.9
男性 40 歳～49 歳	31	—	9.7	83.9	3.2	—	3.2
男性 50 歳～59 歳	37	—	8.1	83.8	—	—	8.1
男性 60 歳～69 歳	56	1.8	3.6	75.0	3.6	—	16.1
男性 70 歳～79 歳	68	—	4.4	75.0	—	—	20.6
男性 80 歳以上	69	1.4	1.4	36.2	—	—	60.9

オ. 家事（食事の準備や掃除等の）負担

性・年代別にみると、女性 40 歳～49 歳で“増えた”の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	とても 増えた	少し 増えた	どちらとも いえない	少し 減った	とても 減った	無 回答
全 体	738	3.0	13.6	72.0	1.2	0.4	9.9
女性 18 歳～19 歳	30	—	3.3	86.7	3.3	—	6.7
女性 20 歳～29 歳	32	—	9.4	81.3	3.1	—	6.3
女性 30 歳～39 歳	50	8.0	22.0	68.0	2.0	—	—
女性 40 歳～49 歳	43	14.0	23.3	60.5	—	2.3	—
女性 50 歳～59 歳	61	3.3	24.6	70.5	1.6	—	—
女性 60 歳～69 歳	61	8.2	18.0	67.2	—	—	6.6
女性 70 歳～79 歳	52	1.9	13.5	69.2	1.9	1.9	11.5
女性 80 歳以上	59	—	5.1	62.7	—	—	32.2
男性 18 歳～19 歳	21	—	4.8	90.5	—	—	4.8
男性 20 歳～29 歳	22	9.1	9.1	81.8	—	—	—
男性 30 歳～39 歳	29	—	13.8	86.2	—	—	—
男性 40 歳～49 歳	31	—	16.1	80.6	—	—	3.2
男性 50 歳～59 歳	37	—	10.8	89.2	—	—	—
男性 60 歳～69 歳	56	—	10.7	76.8	1.8	1.8	8.9
男性 70 歳～79 歳	68	—	10.3	75.0	1.5	—	13.2
男性 80 歳以上	69	2.9	13.0	55.1	1.4	—	27.5

カ. 家族との関係

性・年代別にみると、女性 20 歳～29 歳で「少し良くなった」と「とても良くなった」を合わせた“良くなった”の割合が高くなっています。

単位：％

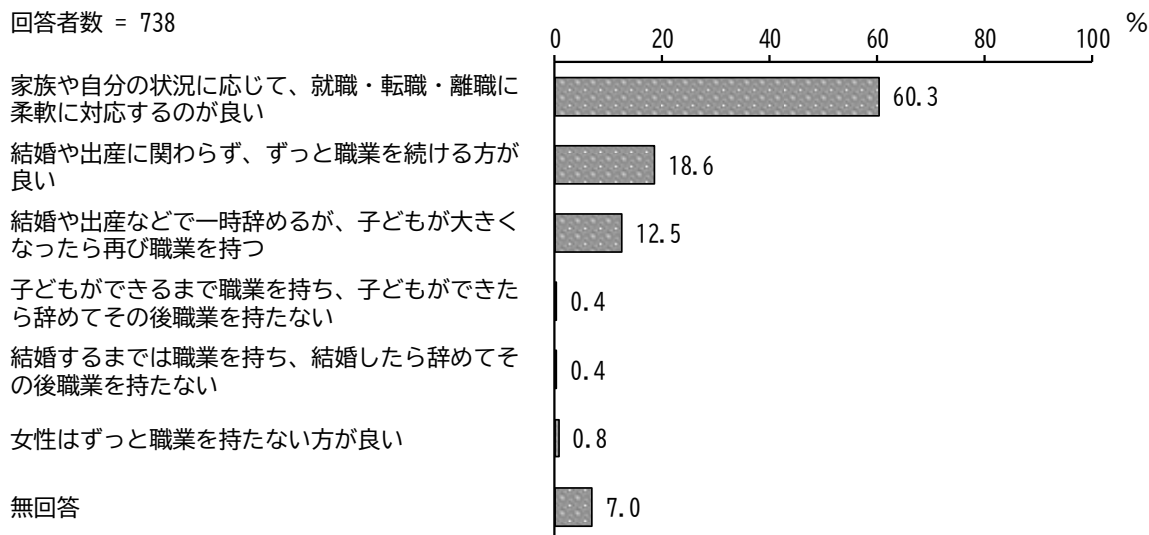
区分	回答者数 (件)	とても 悪化した	少し 悪化した	どちらとも いえない	少し 良くなった	とても 良くなっ た	無 回答
全 体	738	1.5	3.5	75.9	8.1	3.7	7.3
女性 18 歳～19 歳	30	—	—	83.3	13.3	3.3	—
女性 20 歳～29 歳	32	—	3.1	71.9	18.8	6.3	—
女性 30 歳～39 歳	50	2.0	4.0	76.0	12.0	6.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	4.7	7.0	72.1	9.3	7.0	—
女性 50 歳～59 歳	61	—	8.2	73.8	13.1	4.9	—
女性 60 歳～69 歳	61	1.6	—	83.6	4.9	3.3	6.6
女性 70 歳～79 歳	52	1.9	7.7	63.5	3.8	7.7	15.4
女性 80 歳以上	59	—	—	74.6	1.7	3.4	20.3
男性 18 歳～19 歳	21	—	4.8	71.4	14.3	4.8	4.8
男性 20 歳～29 歳	22	4.5	4.5	72.7	13.6	4.5	—
男性 30 歳～39 歳	29	3.4	—	82.8	10.3	3.4	—
男性 40 歳～49 歳	31	3.2	3.2	87.1	6.5	—	—
男性 50 歳～59 歳	37	2.7	5.4	75.7	10.8	2.7	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	1.8	1.8	80.4	3.6	—	12.5
男性 70 歳～79 歳	68	—	1.5	77.9	7.4	1.5	11.8
男性 80 歳以上	69	1.4	4.3	72.5	5.8	1.4	14.5

4 仕事について

問 18 女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。最も近いものを選びください。(○は1つ)

「家族や自分の状況に応じて、就職・転職・離職に柔軟に対応するのが良い」の割合が 60.3%と最も高く、次いで「結婚や出産に関わらず、ずっと職業を続ける方が良い」の割合が 18.6%、「結婚や出産などで一時辞めるが、子どもが大きくなったら再び職業を持つ」の割合が 12.5%となっています。

回答者数 = 738



【性別】

男女別にみると、大きな差はみられません。

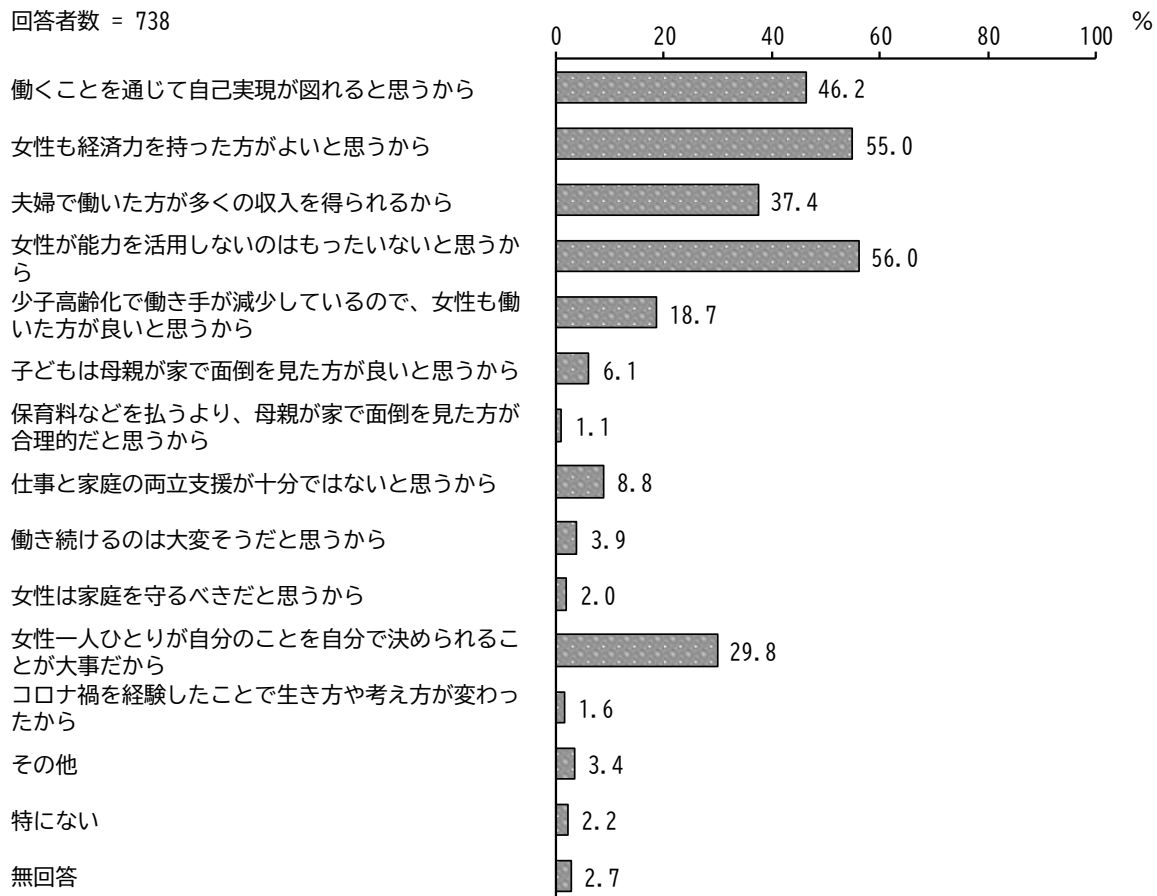
単位：%

区分	回答者数(件)	家族や自分の状況に応じて、就職・転職・離職に柔軟に対応するのが良い	結婚や出産に関わらず、ずっと職業を続ける方が良い	結婚や出産などで一時辞めるが、子どもが大きくなったら再び職業を持つ	子どもができるまで職業を持ち、子どもができた後辞めてその後職業を持たない	結婚するまでは職業を持ち、結婚したら辞めてその後職業を持たない	女性はずっと職業を持たない方が良い	無回答
全 体	738	60.3	18.6	12.5	0.4	0.4	0.8	7.0
女性	390	57.4	22.3	12.6	0.5	—	0.5	6.7
男性	333	64.6	14.7	11.7	0.3	0.9	1.2	6.6
女性、男性以外	1	100.0	—	—	—	—	—	—

問 19 問 18 でそのように考えた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「女性も経済力を持った方がよいと思うから」の割合が 55.0%、「働くことを通じて自己実現が図れると思うから」の割合が 46.2%となっています。

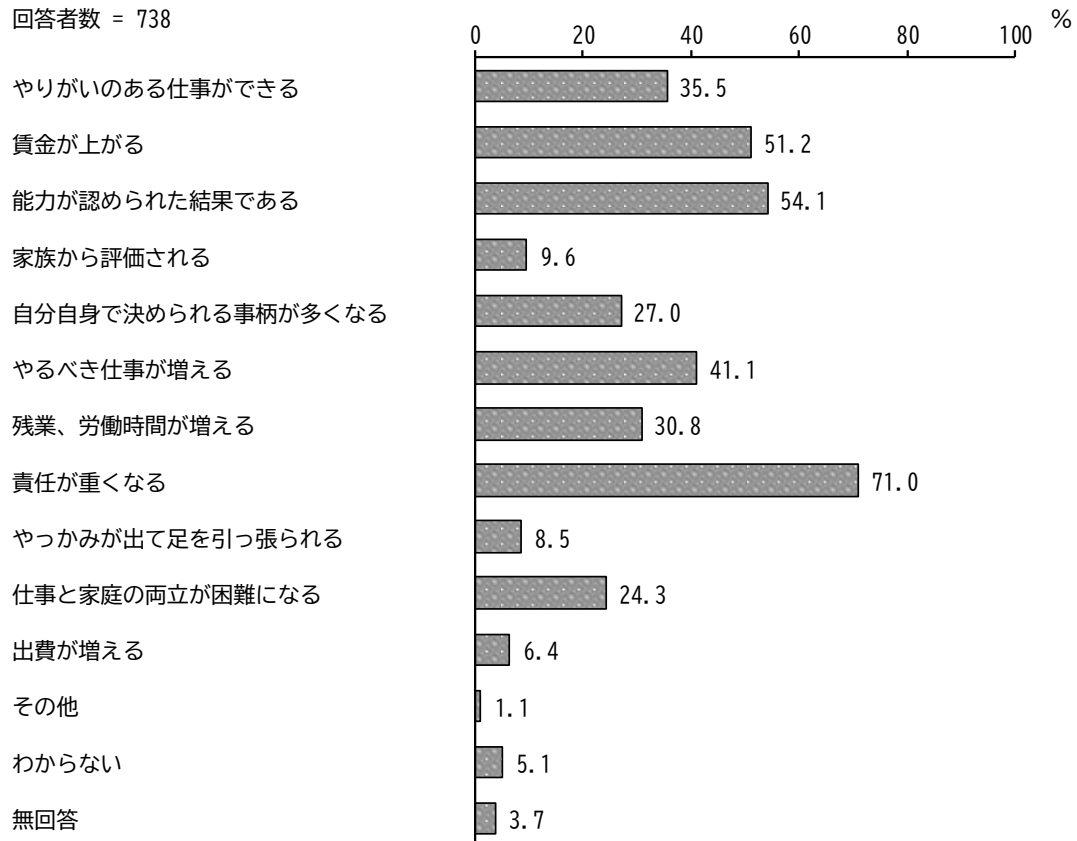
回答者数 = 738



問 20 管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。
(○はいくつでも)

「責任が重くなる」の割合が 71.0%と最も高く、次いで「能力が認められた結果である」の割合が 54.1%、「賃金が上がる」の割合が 51.2%となっています。

回答者数 = 738



【性別】

男女別にみると、男性では、「自分自身で決められる事柄が多くなる」の割合が特に女性よりも高くなっています。

単位：％

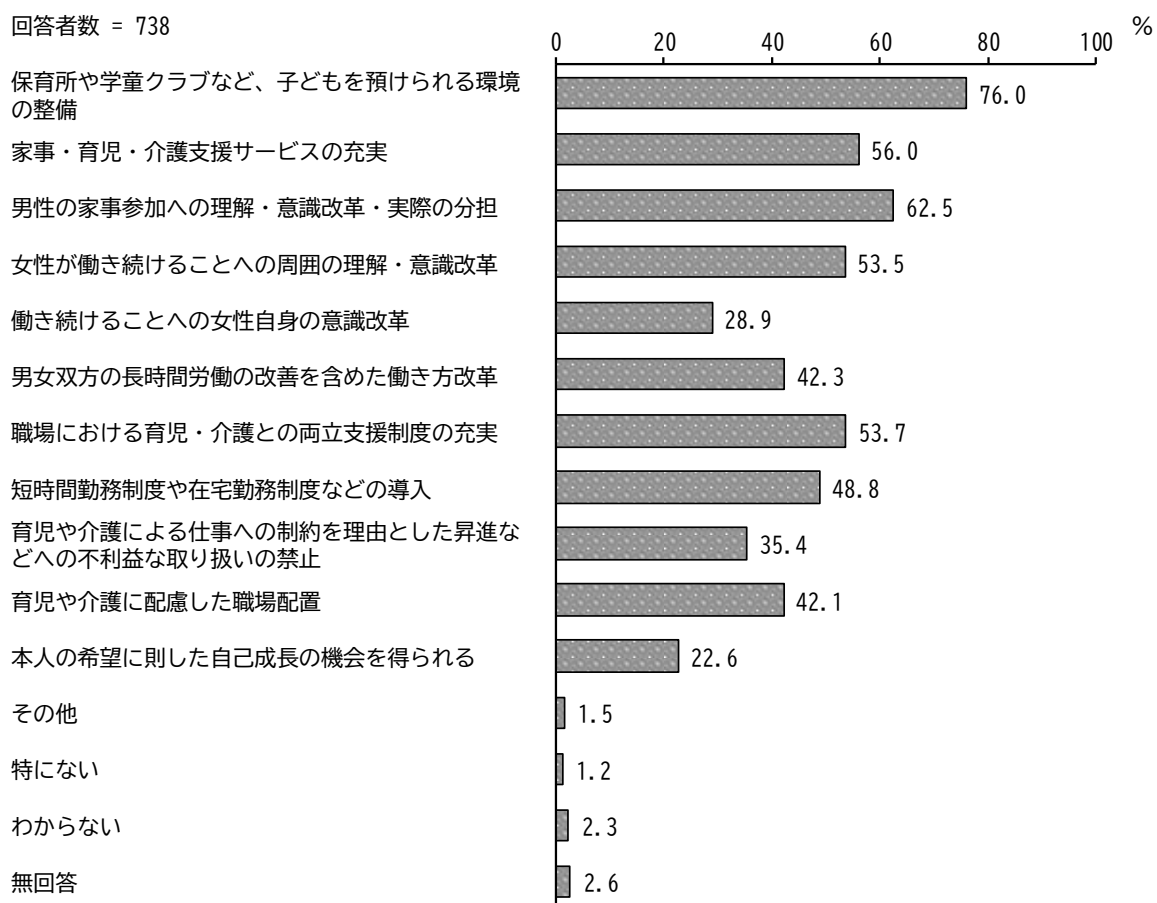
区分	回答者数（件）	やりがいのある仕事ができる	賃金上がる	能力が認められた結果である	家族から評価される	自分自身で決められる事柄が多くなる	やるべき仕事が増える	残業、労働時間が増える
全 体	738	35.5	51.2	54.1	9.6	27.0	41.1	30.8
女性	390	34.1	53.6	56.7	7.9	22.6	42.3	31.5
男性	333	36.9	48.9	51.4	11.7	32.1	39.9	30.0
女性、男性以外	1	100.0	100.0	100.0	－	100.0	－	100.0

区分	責任が重くなる	やつかみが出て足を引く張られる	仕事と家庭の両立が困難になる	出費が増える	その他	わからない	無回答
全 体	71.0	8.5	24.3	6.4	1.1	5.1	3.7
女性	73.1	9.0	27.7	4.1	1.0	6.2	3.8
男性	68.8	7.8	19.5	8.4	1.2	3.3	3.3
女性、男性以外	100.0	－	－	－	－	－	－

問 21 女性が出産しても離職せず同じ職場で働き続けるために、必要なことは何だと思
いますか。(〇はいくつでも)

「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」の割合が 76.0%と最も高く、次
いで「男性の家事参加への理解・意識改革・実際の分担」の割合が 62.5%、「家事・育児・介護
支援サービスの充実」の割合が 56.0%となっています。

回答者数 = 738



【性別】

男女別にみると、女性では、「男性の家事参加への理解・意識改革・実際の分担」の割合が特に男性よりも高くなっています。

単位：％

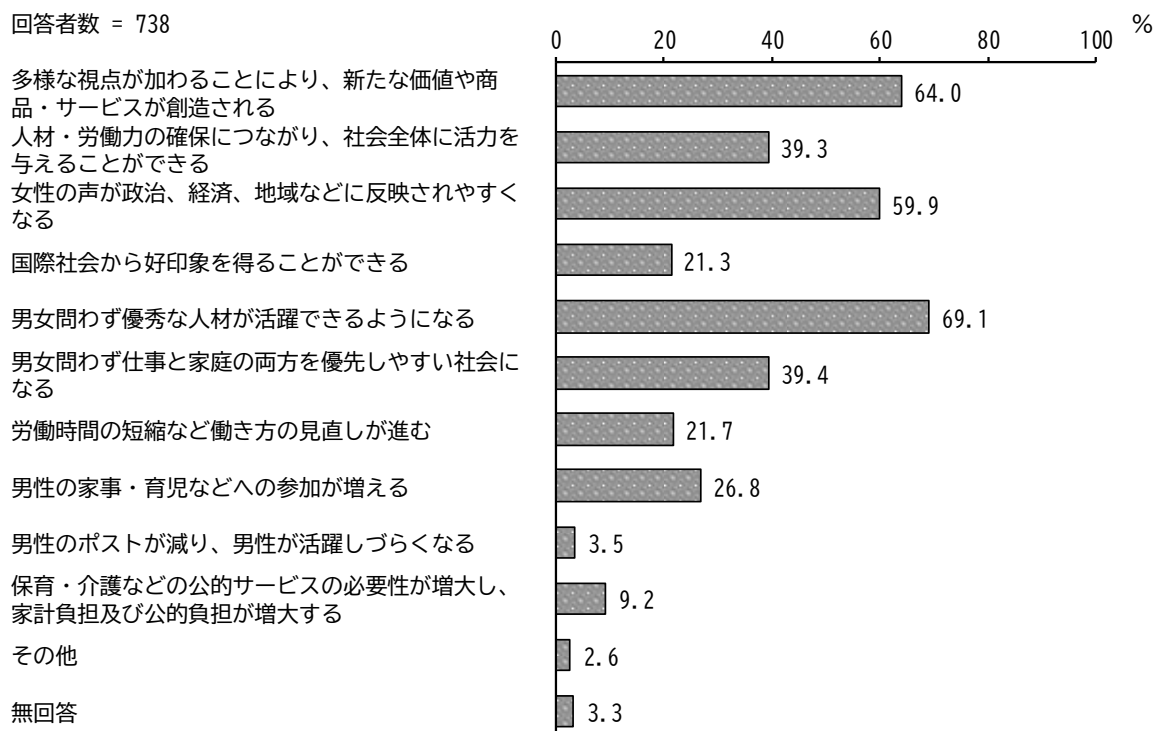
区分	回答者数（件）	保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	家事・育児・介護支援サービスの充実	男性の家事参加への理解・意識改革・実際の分担	女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革	働き続けることへの女性自身の意識改革	男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革	職場における育児・介護との両立支援制度の充実
全 体	738	76.0	56.0	62.5	53.5	28.9	42.3	53.7
女性	390	76.7	56.2	70.5	56.9	28.5	44.9	57.2
男性	333	75.4	56.2	53.2	49.5	28.5	40.2	50.2
女性、男性以外	1	100.0	—	—	—	—	—	—

区分	短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入	育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取り扱いの禁止	育児や介護に配慮した職場配置	本人の希望に則した自己成長の機会を得られる	その他	特にない	わからない	無回答
全 体	48.8	35.4	42.1	22.6	1.5	1.2	2.3	2.6
女性	51.8	34.1	45.1	23.1	1.5	0.3	2.6	2.1
男性	45.9	36.6	38.1	22.8	1.2	2.1	2.1	3.0
女性、男性以外	—	—	—	—	—	—	—	—

問 22 政治・経済・地域などの各分野で女性参加が進み、女性のリーダーが増えること
のような影響があると思いますか。(〇はいくつでも)

「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」の割合が 69.1%と最も高く、次いで「多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される」の割合が 64.0%、「女性の声が政治、経済、地域などに反映されやすくなる」の割合が 59.9%となっています。

回答者数 = 738



【性別】

男女別にみると、男性では、「人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる」の割合が女性よりも高くなっています。

単位：％

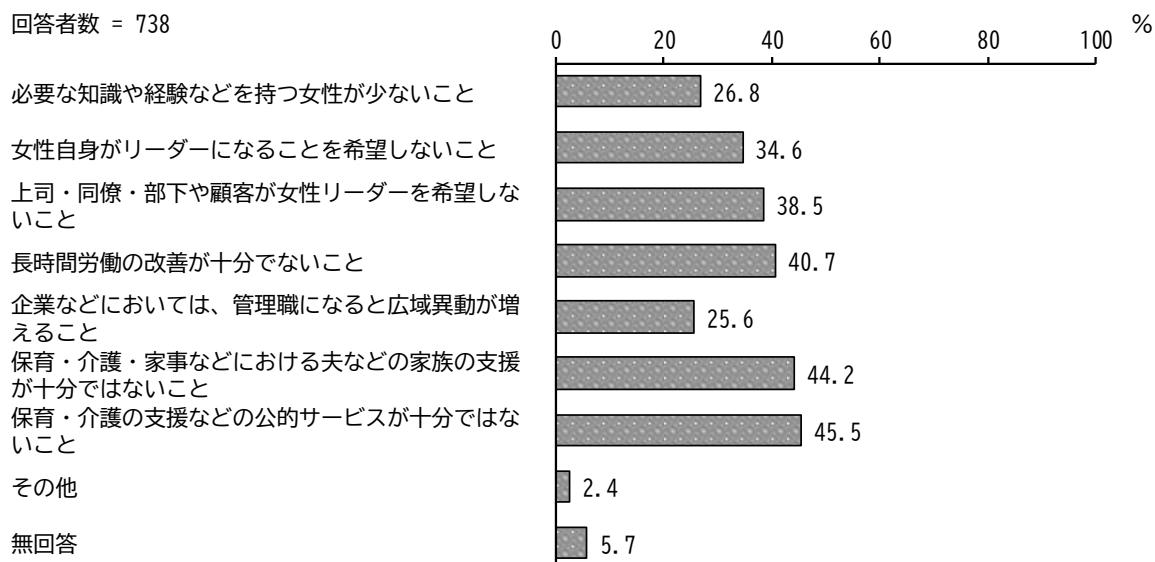
区分	回答者数 (件)	多様な視点が加わる ことにより、新たな価値や商品・サービスが創造される	人材・労働力の確保 につながり、社会全体に活力を与える ことができる	女性の声が政治、経済、地域などに反映 されやすくなる	国際社会から好印象 を得ることができ る	男女問わず優秀な 人材が活躍できる ようになる	男女問わず仕事と 家庭の両方を優先 しやすい社会にな る
全 体	738	64.0	39.3	59.9	21.3	69.1	39.4
女性	390	64.6	34.4	62.1	18.7	69.2	42.1
男性	333	63.1	44.4	56.5	24.3	68.5	36.3
女性、男性以外	1	100.0	—	100.0	—	100.0	100.0

区分	労働時間の短縮な ど働き方の見直し が進む	男性の家事・育児な どへの参加が増え る	男性のポストが減 り、男性が活躍しづ らくなる	保育・介護などの公 的サービスの必要 性が増大し、家計負 担及び公的負担が 増大する	その他	無回答
全 体	21.7	26.8	3.5	9.2	2.6	3.3
女性	23.8	27.9	1.5	9.5	2.1	3.6
男性	19.5	25.2	5.7	8.7	3.3	3.0
女性、男性以外	—	—	—	—	—	—

問 23 政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害になるものは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」の割合が 44.2%、「長時間労働の改善が十分でないこと」の割合が 40.7%となっています。

回答者数 = 738



【性別】

男女別にみると、女性では、「上司・同僚・部下や顧客が女性リーダーを希望しないこと」の割合が特に男性よりも高くなっています。

単位：%

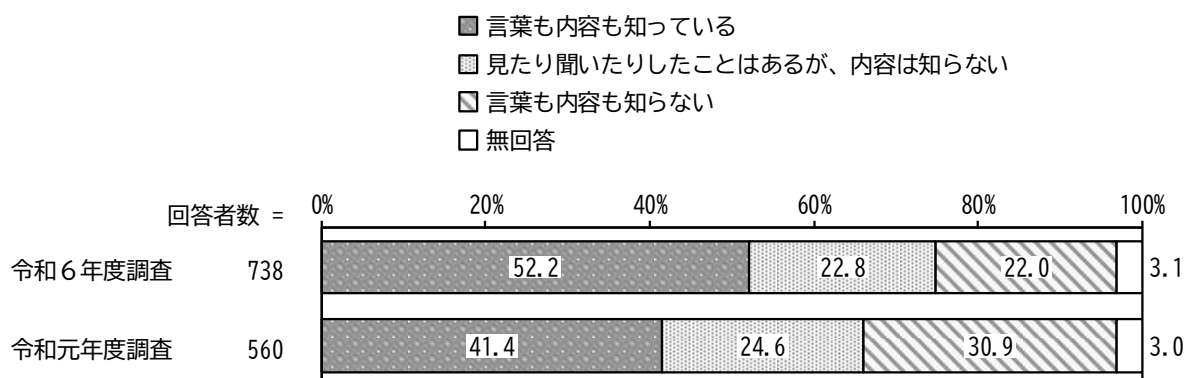
区分	回答者数 (件)	必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと	女性自身がリーダーになることを希望しないこと	上司・同僚・部下や顧客が女性リーダーを希望しないこと	長時間労働の改善が十分でないこと	企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること	保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと	保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと	その他	無回答
全 体	738	26.8	34.6	38.5	40.7	25.6	44.2	45.5	2.4	5.7
女性	390	21.5	33.3	46.4	45.4	26.4	50.5	46.4	2.1	6.2
男性	333	33.0	36.0	29.7	34.5	25.5	37.5	45.3	2.7	5.1
女性、男性以外	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—

5 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問 24 あなたは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。（○は1つ）

「言葉も内容も知っている」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「見たり聞いたりしたことはあるが、内容は知らない」の割合が 22.8%、「言葉も内容も知らない」の割合が 22.0%となっています。

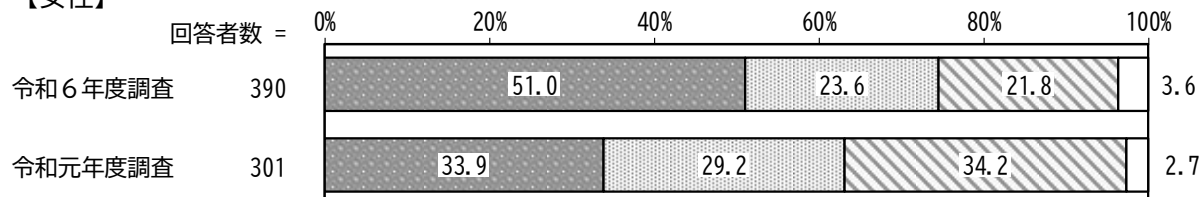
令和元年度調査と比較すると、「言葉も内容も知っている」の割合が増加しています。一方、「言葉も内容も知らない」の割合が減少しています。



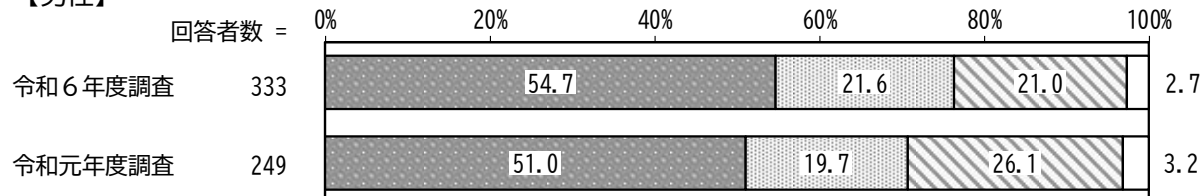
【男女別にみた経年比較】

男女別に令和元年度調査と比較すると、男女とも「言葉も内容も知らない」の割合が減少しています。また、女性で「言葉も内容も知っている」の割合が増加しています。

【女性】



【男性】



【性・年代別】

性・年代別にみると、女性 18 歳～19 歳で「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。

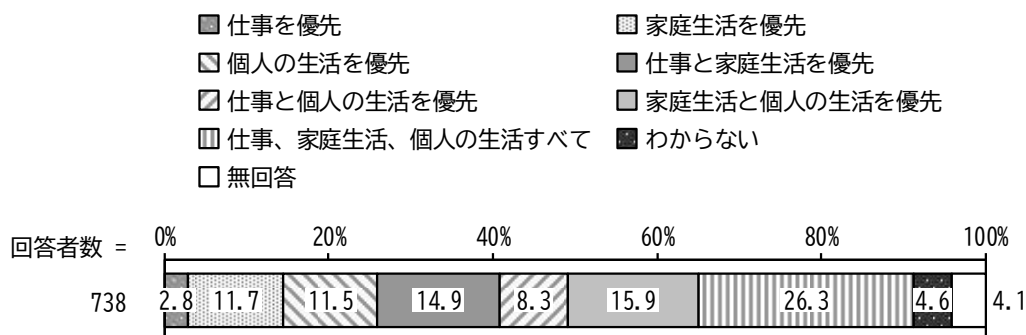
単位：％

区分	回答者数 (件)	言葉も 内容も 知っ ている	見たり聞いたりし たことはあるが、内 容は知らない	言葉も 内容も 知ら ない	無回 答
全 体	738	52.2	22.8	22.0	3.1
女性 18 歳～19 歳	30	90.0	6.7	3.3	—
女性 20 歳～29 歳	32	71.9	15.6	12.5	—
女性 30 歳～39 歳	50	72.0	18.0	8.0	2.0
女性 40 歳～49 歳	43	67.4	18.6	14.0	—
女性 50 歳～59 歳	61	54.1	26.2	19.7	—
女性 60 歳～69 歳	61	47.5	23.0	23.0	6.6
女性 70 歳～79 歳	52	19.2	32.7	42.3	5.8
女性 80 歳以上	59	18.6	33.9	37.3	10.2
男性 18 歳～19 歳	21	52.4	23.8	23.8	—
男性 20 歳～29 歳	22	77.3	13.6	9.1	—
男性 30 歳～39 歳	29	79.3	13.8	6.9	—
男性 40 歳～49 歳	31	83.9	9.7	3.2	3.2
男性 50 歳～59 歳	37	75.7	5.4	16.2	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	62.5	12.5	23.2	1.8
男性 70 歳～79 歳	68	32.4	33.8	29.4	4.4
男性 80 歳以上	69	29.0	36.2	30.4	4.3

問 25 生活の中での、仕事、家庭生活、個人の生活（地域活動、趣味・学習等）の優先度についてお伺いします。

（１）「希望」としての優先度（○は１つ）

「仕事、家庭生活、個人の生活すべて」の割合が 26.3%と最も高く、次いで「家庭生活と個人の生活を優先」の割合が 15.9%、「仕事と家庭生活を優先」の割合が 14.9%となっています。



【性・年代別】

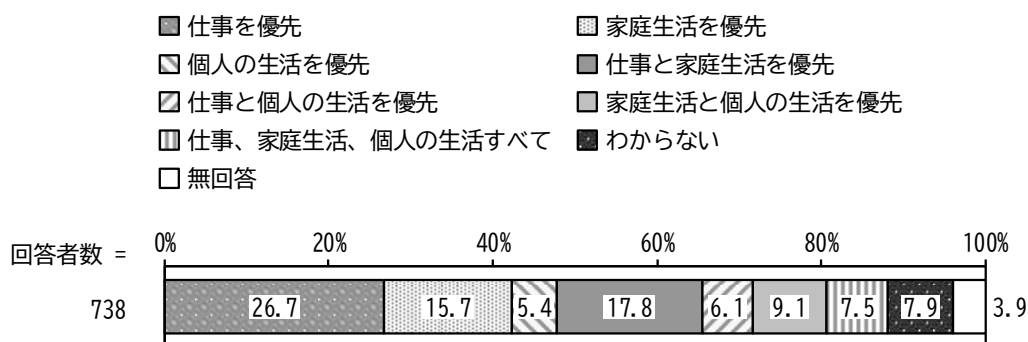
性・年代別にみると、男性 20 歳～29 歳で「個人の生活を優先」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	仕事を優先	家庭生活を優先	個人の生活を優先	仕事と家庭生活を優先	仕事と個人の生活を優先	家庭生活と個人の生活を優先	仕事、家庭生活、個人の生活すべて	わからない	無回答
全 体	738	2.8	11.7	11.5	14.9	8.3	15.9	26.3	4.6	4.1
女性 18 歳～19 歳	30	—	6.7	16.7	6.7	10.0	23.3	30.0	6.7	—
女性 20 歳～29 歳	32	3.1	6.3	21.9	9.4	15.6	6.3	31.3	6.3	—
女性 30 歳～39 歳	50	—	26.0	14.0	8.0	6.0	24.0	20.0	2.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	—	18.6	9.3	16.3	9.3	18.6	27.9	—	—
女性 50 歳～59 歳	61	—	9.8	8.2	14.8	6.6	29.5	29.5	1.6	—
女性 60 歳～69 歳	61	1.6	4.9	11.5	14.8	11.5	16.4	34.4	1.6	3.3
女性 70 歳～79 歳	52	—	17.3	3.8	17.3	5.8	15.4	23.1	9.6	7.7
女性 80 歳以上	59	3.4	15.3	3.4	11.9	3.4	10.2	23.7	18.6	10.2
男性 18 歳～19 歳	21	9.5	9.5	19.0	4.8	9.5	4.8	28.6	9.5	4.8
男性 20 歳～29 歳	22	4.5	4.5	27.3	9.1	13.6	18.2	18.2	4.5	—
男性 30 歳～39 歳	29	3.4	10.3	10.3	17.2	6.9	31.0	20.7	—	—
男性 40 歳～49 歳	31	3.2	6.5	19.4	22.6	—	12.9	32.3	—	3.2
男性 50 歳～59 歳	37	—	10.8	16.2	16.2	10.8	10.8	29.7	2.7	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	7.1	8.9	10.7	21.4	10.7	14.3	21.4	1.8	3.6
男性 70 歳～79 歳	68	4.4	17.6	10.3	19.1	8.8	8.8	23.5	2.9	4.4
男性 80 歳以上	69	7.2	5.8	10.1	14.5	7.2	10.1	29.0	2.9	13.0

(2)「現実」としての優先度（○は1つ）

「仕事を優先」の割合が26.7%と最も高く、次いで「仕事と家庭生活を優先」の割合が17.8%、「家庭生活を優先」の割合が15.7%となっています。



【性・年代別】

性・年代別にみると、男性 50 歳～59 歳で「仕事を優先」の割合が高くなっています。

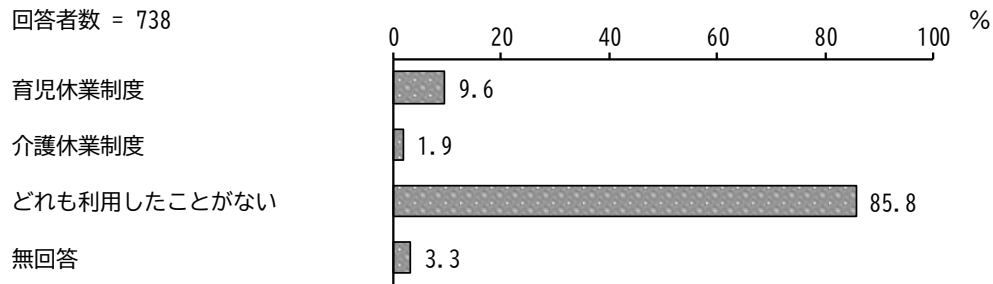
単位：%

区分	回答者数 (件)	仕事を優先	家庭生活を優先	個人の生活を優先	仕事と家庭生活を優先	仕事と個人の生活を優先	家庭生活と個人の生活を優先	仕事、家庭生活、個人の生活すべて	わからない	無回答
全 体	738	26.7	15.7	5.4	17.8	6.1	9.1	7.5	7.9	3.9
女性 18 歳～19 歳	30	23.3	3.3	13.3	10.0	6.7	13.3	3.3	26.7	—
女性 20 歳～29 歳	32	31.3	6.3	6.3	6.3	15.6	9.4	6.3	18.8	—
女性 30 歳～39 歳	50	28.0	26.0	2.0	24.0	4.0	10.0	—	6.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	34.9	30.2	2.3	23.3	2.3	2.3	2.3	2.3	—
女性 50 歳～59 歳	61	23.0	23.0	1.6	29.5	3.3	9.8	3.3	6.6	—
女性 60 歳～69 歳	61	16.4	29.5	6.6	18.0	9.8	13.1	1.6	3.3	1.6
女性 70 歳～79 歳	52	17.3	19.2	3.8	17.3	1.9	13.5	7.7	9.6	9.6
女性 80 歳以上	59	8.5	22.0	—	15.3	3.4	10.2	6.8	20.3	13.6
男性 18 歳～19 歳	21	23.8	23.8	9.5	14.3	9.5	—	—	19.0	—
男性 20 歳～29 歳	22	36.4	4.5	18.2	9.1	13.6	4.5	9.1	4.5	—
男性 30 歳～39 歳	29	37.9	3.4	6.9	24.1	3.4	13.8	6.9	3.4	—
男性 40 歳～49 歳	31	35.5	6.5	9.7	19.4	3.2	9.7	12.9	—	3.2
男性 50 歳～59 歳	37	45.9	10.8	5.4	24.3	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	30.4	10.7	5.4	17.9	8.9	7.1	12.5	3.6	3.6
男性 70 歳～79 歳	68	22.1	11.8	7.4	14.7	8.8	7.4	20.6	2.9	4.4
男性 80 歳以上	69	33.3	5.8	5.8	13.0	5.8	7.2	13.0	5.8	10.1

問 26 次のうち、あなたが利用したことのあるものはどれですか。(〇はいくつでも)

「どれも利用したことがない」の割合が 85.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 738



【性別】

男女別にみると、男性では、「どれも利用したことがない」の割合が女性よりも高くなっています。

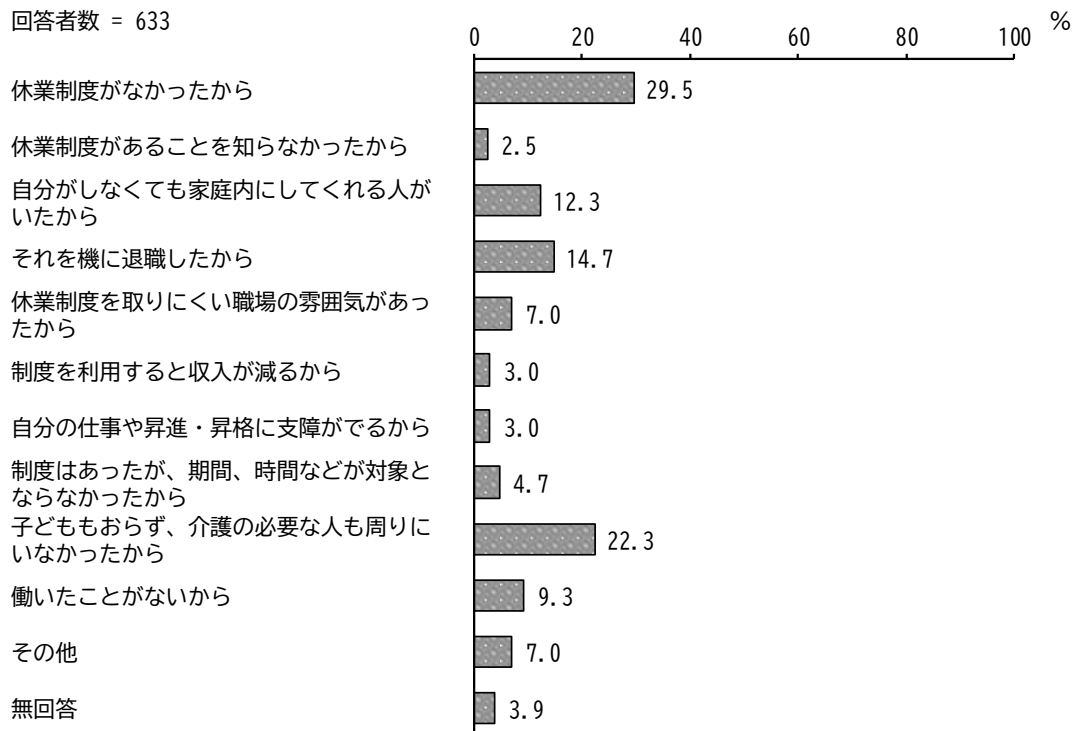
単位：%

区分	回答者数 (件)	育児休業制度	介護休業制度	どれも利用した ことがない	無回答
全 体	738	9.6	1.9	85.8	3.3
女性	390	14.6	2.1	81.0	2.8
男性	333	4.2	1.5	91.0	3.9
女性、男性以外	1	—	—	100.0	—

問 26 で「どれも利用したことがない」とお答えの方にお伺いします。

問 27 制度を利用したことがない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「休業制度がなかったから」の割合が 29.5%と最も高く、次いで「子どももおらず、介護の必要な人も周りにいなかったから」の割合が 22.3%、「それを機に退職したから」の割合が 14.7%となっています。



【性別】

男女別にみると、女性では、「それを機に退職したから」の割合が男性よりも高くなっています。

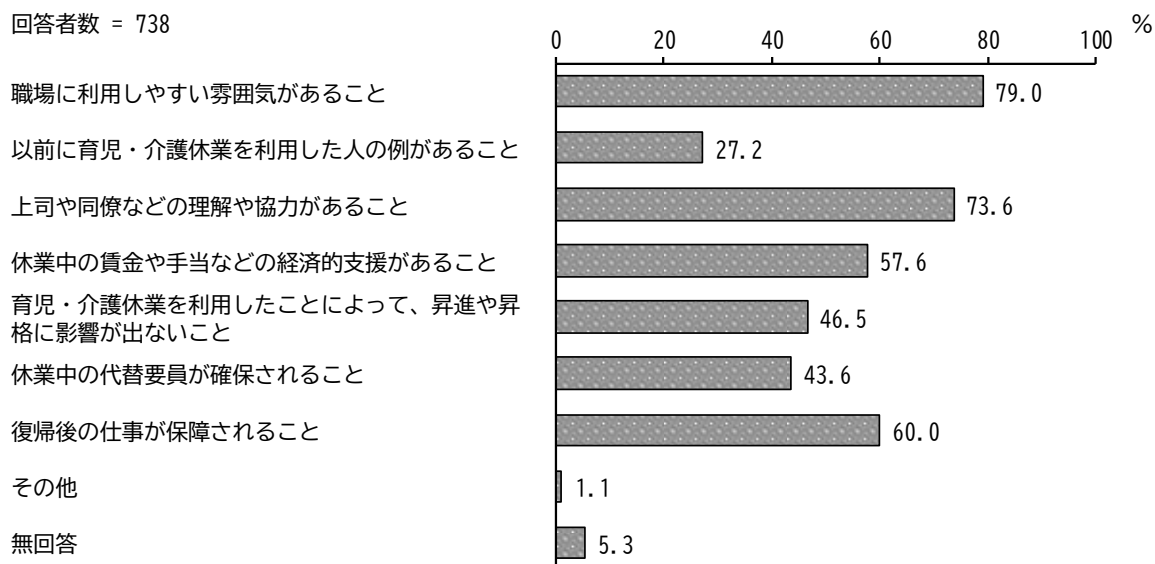
単位：%

区分	回答者数(件)	休業制度がなかったから	休業制度があることを知らなかったから	自分がしなくても家庭内にしてくれる人がいたから	それを機に退職したから	休業制度を取りにくい職場の雰囲気があったから	制度を利用すると収入が減るから	自分の仕事や昇進・昇格に支障がでるから	制度はあったが、期間、時間などが対象とならなかったから	子どももおらず、介護の必要な人も周りにいなかったから	働いたことがないから	その他	無回答
全 体	633	29.5	2.5	12.3	14.7	7.0	3.0	3.0	4.7	22.3	9.3	7.0	3.9
女性	316	24.7	1.3	5.1	27.5	4.7	1.3	0.9	3.5	22.2	12.3	7.6	4.4
男性	303	33.7	4.0	19.8	2.0	9.2	5.0	5.0	5.9	23.4	6.3	6.6	2.3
女性、男性以外	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—

問 28 育児や介護の休業制度を男女ともに取りやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

「職場に利用しやすい雰囲気があること」の割合が 79.0%と最も高く、次いで「上司や同僚などの理解や協力があること」の割合が 73.6%、「復帰後の仕事が保障されること」の割合が 60.0%となっています。

回答者数 = 738



【性別】

男女別にみると、大きな差はみられません。

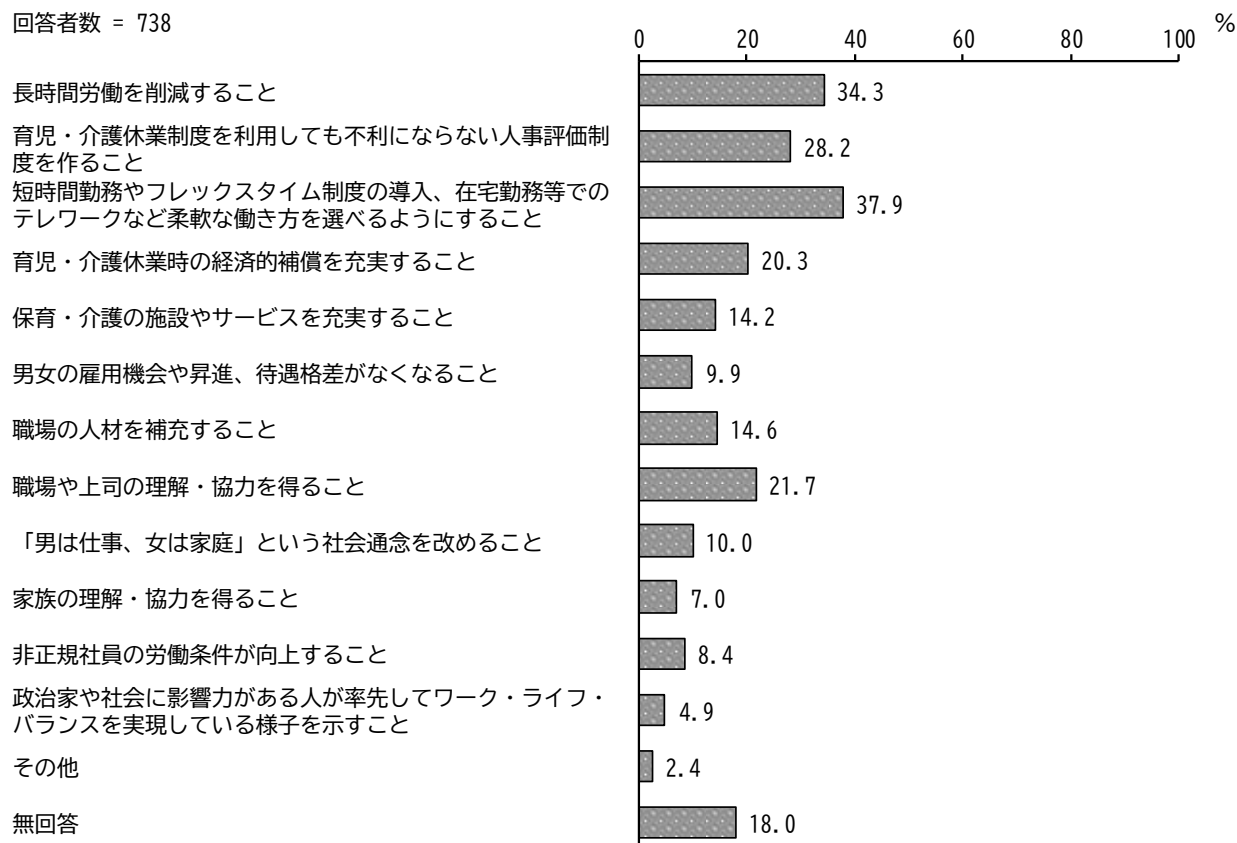
単位：%

区分	回答者数（件）	職場に利用しやすい雰囲気があること	以前に育児・介護休業を利用した人の例があること	上司や同僚などの理解や協力があること	休業中の賃金や手当などの経済的支援があること	育児・介護休業を利用したことによって、昇進や昇格に影響が出ないこと	休業中の代替要員が確保されること	復帰後の仕事が保障されること	その他	無回答
全 体	738	79.0	27.2	73.6	57.6	46.5	43.6	60.0	1.1	5.3
女性	390	80.0	28.7	76.9	57.9	46.4	41.8	63.1	1.3	4.6
男性	333	77.8	25.8	70.3	57.7	47.1	45.6	56.2	0.6	6.0
女性、男性以外	1	100.0	100.0	—	—	—	100.0	100.0	—	—

問 29 「ワーク・ライフ・バランス」の実現のために必要なことは何だと思いますか。
(○は3つまで)

「短時間勤務やフレックスタイム制度の導入、在宅勤務等でのテレワークなど柔軟な働き方を選べるようにすること」の割合が37.9%と最も高く、次いで「長時間労働を削減すること」の割合が34.3%、「育児・介護休業制度を利用しても不利にならない人事評価制度を作ること」の割合が28.2%となっています。

回答者数 = 738



【性別】

男女別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

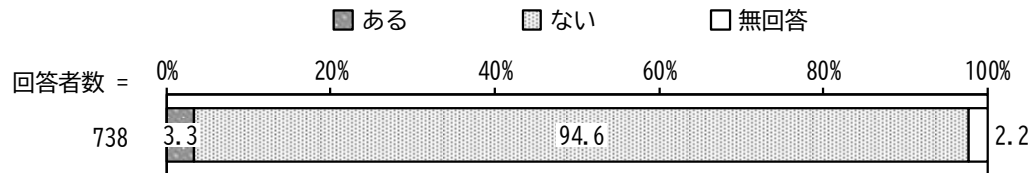
区分	回答者数（件）	長時間労働を削減すること	育児・介護休業制度を利用しても不利にならない人事評価制度を作ること	短時間勤務やフレックスタイム制度の導入、在宅勤務等でのテレワークなど柔軟な働き方を選ぶようにすること	育児・介護休業時の経済的補償を充実すること	保育・介護の施設やサービスを充実すること	男女の雇用機会や昇進、待遇格差がなくなること	職場の人材を補充すること
全 体	738	34.3	28.2	37.9	20.3	14.2	9.9	14.6
女性	390	32.3	29.5	37.7	20.3	13.3	8.7	16.2
男性	333	36.6	26.1	39.0	20.4	15.3	11.7	13.5
女性、男性以外	1	100.0	100.0	100.0	－	－	－	－

区分	職場や上司の理解・協力を得ること	「男は仕事、女は家庭」という社会通念を改めること	家族の理解・協力を得ること	非正規社員の労働条件が向上すること	政治家や社会に影響力がある人が率先してワーク・ライフ・バランスを実現している様子を示すこと	その他	無回答
全 体	21.7	10.0	7.0	8.4	4.9	2.4	18.0
女性	22.1	10.5	10.0	10.3	3.8	2.3	18.7
男性	21.3	9.3	3.0	6.3	6.0	2.7	16.8
女性、男性以外	—	—	—	—	—	—	—

6 性のあり方に関することについて

問 30 あなたは今までに自分の性別や性自認、性的指向に違和感を覚えたり、悩んだことはありますか。(○は1つ)

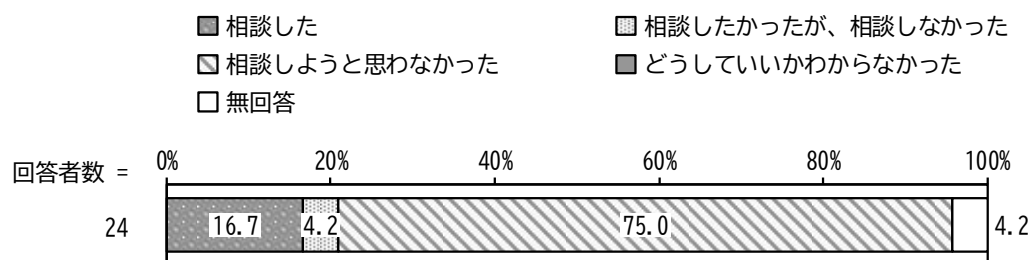
「ある」の割合が 3.3%、「ない」の割合が 94.6%となっています。



問 30 で「ある」とお答えの方にお伺いします。

問 31 そのことを誰かに相談しましたか。(○は1つ)

「相談しようと思わなかった」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「相談した」の割合が 16.7%となっています。



問 31 で「相談した」とお答えの方にお伺いします。

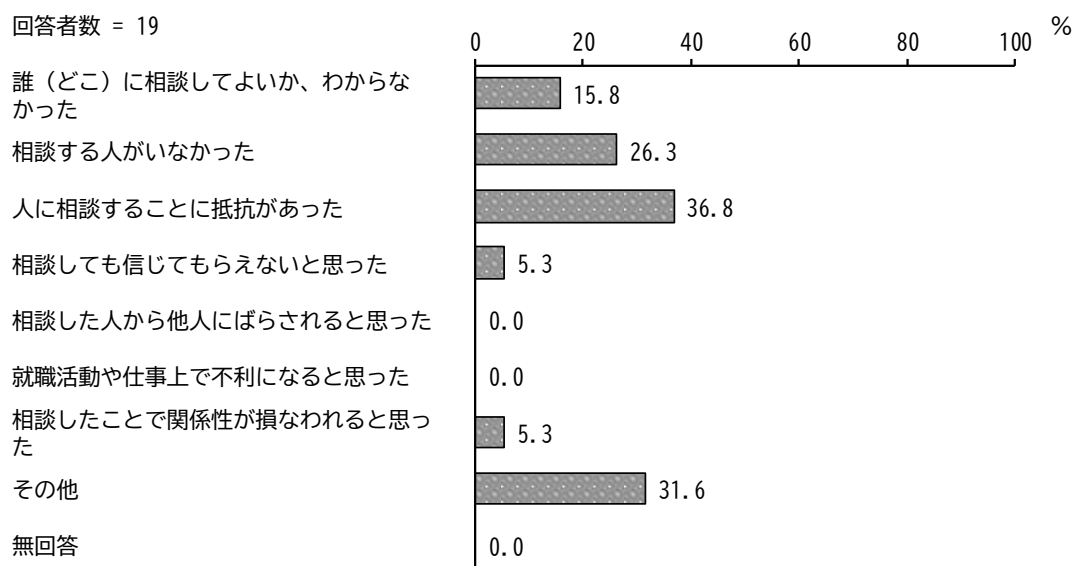
問 32 誰（どこ）に相談しましたか。（○はいくつでも）

「親族」、「友人・知人」が 75%となっています。

問 31 で「相談したかったが、相談しなかった」、「相談しようと思わなかった」、「どうしていいかわからなかった」のいずれかとお答えの方にお伺いします。

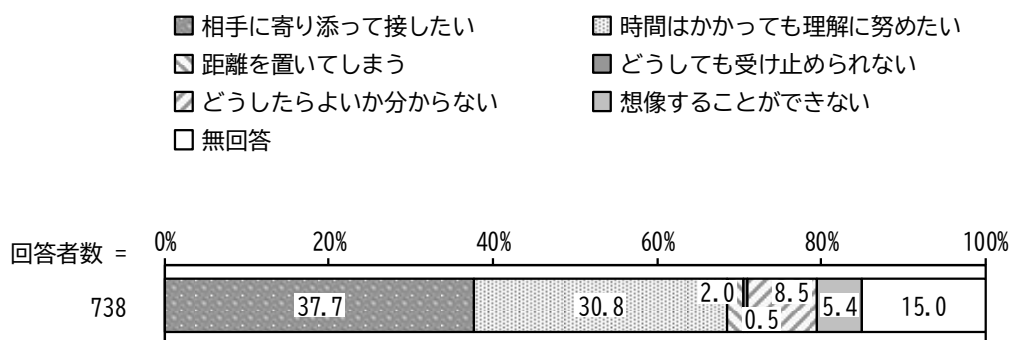
問 33 相談しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

「人に相談することに抵抗があった」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「相談する人がいなかった」の割合が 26.3%、「誰（どこ）に相談してよいか、わからなかった」の割合が 15.8%となっています。



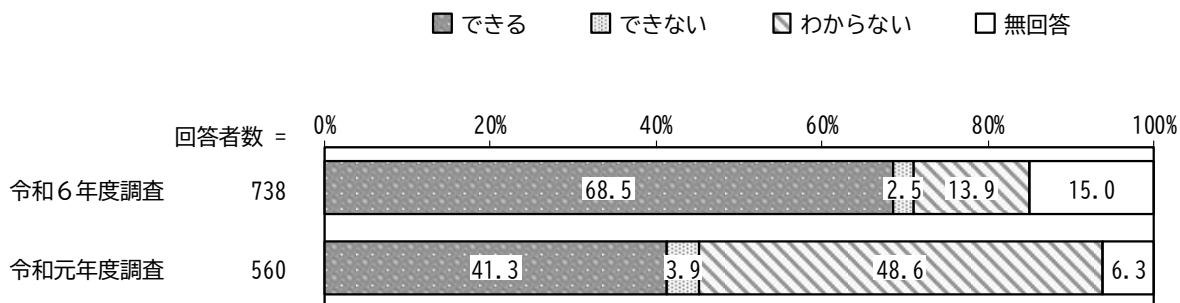
問 34 あなたは身近な人などからカミングアウトされた場合、どのように寄り添える・受け止められると思いますか。(○は1つ)

「相手に寄り添って接したい」の割合が37.7%と最も高く、次いで「時間はかかっても理解に努めたい」の割合が30.8%となっています。



「相手に寄り添って接したい」と「時間はかかっても理解に努めたい」をあわせた“できる”の割合が68.5%、「距離を置いてしまう」と「どうしても受け止められない」をあわせた“できない”の割合が2.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、“できる”の割合が増加しています。



【性・年代別】

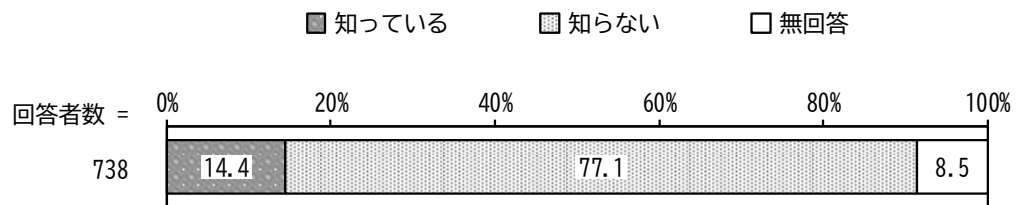
性・年代別にみると、女性 18 歳～19 歳で「相手に寄り添って接したい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	相手に寄り添って接したい	時間はかかっても理解に努めたい	距離を置いてしまう	どうしても受け止められない	どうしたらよいかわからない	想像することができない	無回答
全 体	738	37.7	30.8	2.0	0.5	8.5	5.4	15.0
女性 18 歳～19 歳	30	83.3	13.3	—	—	—	—	3.3
女性 20 歳～29 歳	32	56.3	34.4	—	—	—	3.1	6.3
女性 30 歳～39 歳	50	68.0	24.0	—	—	—	2.0	6.0
女性 40 歳～49 歳	43	46.5	39.5	2.3	—	2.3	—	9.3
女性 50 歳～59 歳	61	52.5	27.9	1.6	—	4.9	3.3	9.8
女性 60 歳～69 歳	61	39.3	36.1	1.6	1.6	13.1	1.6	6.6
女性 70 歳～79 歳	52	23.1	32.7	—	—	17.3	5.8	21.2
女性 80 歳以上	59	15.3	27.1	1.7	1.7	13.6	6.8	33.9
男性 18 歳～19 歳	21	47.6	28.6	9.5	4.8	—	4.8	4.8
男性 20 歳～29 歳	22	59.1	27.3	—	—	13.6	—	—
男性 30 歳～39 歳	29	41.4	34.5	—	—	10.3	13.8	—
男性 40 歳～49 歳	31	32.3	58.1	—	—	—	—	9.7
男性 50 歳～59 歳	37	32.4	43.2	—	—	5.4	10.8	8.1
男性 60 歳～69 歳	56	35.7	33.9	1.8	—	12.5	7.1	8.9
男性 70 歳～79 歳	68	19.1	23.5	2.9	1.5	16.2	11.8	25.0
男性 80 歳以上	69	14.5	27.5	8.7	—	10.1	7.2	31.9

問 35 あなたは日野市パートナーシップ制度を知っていますか。

「知っている」の割合が 14.4%、「知らない」の割合が 77.1%となっています。



【性別】

男女別にみると、大きな差はみられません。

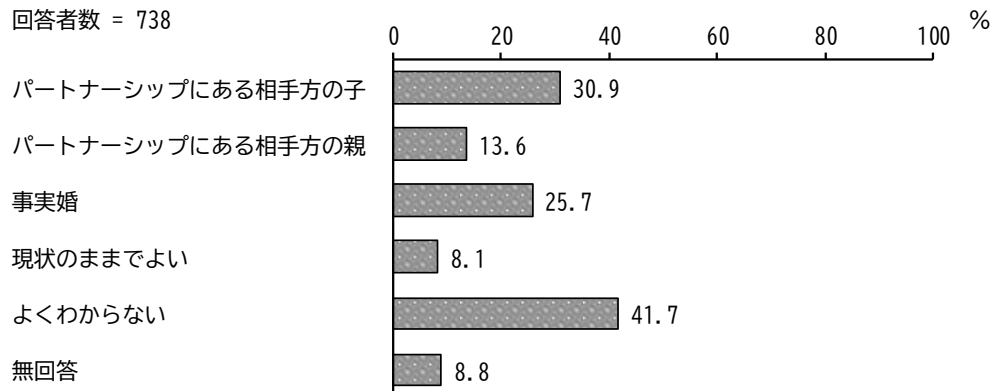
単位：％

区分	回答者数 (件)	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
全 体	738	14.4	77.1	8.5
女性	390	16.9	74.1	9.0
男性	333	11.1	81.7	7.2
女性、男性以外	1	100.0	—	—

問 36 日野市では、多様な性の当事者以外にも、法的な関係によらない家族を、パートナーシップ制度の対象とするかどうかを検討しています。あなたはどこまでの範囲を対象とすべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

「よくわからない」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「パートナーシップにある相手方の子」の割合が 30.9%、「事実婚」の割合が 25.7%となっています。

回答者数 = 738



【性・年代別】

性・年代別にみると、女性 30 歳～39 歳で「パートナーシップにある相手方の子」の割合が高くなっています。

単位：％

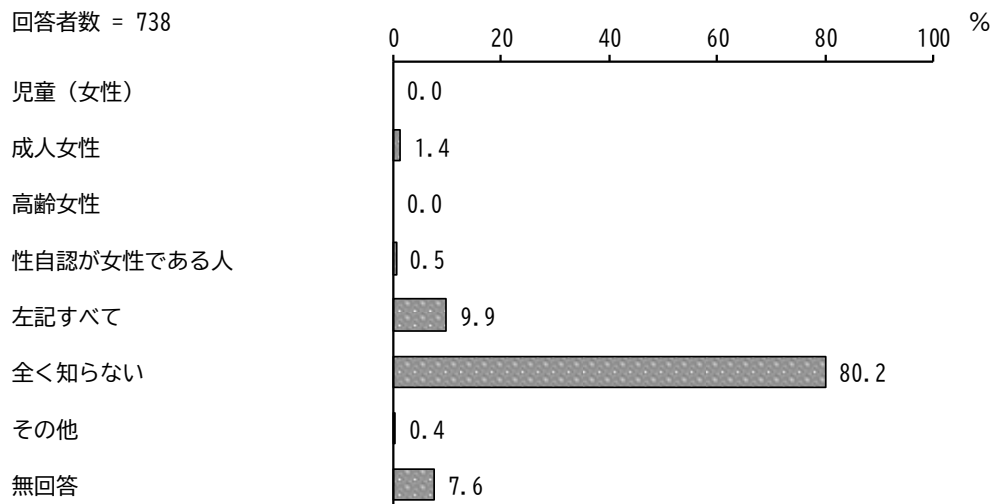
区分	回答者数(件)	パートナーシップにある相手方の子	パートナーシップにある相手方の親	事実婚	現状のままでよい	よくわからない	無回答
全 体	738	30.9	13.6	25.7	8.1	41.7	8.8
女性 18 歳～19 歳	30	26.7	10.0	23.3	3.3	56.7	—
女性 20 歳～29 歳	32	37.5	25.0	25.0	9.4	40.6	—
女性 30 歳～39 歳	50	64.0	24.0	34.0	6.0	22.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	51.2	23.3	34.9	11.6	34.9	—
女性 50 歳～59 歳	61	31.1	9.8	29.5	4.9	45.9	3.3
女性 60 歳～69 歳	61	41.0	11.5	36.1	4.9	34.4	6.6
女性 70 歳～79 歳	52	9.6	1.9	9.6	5.8	63.5	13.5
女性 80 歳以上	59	3.4	3.4	8.5	5.1	54.2	32.2
男性 18 歳～19 歳	21	28.6	19.0	38.1	9.5	42.9	—
男性 20 歳～29 歳	22	22.7	13.6	22.7	27.3	36.4	—
男性 30 歳～39 歳	29	48.3	24.1	34.5	17.2	24.1	—
男性 40 歳～49 歳	31	48.4	16.1	32.3	12.9	19.4	3.2
男性 50 歳～59 歳	37	35.1	27.0	35.1	5.4	40.5	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	41.1	16.1	32.1	8.9	28.6	8.9
男性 70 歳～79 歳	68	23.5	11.8	26.5	11.8	47.1	5.9
男性 80 歳以上	69	11.6	5.8	14.5	4.3	52.2	26.1

7 女性支援新法に関することについて

問 37 あなたは「女性支援新法」の対象者を知っていますか。(○は1つ)

「全く知らない」の割合が 80.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 738



【性・年代別】

性・年代別にみると、男性 30 歳～39 歳で「全く知らない」の割合が高くなっています。

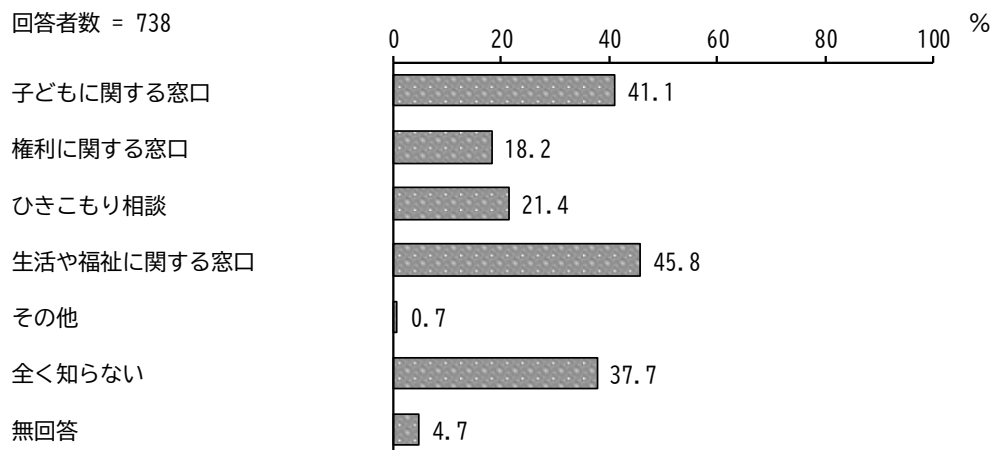
単位：%

区分	回答者数 (件)	児童 (女性)	成人 女性	高齢 女性	性自認が 女性であ る人	左記 すべて	全く 知らない	その他	無 回答
全 体	738	—	1.4	—	0.5	9.9	80.2	0.4	7.6
女性 18 歳～19 歳	30	—	3.3	—	3.3	10.0	83.3	—	—
女性 20 歳～29 歳	32	—	—	—	—	9.4	90.6	—	—
女性 30 歳～39 歳	50	—	—	—	—	10.0	90.0	—	—
女性 40 歳～49 歳	43	—	—	—	—	7.0	90.7	—	2.3
女性 50 歳～59 歳	61	—	1.6	—	—	16.4	80.3	—	1.6
女性 60 歳～69 歳	61	—	3.3	—	—	16.4	68.9	—	11.5
女性 70 歳～79 歳	52	—	—	—	1.9	17.3	63.5	3.8	13.5
女性 80 歳以上	59	—	1.7	—	1.7	5.1	64.4	—	27.1
男性 18 歳～19 歳	21	—	—	—	—	4.8	95.2	—	—
男性 20 歳～29 歳	22	—	—	—	—	4.5	95.5	—	—
男性 30 歳～39 歳	29	—	—	—	—	3.4	96.6	—	—
男性 40 歳～49 歳	31	—	3.2	—	—	6.5	87.1	—	3.2
男性 50 歳～59 歳	37	—	—	—	2.7	2.7	91.9	—	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	—	5.4	—	—	7.1	85.7	—	1.8
男性 70 歳～79 歳	68	—	1.5	—	—	14.7	76.5	—	7.4
男性 80 歳以上	69	—	—	—	—	8.7	73.9	1.4	15.9

問 38 あなたは日野市内で実施している下記の「相談窓口」を知っていますか。
(知っているものすべてに○)

「生活や福祉に関する窓口」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「子どもに関する窓口」の割合が 41.1%、「全く知らない」の割合が 37.7%となっています。

回答者数 = 738



【性・年代別】

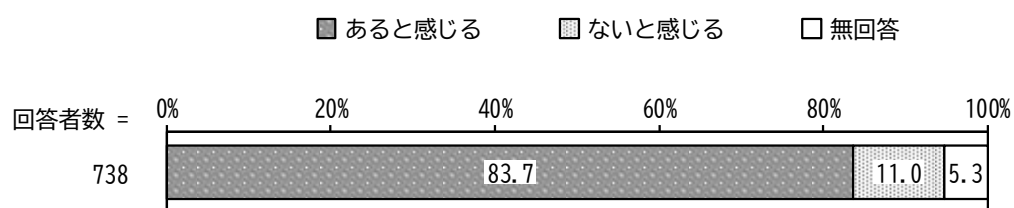
性・年代別にみると、男性 20 歳～29 歳で「全く知らない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	子どもに関する窓口	権利に関する窓口	ひきこもり相談	生活や福祉に関する窓口	その他	全く知らない	無回答
全 体	738	41.1	18.2	21.4	45.8	0.7	37.7	4.7
女性 18 歳～19 歳	30	63.3	13.3	13.3	36.7	—	30.0	—
女性 20 歳～29 歳	32	31.3	9.4	12.5	21.9	—	62.5	—
女性 30 歳～39 歳	50	54.0	14.0	18.0	36.0	—	40.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	65.1	20.9	32.6	51.2	—	27.9	2.3
女性 50 歳～59 歳	61	57.4	26.2	36.1	65.6	—	23.0	—
女性 60 歳～69 歳	61	63.9	34.4	36.1	70.5	1.6	14.8	3.3
女性 70 歳～79 歳	52	46.2	36.5	38.5	69.2	1.9	25.0	1.9
女性 80 歳以上	59	30.5	20.3	23.7	59.3	1.7	20.3	16.9
男性 18 歳～19 歳	21	28.6	—	9.5	14.3	—	71.4	—
男性 20 歳～29 歳	22	22.7	—	—	4.5	—	77.3	—
男性 30 歳～39 歳	29	27.6	10.3	6.9	27.6	—	65.5	—
男性 40 歳～49 歳	31	41.9	3.2	6.5	25.8	—	51.6	3.2
男性 50 歳～59 歳	37	29.7	5.4	16.2	43.2	—	48.6	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	23.2	7.1	14.3	28.6	—	58.9	5.4
男性 70 歳～79 歳	68	36.8	22.1	20.6	51.5	1.5	36.8	2.9
男性 80 歳以上	69	26.1	20.3	18.8	42.0	1.4	31.9	17.4

問 39 あなたは自分らしくいられる安心できる居場所があると感じますか。
(○は1つ)

「あると感じる」の割合が 83.7%、「ないと感じる」の割合が 11.0%となっています。



【性・年代別】

性・年代別にみると、女性 20 歳～29 歳で「あると感じる」の割合が高くなっています。

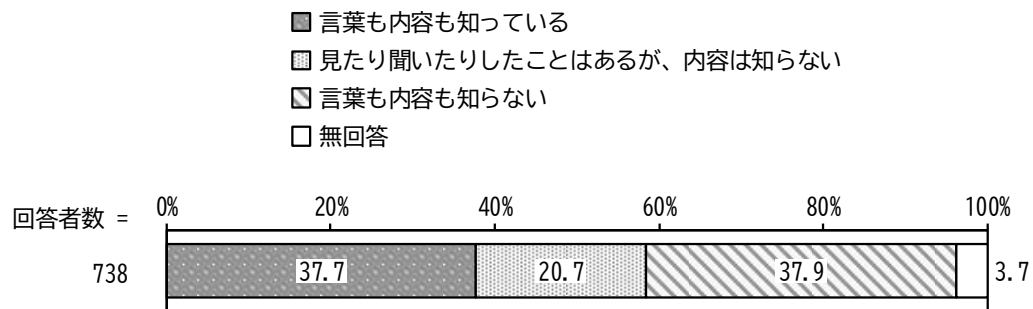
単位：％

区分	回答者数 (件)	ある と感じる	ない と感じる	無 回答
全 体	738	83.7	11.0	5.3
女性 18 歳～19 歳	30	93.3	6.7	—
女性 20 歳～29 歳	32	96.9	3.1	—
女性 30 歳～39 歳	50	94.0	6.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	83.7	14.0	2.3
女性 50 歳～59 歳	61	91.8	8.2	—
女性 60 歳～69 歳	61	85.2	13.1	1.6
女性 70 歳～79 歳	52	82.7	13.5	3.8
女性 80 歳以上	59	71.2	8.5	20.3
男性 18 歳～19 歳	21	90.5	9.5	—
男性 20 歳～29 歳	22	86.4	13.6	—
男性 30 歳～39 歳	29	93.1	6.9	—
男性 40 歳～49 歳	31	83.9	9.7	6.5
男性 50 歳～59 歳	37	78.4	18.9	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	87.5	8.9	3.6
男性 70 歳～79 歳	68	80.9	11.8	7.4
男性 80 歳以上	69	63.8	18.8	17.4

8 配偶者暴力防止法に関することについて

問 40 あなたは「デートDV」という言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。
(○は1つ)

「言葉も内容も知らない」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「言葉も内容も知っている」の割合が 37.7%、「見たり聞いたりしたことはあるが、内容は知らない」の割合が 20.7%となっています。



【性・年代別】

性・年代別にみると、女性 18 歳～19 歳で「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。

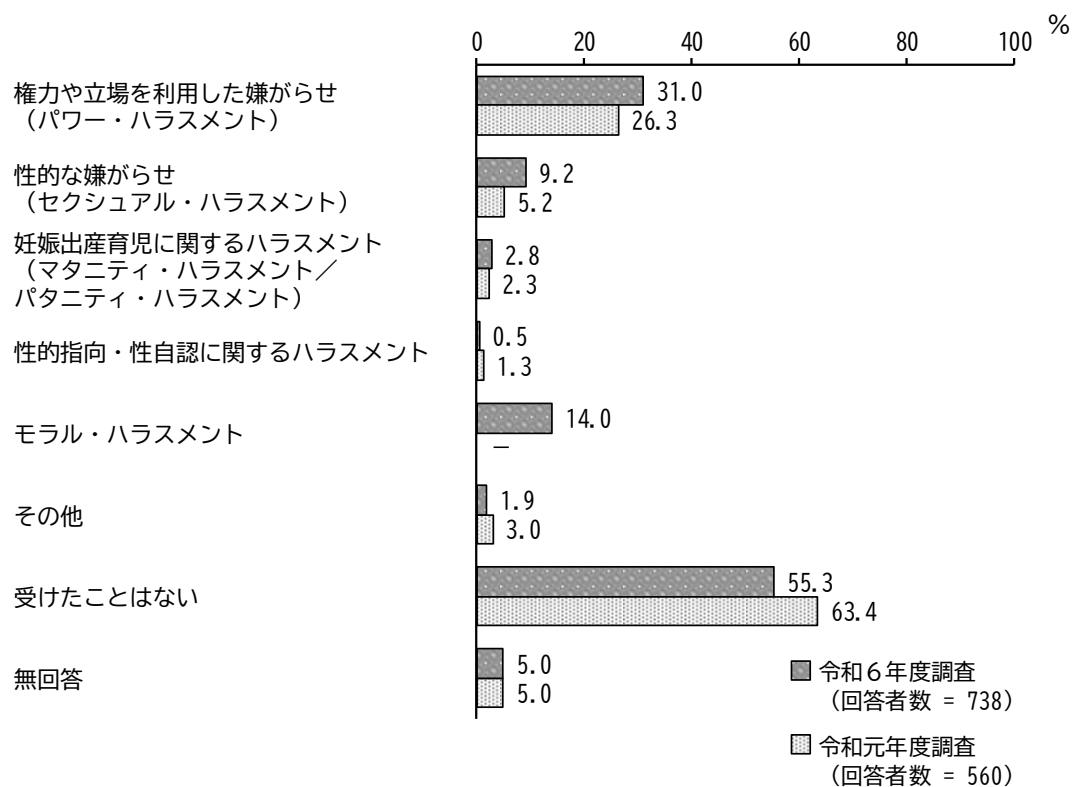
単位：％

区分	回答者数 (件)	言葉も 内容も知っ ている	見たり聞いたりし たことはあるが、内 容は知らない	言葉も内 容も知ら ない	無回 答
全 体	738	37.7	20.7	37.9	3.7
女性 18 歳～19 歳	30	86.7	6.7	6.7	—
女性 20 歳～29 歳	32	37.5	28.1	34.4	—
女性 30 歳～39 歳	50	54.0	16.0	30.0	—
女性 40 歳～49 歳	43	53.5	14.0	30.2	2.3
女性 50 歳～59 歳	61	52.5	23.0	24.6	—
女性 60 歳～69 歳	61	39.3	14.8	42.6	3.3
女性 70 歳～79 歳	52	32.7	21.2	42.3	3.8
女性 80 歳以上	59	18.6	27.1	39.0	15.3
男性 18 歳～19 歳	21	33.3	28.6	38.1	—
男性 20 歳～29 歳	22	22.7	40.9	36.4	—
男性 30 歳～39 歳	29	31.0	10.3	58.6	—
男性 40 歳～49 歳	31	54.8	3.2	38.7	3.2
男性 50 歳～59 歳	37	27.0	21.6	48.6	2.7
男性 60 歳～69 歳	56	28.6	21.4	46.4	3.6
男性 70 歳～79 歳	68	33.8	20.6	45.6	—
男性 80 歳以上	69	24.6	26.1	39.1	10.1

問 41 あなたは身近なところで次のハラスメント（嫌がらせ）を受けたことがありますか。（〇はいくつでも）

「受けたことはない」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「権力や立場を利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）」の割合が 31.0%、「モラル・ハラスメント」の割合が 14.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「受けたことはない」の割合が減少しています。

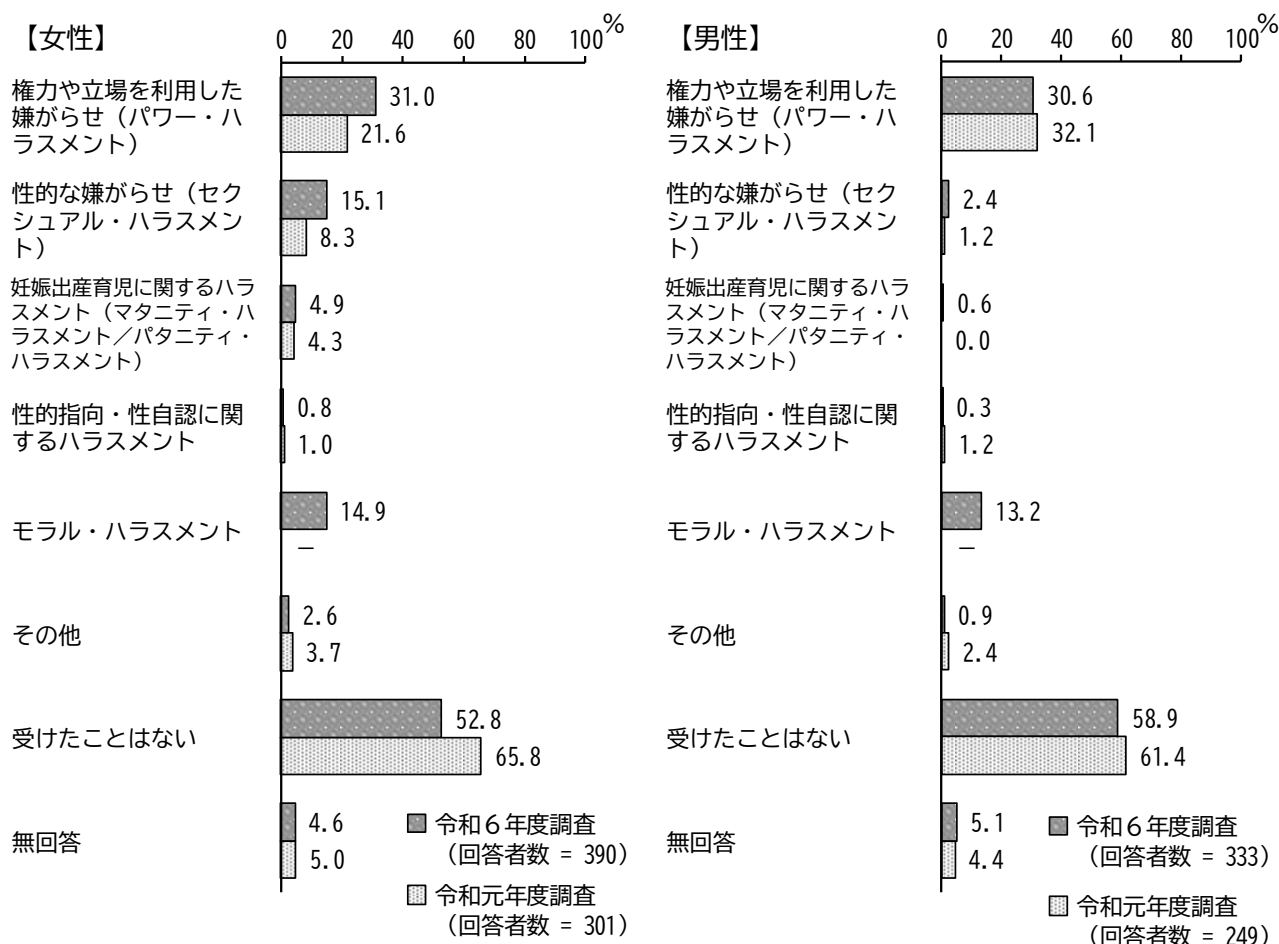


※令和元年度調査には「モラル・ハラスメント」の選択肢はありませんでした。

【男女別にみた経年比較】

男女別に令和元年度調査と比較すると、女性で「権力や立場を利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）」「性的な嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）」の割合が増加し、「受けたことはない」の割合が減少しています。

男性では大きな変化はみられません。



※令和元年度調査には「モラル・ハラスメント」の選択肢はありませんでした。

【性・年代別】

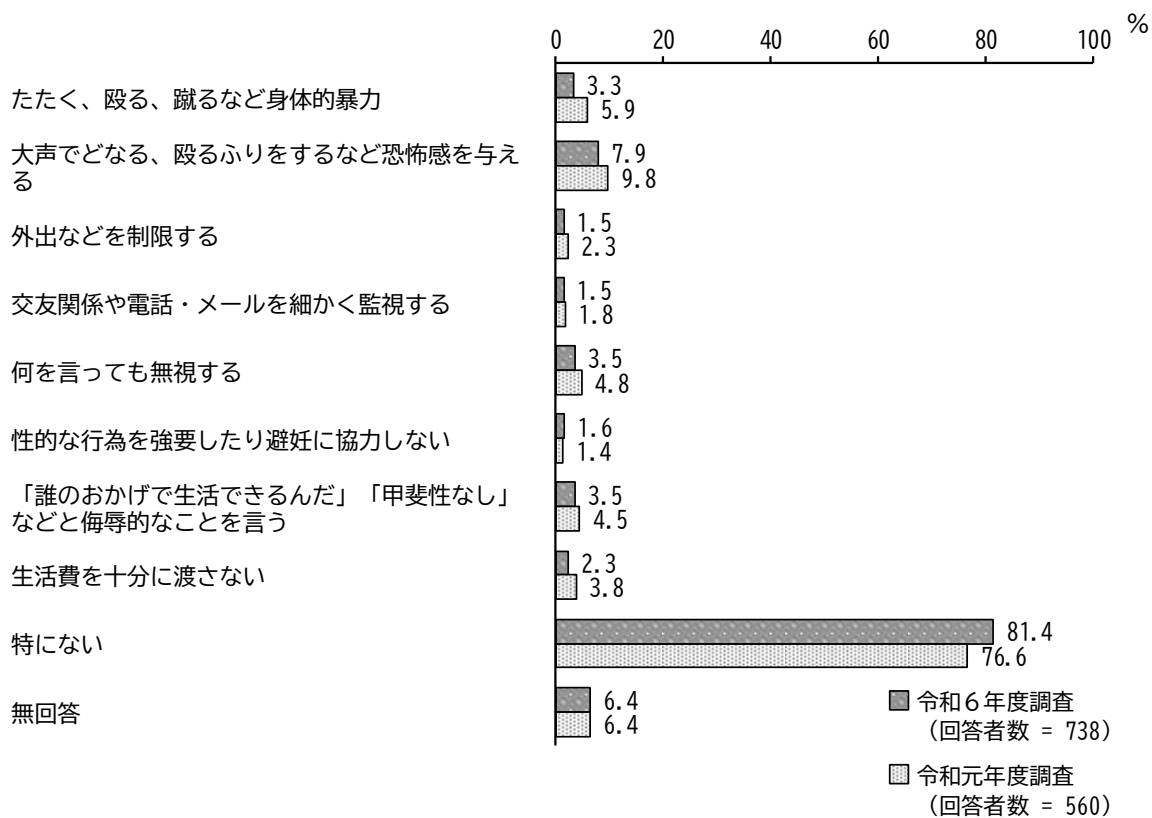
性・年代別にみると、男女とも 40 歳～49 歳で「権力や立場を利用した嫌がらせ」の割合が高くなっています。また、女性 30 歳～39 歳で「性的な嫌がらせ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	権力や立場を利用した嫌がらせ	性的な嫌がらせ	妊娠出産育児に関するハラスメント	性的指向・性自認に関するハラスメント	モラル・ハラスメント	その他	受けたことはない	無回答
全 体	738	31.0	9.2	2.8	0.5	14.0	1.9	55.3	5.0
女性 18 歳～19 歳	30	10.0	3.3	—	—	3.3	—	83.3	3.3
女性 20 歳～29 歳	32	18.8	18.8	—	3.1	9.4	3.1	62.5	—
女性 30 歳～39 歳	50	46.0	36.0	12.0	4.0	22.0	2.0	36.0	2.0
女性 40 歳～49 歳	43	55.8	23.3	14.0	—	27.9	4.7	30.2	2.3
女性 50 歳～59 歳	61	39.3	11.5	1.6	—	19.7	1.6	45.9	—
女性 60 歳～69 歳	61	39.3	16.4	1.6	—	16.4	—	44.3	4.9
女性 70 歳～79 歳	52	21.2	7.7	7.7	—	13.5	5.8	63.5	3.8
女性 80 歳以上	59	8.5	5.1	—	—	1.7	3.4	69.5	16.9
男性 18 歳～19 歳	21	14.3	9.5	4.8	—	4.8	—	71.4	4.8
男性 20 歳～29 歳	22	40.9	9.1	—	4.5	13.6	4.5	50.0	4.5
男性 30 歳～39 歳	29	48.3	6.9	—	—	20.7	—	41.4	—
男性 40 歳～49 歳	31	51.6	6.5	3.2	—	41.9	—	35.5	3.2
男性 50 歳～59 歳	37	29.7	—	—	—	13.5	—	56.8	5.4
男性 60 歳～69 歳	56	42.9	—	—	—	16.1	1.8	50.0	3.6
男性 70 歳～79 歳	68	27.9	—	—	—	8.8	—	67.6	1.5
男性 80 歳以上	69	8.7	—	—	—	1.4	1.4	75.4	13.0

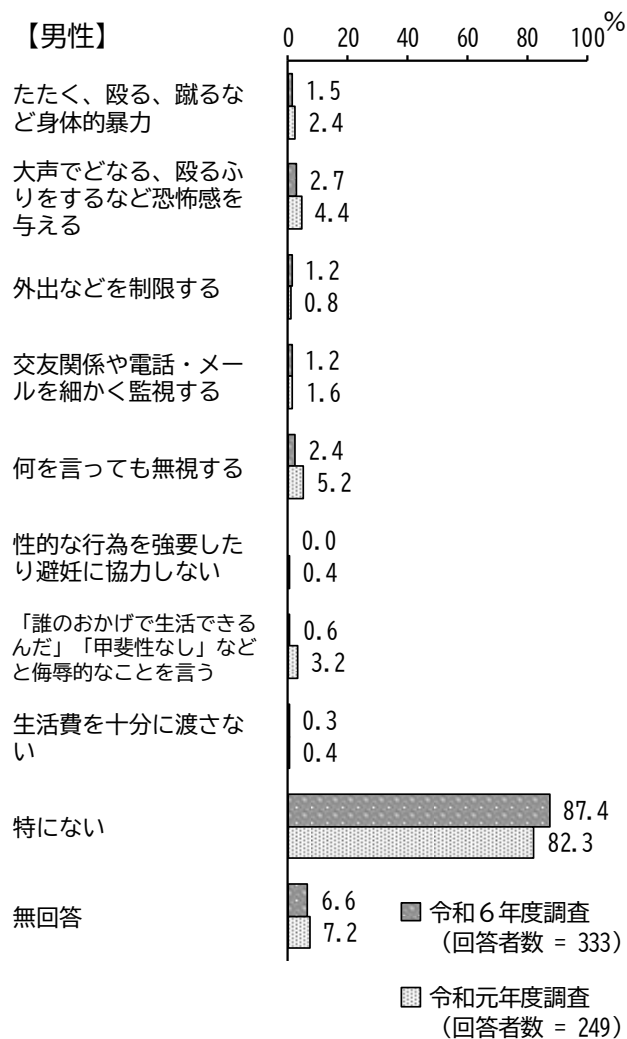
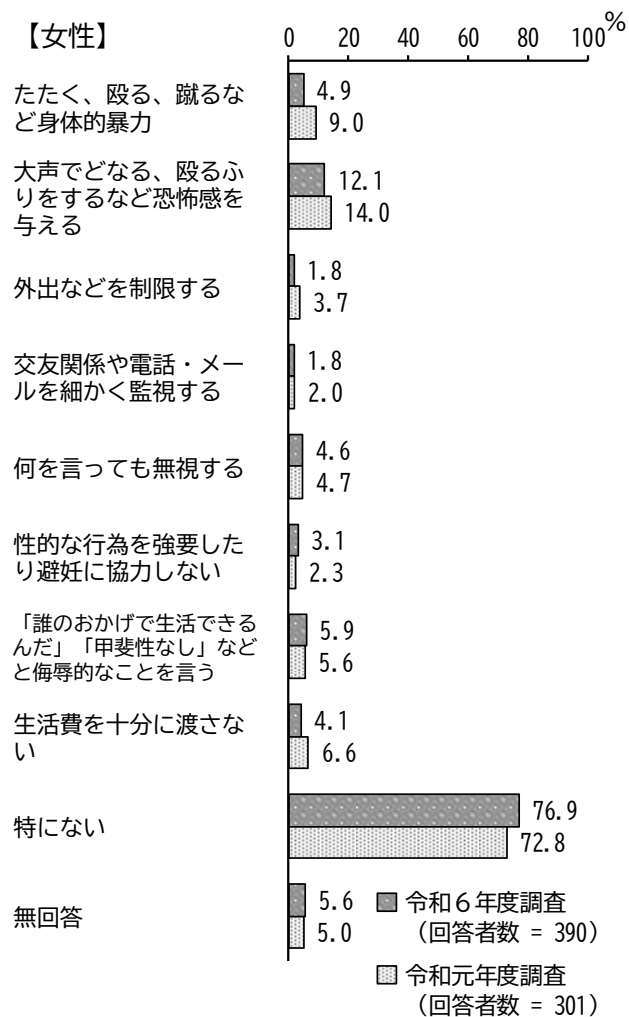
問 42 あなたは配偶者（事実婚・パートナー）や交際相手から次のような行為をされたことがありますか。（○はいくつでも）

「特にない」の割合が81.4%と最も高くなっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【男女別にみた経年比較】

男女別に令和元年度調査と比較すると、男女とも「特にない」の割合が増加しています。



【性・年代別】

性・年代別にみると、女性 40 歳～49 歳で「大声でどなる、殴るふりをするなど恐怖感を与える」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	たたき、殴る、蹴るなど 身体的暴力	大声でどなる、殴るふり をするなど恐怖感 を与える	外出などを制限する	交友関係や電話・メー ルを細かく監視する	何を言っても無視する
全 体	738	3.3	7.9	1.5	1.5	3.5
女性 18 歳～19 歳	30	—	—	—	—	—
女性 20 歳～29 歳	32	6.3	3.1	—	3.1	3.1
女性 30 歳～39 歳	50	6.0	8.0	4.0	4.0	6.0
女性 40 歳～49 歳	43	9.3	23.3	7.0	9.3	14.0
女性 50 歳～59 歳	61	1.6	14.8	1.6	—	6.6
女性 60 歳～69 歳	61	6.6	13.1	1.6	—	1.6
女性 70 歳～79 歳	52	9.6	21.2	—	—	3.8
女性 80 歳以上	59	—	5.1	—	—	1.7
男性 18 歳～19 歳	21	4.8	4.8	9.5	4.8	—
男性 20 歳～29 歳	22	—	4.5	4.5	4.5	9.1
男性 30 歳～39 歳	29	6.9	3.4	—	3.4	—
男性 40 歳～49 歳	31	3.2	6.5	—	3.2	9.7
男性 50 歳～59 歳	37	—	2.7	—	—	—
男性 60 歳～69 歳	56	—	1.8	—	—	3.6
男性 70 歳～79 歳	68	—	1.5	—	—	1.5
男性 80 歳以上	69	1.4	1.4	1.4	—	—

区分	性的な行為を強要した り避妊に協力しない	「誰のおかげで生活で きるんだ」「甲斐性な し」などと侮辱的なこ とを言う	生活費を十分に渡さな い	特にな い	無回 答
全 体	1.6	3.5	2.3	81.4	6.4
女性 18 歳～19 歳	—	—	—	93.3	6.7
女性 20 歳～29 歳	3.1	6.3	—	90.6	—
女性 30 歳～39 歳	4.0	4.0	6.0	84.0	2.0
女性 40 歳～49 歳	9.3	7.0	7.0	72.1	2.3
女性 50 歳～59 歳	1.6	4.9	4.9	75.4	3.3
女性 60 歳～69 歳	4.9	11.5	1.6	77.0	1.6
女性 70 歳～79 歳	1.9	5.8	9.6	69.2	5.8
女性 80 歳以上	—	5.1	1.7	67.8	20.3
男性 18 歳～19 歳	—	—	—	90.5	—
男性 20 歳～29 歳	—	—	—	77.3	9.1
男性 30 歳～39 歳	—	3.4	3.4	89.7	—
男性 40 歳～49 歳	—	3.2	—	80.6	6.5
男性 50 歳～59 歳	—	—	—	91.9	5.4
男性 60 歳～69 歳	—	—	—	87.5	7.1
男性 70 歳～79 歳	—	—	—	89.7	7.4
男性 80 歳以上	—	—	—	87.0	10.1

【性別】

男女別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	たたく、殴る、蹴るなど身 体的暴力	大声でどなる、殴るふり をするなど恐怖感を与え る	外出などを制限する	交友関係や電話・メール を細かく監視する	何を言っても無視する
全 体	738	3.3	7.9	1.5	1.5	3.5
女性	390	4.9	12.1	1.8	1.8	4.6
男性	333	1.5	2.7	1.2	1.2	2.4
女性、男性以外	1	－	－	－	－	－

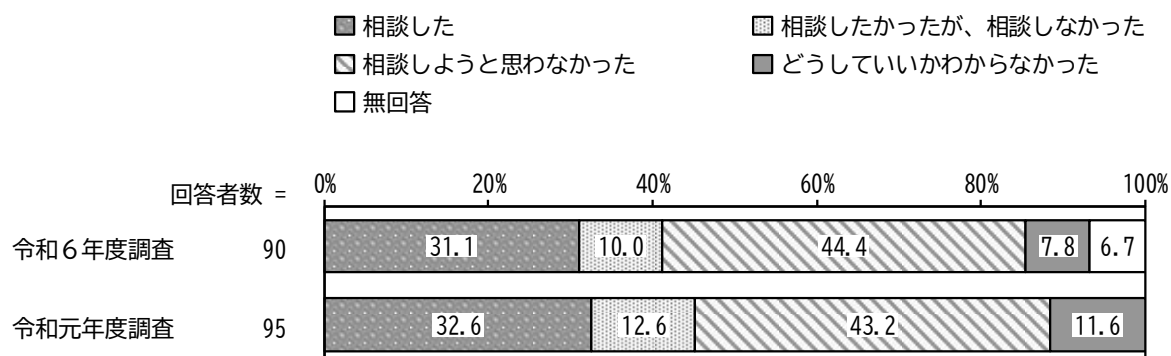
区分	性的な行為を強要したり 避妊に協力しない	「誰のおかげで生活でき るんだ」「甲斐性なし」な どと侮辱的なことを言う	生活費を十分に渡さない	特にない	無回答
全 体	1.6	3.5	2.3	81.4	6.4
女性	3.1	5.9	4.1	76.9	5.6
男性	－	0.6	0.3	87.4	6.6
女性、男性以外	－	－	－	100.0	－

問 42 で「たたく、殴る、蹴るなど身体的暴力」～「生活費を十分に渡さない」のいずれか1つでもお答えの方にお伺いします。

問 43 そのことについて誰かに相談しましたか。(○は1つ)

「相談しようと思わなかった」の割合が44.4%と最も高く、次いで「相談した」の割合が31.1%、「相談したかったが、相談しなかった」の割合が10.0%となっています。

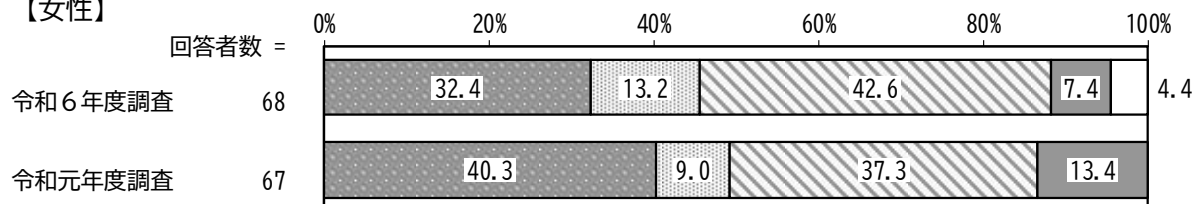
令和元年度調査と比較すると、「どうしていいかわからなかった」の割合が減少しています。



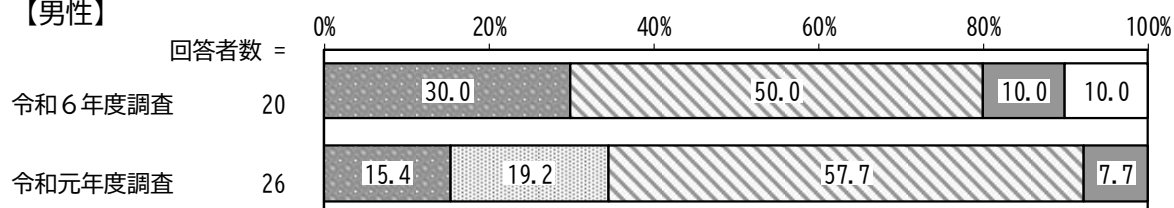
【男女別にみた経年比較】

男女別に令和元年度調査と比較すると、男性では「相談した」の割合が増加している一方、女性では「相談した」の割合が減少し、「相談しようと思わなかった」の割合が増加しています。

【女性】



【男性】



【性・年代別】

性・年代別にみると、女性 50 歳～59 歳で「相談した」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	相談した	相談したかったが、 相談しなかった	相談しようと思わ なかった	どうしていいかわ からなかった	無回答
全 体	90	31.1	10.0	44.4	7.8	6.7
女性 18 歳～19 歳	—	—	—	—	—	—
女性 20 歳～29 歳	3	—	66.7	33.3	—	—
女性 30 歳～39 歳	7	42.9	—	28.6	28.6	—
女性 40 歳～49 歳	11	45.5	9.1	27.3	9.1	9.1
女性 50 歳～59 歳	13	53.8	7.7	38.5	—	—
女性 60 歳～69 歳	13	30.8	15.4	53.8	—	—
女性 70 歳～79 歳	13	7.7	23.1	46.2	15.4	7.7
女性 80 歳以上	7	14.3	—	71.4	—	14.3
男性 18 歳～19 歳	2	100.0	—	—	—	—
男性 20 歳～29 歳	3	33.3	—	33.3	—	33.3
男性 30 歳～39 歳	3	66.7	—	—	33.3	—
男性 40 歳～49 歳	4	—	—	100.0	—	—
男性 50 歳～59 歳	1	—	—	100.0	—	—
男性 60 歳～69 歳	3	33.3	—	66.7	—	—
男性 70 歳～79 歳	2	—	—	100.0	—	—
男性 80 歳以上	2	—	—	—	50.0	50.0

【性別】

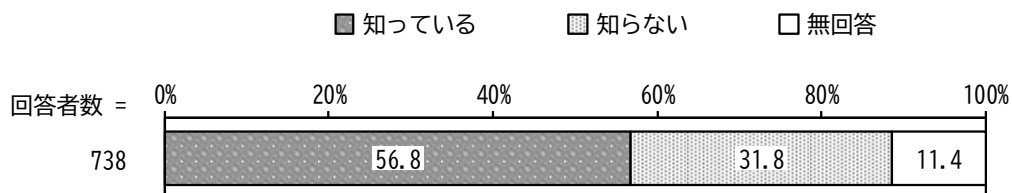
男女別にみると、男性では、「相談しようと思わなかった」の割合が女性よりも高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	相談した	相談したかったが、 相談しなかった	相談しようと思わ なかった	どうしていいかわ からなかった	無回答
全 体	90	31.1	10.0	44.4	7.8	6.7
女性	68	32.4	13.2	42.6	7.4	4.4
男性	20	30.0	—	50.0	10.0	10.0
女性、男性以外	—	—	—	—	—	—

問 44 あなたは、配偶者（事実婚・パートナー）や交際相手から暴力を受けたときに、相談できる機関があることを知っていますか。（○は1つ）

「知っている」の割合が 56.8%、「知らない」の割合が 31.8%となっています。



【性別】

男女別にみると、女性では、「知っている」の割合が男性よりも高くなっています。

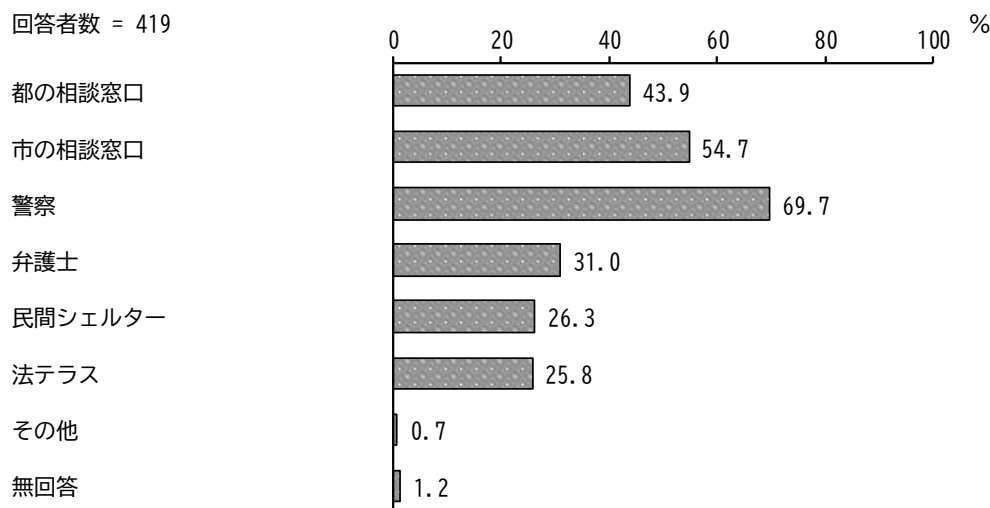
単位：%

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	738	56.8	31.8	11.4
女性	390	66.4	23.8	9.7
男性	333	46.2	41.1	12.6
女性、男性以外	1	—	100.0	—

問 44 で「知っている」とお答えの方にお伺いします。

問 45 相談機関としてどのようなものを知っていますか。（○はいくつでも）

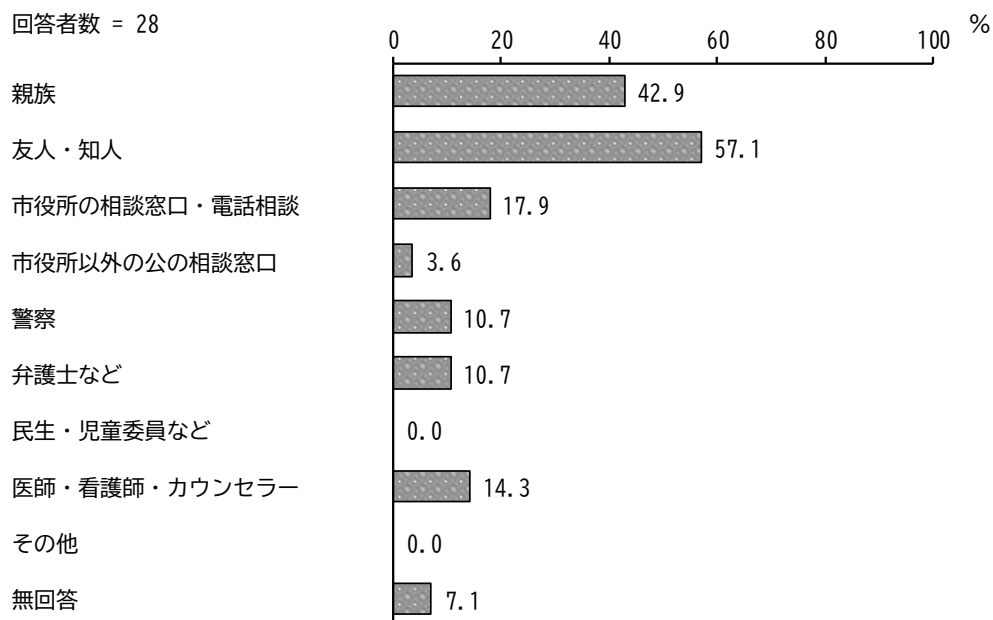
「警察」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「市の相談窓口」の割合が 54.7%、「都の相談窓口」の割合が 43.9%となっています。



問 43 で「相談した」とお答えの方にお伺いします。

問 46 誰（どこ）に相談しましたか。（○はいくつでも）

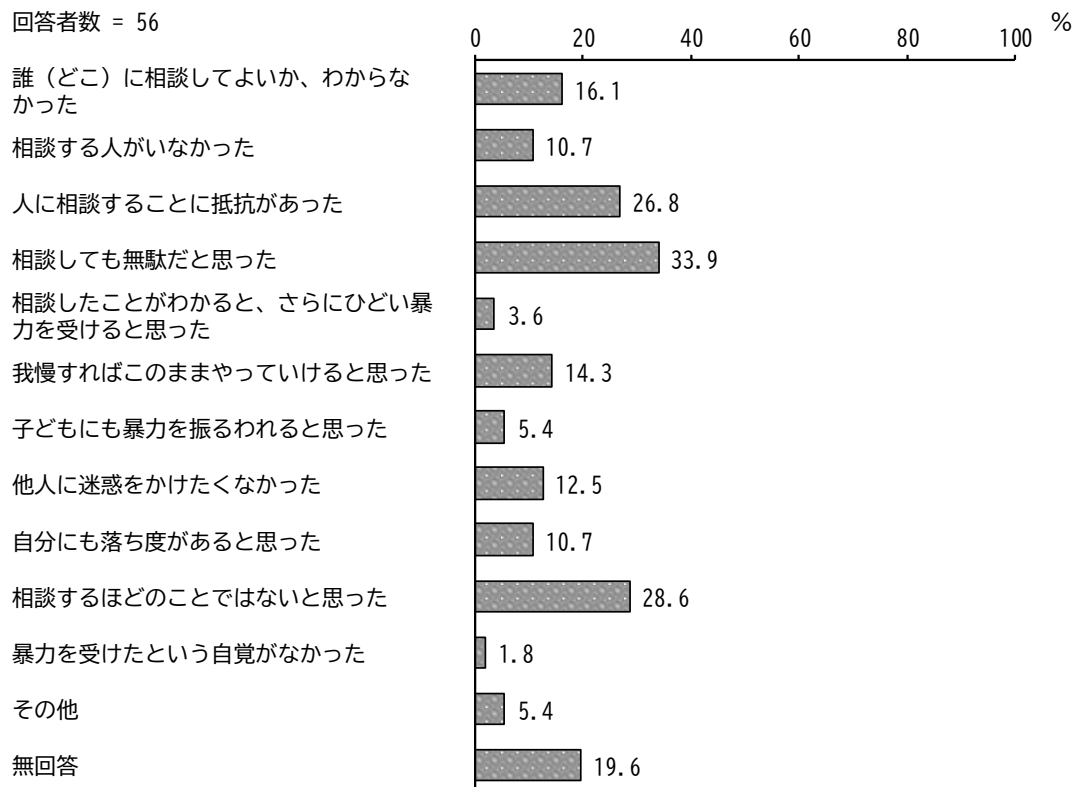
「友人・知人」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「親族」の割合が 42.9%、「市役所の相談窓口・電話相談」の割合が 17.9%となっています。



問 43 で「相談したかったが、相談しなかった」、「相談しようと思わなかった」、「どうしていいかわからなかった」のいずれかとお答えの方にお伺いします。

問 47 相談しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

「相談しても無駄だと思った」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思った」の割合が 28.6%、「人に相談することに抵抗があった」の割合が 26.8%となっています。



【性別】

男女別にみると、女性では、「相談しても無駄だと思った」の割合が特に男性よりも高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	誰（どこ）に相談してよいか、わからなかった	相談する人がいなかった	人に相談することに抵抗があった	相談しても無駄だと思った	相談したことがわかると、さらにひどい暴力を受けると思った	我慢すればこのままやっていけると思った
全 体	56	16.1	10.7	26.8	33.9	3.6	14.3
女性	43	18.6	11.6	30.2	39.5	4.7	16.3
男性	12	8.3	8.3	16.7	16.7	－	8.3
女性、男性以外	－	－	－	－	－	－	－

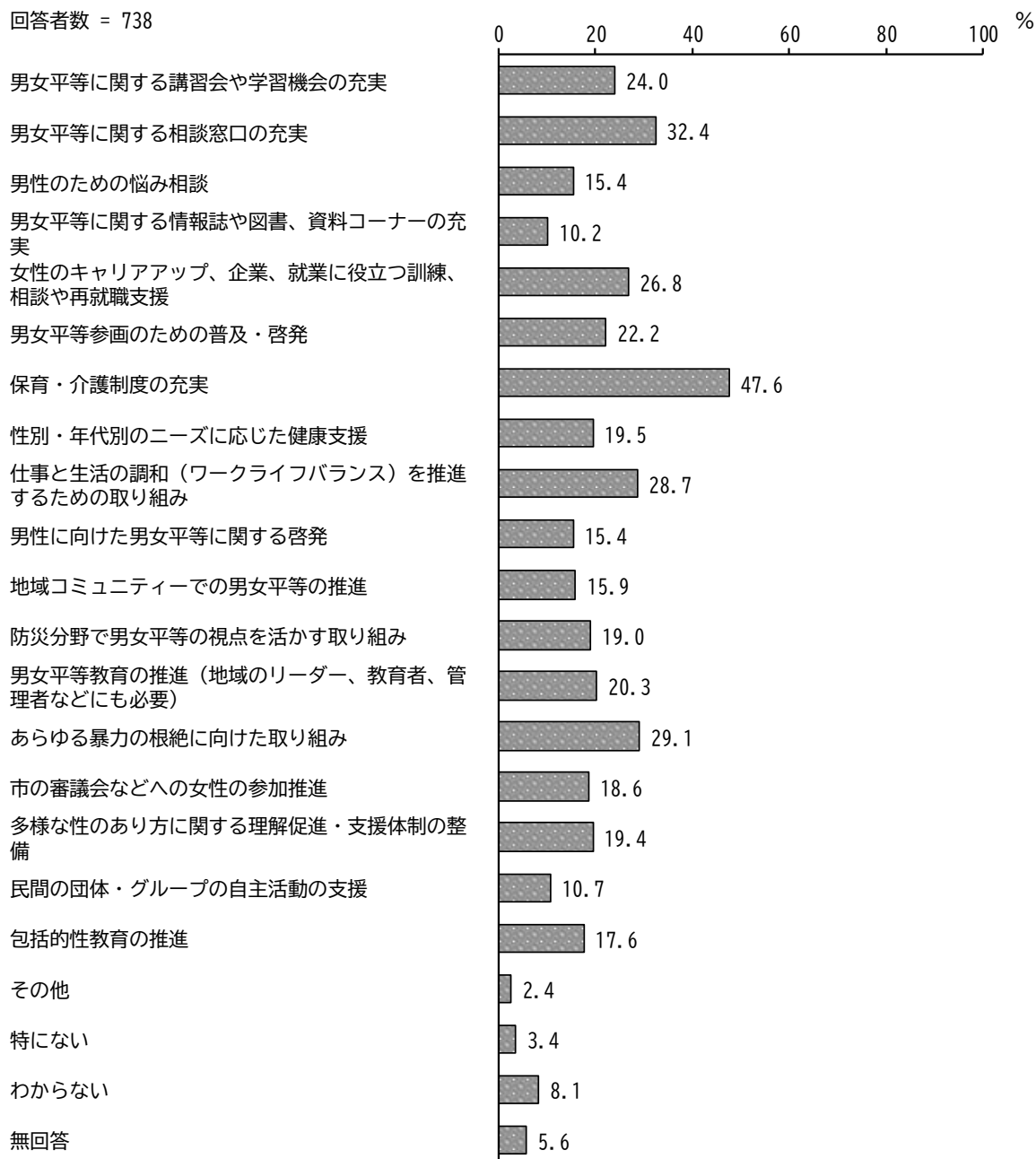
区分	子どもにも暴力を振るわれると思った	他人に迷惑をかけたくなかった	自分にも落ち度があると思った	相談するほどのことではないと思った	暴力を受けたという自覚がなかった	その他	無回答
全 体	5.4	12.5	10.7	28.6	1.8	5.4	19.6
女性	7.0	14.0	11.6	30.2	2.3	4.7	14.0
男性	－	8.3	8.3	25.0	－	8.3	33.3
女性、男性以外	－	－	－	－	－	－	－

9 市が取り組むべきこと

問 48 男女平等社会の形成のため市が取り組むべきこと（性的マイノリティ施策、DV 被害防止施策を含む）だと思えるものはどれですか。（〇はいくつでも）

「保育・介護制度の充実」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「男女平等に関する相談窓口の充実」の割合が 32.4%、「あらゆる暴力の根絶に向けた取り組み」の割合が 29.1%となっています。

回答者数 = 738



【性別】

男女別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	男女平等に関する講習会や学習機会の充実	男女平等に関する相談窓口の充実	男性のための悩み相談	男女平等に関する情報誌や図書、資料コーナーの充実	女性のキャリアアップ、企業、就業に役立つ訓練、相談や再就職支援	男女平等参画のための普及・啓発	保育・介護制度の充実	性別・年代別のニーズに応じた健康支援	仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を推進するための取り組み	男性に向けた男女平等に関する啓発	地域コミュニティでの男女平等の推進
全 体	738	24.0	32.4	15.4	10.2	26.8	22.2	47.6	19.5	28.7	15.4	15.9
女性	390	21.5	33.3	15.9	7.9	31.3	20.8	48.5	21.0	30.8	17.2	15.9
男性	333	26.4	31.2	15.3	12.6	21.9	24.0	47.4	18.3	26.7	14.1	16.2
女性、男性以外	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	防災分野で男女平等の視点を活かす取り組み	男女平等教育の推進（地域のリーダー、教育者、管理者などにも必要）	あらゆる暴力の根絶に向けた取り組み	市の審議会などへの女性の参加推進	多様な性のあり方に関する理解促進・支援体制の整備	民間の団体・グループの自主活動の支援	包括的性教育の推進	その他	特にない	わからない	無回答
全 体	19.0	20.3	29.1	18.6	19.4	10.7	17.6	2.4	3.4	8.1	5.6
女性	19.2	20.8	29.7	19.0	22.6	7.7	19.2	2.6	2.3	8.5	5.6
男性	18.9	19.8	28.5	18.9	15.9	14.1	16.2	2.4	4.2	7.5	5.4
女性、男性以外	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—

Ⅲ 調査票

日野市男女平等についての市民意識アンケート
～あなたの声をぜひお聞かせください～

● 調査へのご協力をお願い ●

日ごろから、市政にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。
本調査は、市民のみならず男女平等に関するご意見やご感想をお聞きし、今後の施策を検討するための基礎資料とさせていただきます。
今回の調査は、18歳から89歳までの市民のみを対象に、住民基本台帳から2,000人を無作為に抽出して実施しています。
なお、本調査は、無記名で行い、集計結果は統計的に処理いたしますので、ご協力いただいたみなさまの個人情報が公表されるようなことは一切ございません。無記名ご意見をお聞かせいただけますよう、お願い申し上げます。

令和6年8月

日野市長 大坪 冬彦

- あて名のご本人がお答えください。
- ご記入にあたっては、以下の要領をお願いいたします。
 - ① 回答は、あてはまる項目の番号の○印をつけてください。
 - ② 質問によっては、○印が（1つ）（3つまで）（いくつでも）といった、ご回答の書き方がありまので、回答数にご注意ください。
 - ③ 回答者が限定される質問があります。その場合、該当する方のみお答えください。
 - ④ 回答が「その他」にあてはまる場合、その番号を○で囲み、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 本アンケートには、調査票、インターネット（WEB）のいずれかでご回答いただけます。
- WEBで回答する場合
 - 右側の二次元コードまたは下記URLから専用フォームにアクセスして、下に載っているIDを入力してください。
 - URL：https://www15.webcs.net/form/pub/websurvey/hino_danie
 - ID：●●●●●●
- ※IDは、重複を防ぐため、個人を特定するものではありません。
- 回答期限は8月31日（土）です。
- 調査票でご回答いただく場合、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、お近くのポストにご投函ください。
- WEBでご回答いただく場合、調査票の返送は必要ございません。

《お問い合わせ》

日野市 企画部 平和と人権課
〒191-0062 日野市多摩平2-9
多摩平の森ふれあい館2階
☎042-584-2733

日野市が考える男女平等とは？

性別等にかかわらず、すべての人が個人として尊重され、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって平等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、責任を分かち合うことができることをいいます。

■ あなたについておたずねします。

問1 あなたの自認する性別をお答えください。(Oは1つ)

1. 女性	2. 男性	3. 1, 2以外
-------	-------	-----------

問2 あなたの年齢をお答えください。(Oは1つ)

1. 18歳～19歳	2. 20歳～29歳	3. 30歳～39歳	4. 40歳～49歳
5. 50歳～59歳	6. 60歳～69歳	7. 70歳～79歳	8. 80歳以上

問3 あなたのご職業をお答えください。(Oは1つ)

1. 勤め人（正社員・正職員）
2. パート・契約社員・派遣社員など
3. 自営業（家族従業員を含む）・経営者・団体役員
4. 農業
5. 専業主婦（夫）
6. 学生
7. 無職
8. その他（具体的に： ）

問4 あなたは結婚されていますか。(Oは1つ)

1. 結婚している（事実婚・パートナーを含む）
2. 結婚していない
3. 結婚していたが離別・死別した

問4で「1. 結婚している（事実婚・パートナーを含む）」とお答えの方にお伺いします。

問4-1 あなたのパートナーのご職業をお答えください。(Oは1つ)

1. 勤め人（正社員・正職員）	2. パート・契約社員・派遣社員など
3. 自営業（家族従業員を含む）・経営者・団体役員	4. 農業
5. 専業主婦（夫）	6. 学生
7. 無職	8. その他（具体的に： ）

問5 あなたの世帯構成をお答えください。(Oは1つ)

1. 一人暮らし
2. 自分と配偶者（事実婚を含む）・パートナーのみ（一世代世帯）
3. 核家族（親と未婚の子ども）
4. 二世帯世帯（親と子ども夫婦）
5. 三世帯世帯（親と子どもと孫）またはそれ以上
6. その他（具体的に： ）

問6 同居のお子さんの方が一番下のお子さんの年齢をお答えください。(Oは1つ)

1. 3歳未満	2. 3歳～小学校入学前	3. 小学生
4. 中学生	5. 中学卒業～18歳未満まで	
6. 18歳以上	7. 同居の子どもはいない	

■ 男女平等に関する意識や教育について

問7 「日野市が男女平等推進センター「5らっと」※」についてお伺いします。

※日野市が男女平等推進センター「5らっと」：男女平等社会を推進するための市民活動の拠点施設です。啓発事業を行うとともに、情報・学習の場を提供しています。



施設の概要や活動については、こちらのページをご覧ください。

※市ホームページへつなぐことができます。

(1) 「日野市立男女平等推進センター「5らっと」」を知っていますか。(Oは1つ)

1. 言葉も内容も知っている
2. 見たり聞いたりしたことはあるが、内容は知らない
3. 言葉も内容も知らない

(2) 「日野市立男女平等推進センター「5らっと」」を利用していますか（利用したいですか）。(Oは1つ)

1. 利用したことがある
2. 今後利用しようと思う
3. 今後もしようと思わない

問8 あなたは「アンコンジャス・パイアス※」という言葉を見たり聞いたことがありますか。(Oは1つ)

1. 言葉も内容も知っている
2. 見たり聞いたりしたことはあるが、内容は知らない
3. 言葉も内容も知らない

※アンコンジャス・パイアス：誰もが協力的に持っている思い込みのこと。育つ環境、所属する集団の中で無意識のうちに思い込ませざみこまれ、固定観念、固定観念となっていきます。

問9 あなたは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてどのように思われますか。(Oは1つ)

1. そう思う	2. ややそう思う
3. あまりそう思わない	4. そう思わない

問 10 次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(〇はをれを1つずつ)

	男性の地位が 優れている	男女の地位が 平等	女性の地位が 優れている
① 家庭生活	1	2	3
② 職場	1	2	3
③ 学校教育	1	2	3
④ 政治	1	2	3
⑤ 法律や制度上	1	2	3
⑥ 社会通念・習慣・しきたりなど	1	2	3
⑦ 地域社会(自治会・PTA など)の層	1	2	3
⑧ 社会全体	1	2	3

問 11 おお分野で男女平等の根拠を挙げるために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 防犯分野の委員会や会議により多くの女性が参加できるようにする
2. 災害対策や復興においてリーダーとなる女性を育成する
3. 地域経済計画や災害に関する各種マニュアル等に男女平等の視点を入れる
4. 避難所でのリーダーや炊き出しなど役割を性別で固定せず分担する
5. 災害時の備えについて性別によって異なるニーズを反映する
6. 自治体職員(防災担当部署)について防災現場に女性が十分配置されるよう、採用・登用段階を改めて見直す
7. 避難所で性別に拠ってプライバシー(更衣・授乳など)が確保できるようにする
8. 暴力の抑止策を講じたり、相談窓口を設置する
9. その他(具体的に：
10. わからない

■ 日頃の生活について

問 12 次の中からあなたが生きているものをお答えください。(〇はいくつでも)

1. 掃除
2. 洗濯
3. 食卓の支度
4. 食事の後片付け
5. 買い物
6. コミ出し
7. 子どもの世話・勉強の指導、送り迎え(園や悪い事等)
8. 学校のPTA活動や地域の役員
9. 親の世話・介護等
10. その他(具体的に：
11. この中に行っているものはない

問 13 あなたが行っている家事・子育て・介護などに関わる1日あたりの平均従事時間はどのくらいですか。(〇はをれを1つずつ)

	関わっていない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～4時間未満	4時間～6時間未満	6時間～8時間未満	8時間以上
家事	1	2	3	4	5	6	7	8
子育て	1	2	3	4	5	6	7	8
介護	1	2	3	4	5	6	7	8
家事	1	2	3	4	5	6	7	8
子育て	1	2	3	4	5	6	7	8
介護	1	2	3	4	5	6	7	8

問 14 今後、男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に従っていただくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の意識をなくすること
2. 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の意識をなくすること
3. パートナーとのコミュニケーションをよくはかること
4. まわりの人が夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
5. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や同僚の理解を進めること
6. 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどの多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
7. 男性の家事・育児などについて、習得や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
8. 男性が家事・育児などをを行うための仲間(ネットワーク)作りをすすめること
9. マス・メディアで多様な性別役割分担が描かれること
10. その他(具体的に：
11. 特になし
12. わからない

問 15 あなたは職業以外の社会活動、地域活動に参加していますか。(〇は1つ)

1. 参加している
2. 参加していない

問 16 参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 仕事で忙しいから
2. 家事・育児・介護などが忙しかから
3. 健康上の理由から
4. 経済的余裕がないから
5. 家族の理解や協力がないから
6. ひとりでは参加しにくいから
7. 活動や交流の場所がないから
8. 人間関係がわずらわしいから
9. 参加したい活動がないから
10. 参加方法がわからない、きかけ、情報がないから
11. こうした活動に興味がないから
12. 新型コロナウイルス感染症に罹患したくないから
13. その他(具体的に：

問17 あなたは新型コロナウイルス感染症拡大により、生活や行動に次のような変化がありましたか。
(Oはそれぞれ1つずつ)

	とても増えた	少し増えた	どちらともいえない	少し減った	とても減った
A. 仕事の負担	1	2	3	4	5
B. 収入	1	2	3	4	5
C. 精神的な不安やイライラすること	1	2	3	4	5
D. 育児・介護の負担	1	2	3	4	5
E. 家事（食事の準備や掃除等の）負担	1	2	3	4	5

	とても増化した	少し増化した	どちらともいえない	少し減った	とても減った
カ. 家族との関係	1	2	3	4	5

■ 仕事について

問18 女性が職業を持つことについて、あなたはどのように考えですか。最も近いものを選びください。
(Oは1つ)

1. 家族や自分の状況に応じて、就職・転職・離職に柔軟に対応するのが良い
2. 結婚や出産に関わらず、ずっと職業を続ける方が良い
3. 結婚や出産などで一時中断するが、子どもが大きくなったら再び職業を持つ
4. 子どもができてから職業を持ち、子どもができた後初めてその後職業を目指す
5. 結婚するまでは職業を持ち、結婚したら辞めてその後職業を目指す
6. 女性はずっと職業を持たない方が良い

問19 問18でどのように考えた理由は何か。(Oはいくつでも)

1. 働くことを通じて自己実現が望れると思うから
2. 女性も経済力を持った方がよほど思えるから
3. 未婚で働いた方が多くの収入を得られるから
4. 女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから
5. 少子高齢化で働き手が減少しているため、女性も働いた方が良いと思うから
6. 子どもは母親が家で面倒を見てくれる方がよいと思うから
7. 保育園などを払うより、母親が家で面倒を見てくれる方が合理的だと思うから
8. 仕事と家庭の両立が十分ではないと思うから
9. 働き続けるのは大変そうだと思うから
10. 女性は家庭を守るべきだと思うから
11. 女性一人ひとりが自分のことを自分で決められることが大事だから
12. コロナ禍を経験したことによって生き方が変わったから
13. その他（具体的に： ）
14. 特にない

問20 管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。
(Oはいくつでも)

1. やりがいのある仕事ができる
2. 賃金が増える
3. 能力が認められた結果である
4. 家族から評価される
5. 自分自身で決められる事柄が多くなる
6. やるべき仕事が増える
7. 残業、労働時間が増える
8. 責任が増える
9. やっかみが出て足を引っ張られる
10. 仕事と家庭の両立が困難になる
11. 出世が増える
12. その他（具体的に： ）
13. わからない

問21 女性が出産しても職場で同じ報酬で働き続けるために、必要なのは何か。
(Oはいくつでも)

1. 保育所や学習クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2. 家事・育児・介護支援サービスの充実
3. 男性の家事参加への理解・意識改革・実態の把握
4. 女性が働き続けることへの雇用の理解・意識改革
5. 働き続けることへの女性自身の意識改革
6. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
7. 職場における育児・介護への両立支援制度の充実
8. 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
9. 育児や介護による仕事への参入を理由とした昇進などの不利益な取り扱いの禁止
10. 育児や介護に配慮した職場環境
11. 本人の希望に則した自己成長の機会を得られる
12. その他（具体的に： ）
13. 特にない
14. わからない

問22 政治・経済・地域などの分野で女性参加が進み、女性のリーダーが増えることによる影響はあると想いますか。(Oはいくつでも)

1. 多様な視点が増えることにより、新たな価値や商品・サービスが創出される
2. 人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる
3. 女性の声が政治・経済・地域などに反映されやすくなる
4. 国際社会から好印象を与えることができる
5. 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる
6. 男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる
7. 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む
8. 男性の家事・育児などへの参加が増える
9. 男性のポストが減り、男性が活躍しづらくなる
10. 保育・介護などの公的サービスの必要性が増大し、家計負担及び公的負担が増大する
11. その他（具体的に： ）

問 23 政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを推やすときに障害になるものは何だと思いますか。（Oはいくつでも）

1. 必要な知識や経験などを持つ女性がいないこと
2. 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
3. 上司・同僚・部下や顧客が女性リーダーを希望しないこと
4. 長時間労働の改善が十分でないこと
5. 長時間労働の改善が十分でないこと
6. 保育・介護・家事などにおいては、管理職になると忙しさが増えること
7. 保育・介護・家事などにおいては、管理職になると忙しさが増えること
8. その他（具体的に）

■ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問 24 あなたは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を見たり聞いたことがあると思いますか。（Oは1つ）

1. 言葉も内容も知っている
2. 片方だけ知っている
3. 言葉も内容も知らない

※ワーク・ライフ・バランス：仕事と生活の調和と訳され、それが実現した社会は、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に順応して多様な生き方が選択・実現できる社会」とされています。

問 25 生活の中で、仕事、家庭生活、個人の生活（地域活動、趣味・学習等）の優先度についてお聞かせください。

(1) 「希望」としての優先度（Oは1つ）	
1. 仕事を優先	2. 家庭生活を優先
3. 個人の生活を優先	4. 仕事と家庭生活を優先
5. 仕事と個人の生活を優先	6. 家庭生活と個人の生活を優先
7. 仕事、家庭生活、個人の生活すべて	8. わからない
(2) 「現実」としての優先度（Oは1つ）	
1. 仕事を優先	2. 家庭生活を優先
3. 個人の生活を優先	4. 仕事と家庭生活を優先
5. 仕事と個人の生活を優先	6. 家庭生活と個人の生活を優先
7. 仕事、家庭生活、個人の生活すべて	8. わからない

問 26 次のうち、あなたが利用したことのあるものはどれですか。（Oはいくつでも）

1. 育児休業制度
2. 介護休業制度
3. どれも利用したことがない

問 26 で「3. どれも利用したことがない」とお答えの方にお伺いします。
問 27 制度を利用したことがない理由は何ですか。（Oはいくつでも）

1. 休業制度がなかったから
2. 休業制度があることを知らなかったから
3. 自分がなくても家庭内にしてくれる人がいたから
4. それを機に退職したから
5. 休業制度を取りにくい職場の雰囲気があったから
6. 制度を利用すると収入が減るから
7. 自分の仕事や昇進・昇格に支障がでるから
8. 制度はあったが、財源、時間などが対応できなかったから
9. 子どももおらず、介護の必要のない人にも関わらなかったから
10. 聞いたことがないから
11. その他（具体的に）

問 28 育児や介護の休業制度を男女ともに取りやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。（Oはいくつでも）

1. 職場に利用しやすい雰囲気があること
2. 以前に育児・介護休業を利用した人の例があること
3. 上司や同僚などの理解や協力があること
4. 休業中の賃金や手当などの経済的支援があること
5. 育児・介護休業を利用したことによって、昇進や昇格に影響が出ないこと
6. 休業中の代替業務が確保されること
7. 復帰後の仕事が保障されること
8. その他（具体的に）

問 29 「ワーク・ライフ・バランス」の実現のために必要なことは何だと思いますか。（Oは3つまで）

1. 長時間労働を削減すること
2. 育児・介護休業制度を利用しても不利にならない人事評価制度を作ること
3. 短時間勤務やフレックスタイム制度の導入、在宅勤務などのテレワークなど柔軟な働き方を選べるようにすること
4. 育児・介護休業中の経済的支援を充実すること
5. 保育・介護の施設やサービスを充実すること
6. 男女の雇用機会や昇進、待遇格差をなくすること
7. 職場の人材を補充すること
8. 職場や上司の理解・協力を得ること
9. 「男は仕事、女は家庭」という社会通念を改めること
10. 家族の理解・協力を得ること
11. 非正規雇用の労働条件が向上すること
12. 政治家や社会に影響力がある人が率先してワーク・ライフ・バランスを実現している様子を示すこと
13. その他（具体的に）

■ 性のあり方に関することについて

問 30 あなたは今までに自分の性別や性自認、性的指向に違和感を覚えたり、悩んだことはありますか。
(Oは1つ)

1. ある 2. ない

※性自認：自己の性別等に対する認識のこと。
※性的指向：魅力を感じる対象の性別のこと。

問 30で「1. ある」とお答えの方にお返しいします。

問 31 そのことを誰かに相談しましたか。(Oは1つ)

1. 相談した 2. 相談しなかったが、相談しなかった 3. 相談しようと思わなかった 4. どうしていいかわからなかった

問 31で「1. 相談した」とお答えの方にお伺いします。

問 32 誰(ど)に相談しましたか。(Oはいくつでも)

1. 親族 2. 友人・知人 3. 市役所の相談窓口・電話相談(こいのり相談※) 4. 学校の先生(保健室) 5. 学校の先生(保健室以外) 具体的に 6. 医師・看護師・カウンセラー 7. 当事者のための交流スペース等にて 8. その他(具体的に:)

※こいのり相談：日野市が実施する、「自分の身体の性別」ご違和感がある」「同性が好きだけど、誰にも言えなくてつらい」等、性的指向や性自認といった性のあり方についての悩みなどを、一緒に考えるための相談窓口です。

日時：毎月第3 金曜日 13:30~16:30※要予約

場所：日野市多摩平 2-9 多摩平の森ふれあい館

予約：電話 042-587-8177

問 31で「2. 相談しなかったが、相談しなかった」「3. 相談しようと思わなかった」「4. どうしていいかわからなかった」のいずれかとお答えの方にお伺いします。

問 33 相談しなかった理由は何か。(Oはいくつでも)

1. 誰(ど)に相談してよいかわからなかった 2. 相談する人がいなかった 3. 人に相談することに抵抗があった 4. 相談しても信じてもらえないと思った 5. 相談した人から他人にばらざれると思った 6. 就労活動や仕事上で不利になると思った 7. 相談したことで関係性が壊れると思った 8. その他(具体的に:)

問 34 あなたは身近な人などからカミングアウト※された場合、どのように寄り添える・受け止められると思いますか。(Oは1つ)

1. 相手に寄り添って接したい 2. 時間がかかって無理に努めたい 3. 距離を置いてしまう 4. どうしても受け止められない 5. どうしたらよいかわからない 6. 想像することができない

※カミングアウト：自身の性的指向や性自認を、本人が第三者に告白すること。

問 35 あなたは日野市パートナーシップ制度※を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

※日野市パートナーシップ制度：一方又は双方が、多様な性の当事者※である2人が、互いを人生を共に歩むパートナーとし、互いの人権を尊重し、協力し合う事を約した継続的な関係(パートナーシップ)にあることを証明する制度。
※一括的に「性マイノリティ」、LGBT」といわれる当事者の方々について、「多様な性の当事者」という言葉で表現しています。

問 36 日野市では、多様な性の当事者以外にも、法的な関係によらない家族を、パートナーシップ制度の対象とするかどうかを検討しています。あなたはどこまでの範囲を対象とすべきだと思いますか。
(Oはいくつでも)

1. パートナーシップにある相手方の子 2. パートナーシップにある相手方の親 3. 尊属等 4. 現状のままでよい 5. すべてわからない

■ 女性支援新法に関することについて

問 37 あなたは「女性支援新法※」の対象者を知っていますか。(Oは1つ)

1. 児童(女性) 2. 成人女性 3. 高齢女性 4. 性自認が女性である人 5. 下記すべて 6. 全く知らない 7. その他()

※女性支援新法：正式には「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」といいます。様々な事情により困難な問題を抱える女性(そのおそれのある女性を含む)の福祉増進のため、支援策を推進することで、人権が尊重され、女性が自立し、安心して暮らせる社会の実現を目指すことを目的として制定された法律です。

問 38 あなたは日野市内で実施している下記の「相談窓口」を知っていますか。
(知っているといるものをすべてにO)

1. 子ども発達支援センター(子ども発達支援センター・子ども発達相談・子どものこころ電話相談・ヤングケアラーコーディネーター・日野市発達教育支援センター(エール)・スクールカウンセラー) 2. 権利に関する窓口(市営相談・子どもオンズバートン・福祉オンズバートン) 3. ひきこもり相談(個別相談会・オンライン相談会・出張個別相談会) 4. 生活や福祉に関する窓口(女性相談・加齢包括支援センター・ケアマネジャー・高齢福祉課・障害福祉課・セーフティネットコールセンター・みらいと) 5. その他() 6. 全く知らない

問 39 あなたは自分らしくいられる安心できる居場所※があると感じますか？(Oは1つ)

1. あると感じる 2. ないと感じる

※居場所：ここでは、家などの場所だけではなく、相談できる人やいつでも受け入れもらえる相談先(窓口、電話やSNS等)を含みます。

■ 配偶者暴力防止法に関することについて

問 40 あなたは「デートDV」という言葉を耳なり聞いたことがありますか。(Oは1つ)

- 言葉も内容も知っている
- 耳なり聞いたことはあるが、内容は知らない
- 言葉も内容も知らない

問 41 あなたは身近なところで次のハラスメント（嫌がらせ）を受けたことがありますか。(Oはいくつでも)

- 権力や立場を利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）
- 性的な嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）
- 妊娠・出産育児に関するハラスメント（マタニティ・ハラスメント/パタニティ・ハラスメント）
- 性的指向・性自認に関するハラスメント
- モラル・ハラスメント
- その他（具体的に：_____）
- 受けたことはない

問 42 あなたは配偶者（事実婚・パートナー）や交際相手から次のような行為をされたことがありますか。(Oはいくつでも)

- だんく、殴る、蹴る、殴るなど身体的暴力
- 大声でとどろく、殴るふりをするなど恐怖感を与える
- 外出などを制限する
- 交際関係や電話・メールを細かく監視する
- 何を言っても無視する
- 性的な行為を強要したり強姦に及ぼさない
- 「誰のおかげで生活できるんだ」「中絶性なし」などと毎日のこととを言う
- 生活を十分に苦でない
- 皆にない

問 42 で「1」～「8」のいずれか1つでもお答えの方にお伺いします。

問 43 そのことについて誰かに相談しましたか。(Oは1つ)

- 相談した
- 相談したかったが、相談しなかった
- 相談しようと思わなかった
- どうしていいかわからなかった

問 44 あなたは、配偶者（事実婚・パートナー）や交際相手から暴力を受けたときに、相談できる機関があることを知っていますか。(Oは1つ)

- 知っている
- 知らない

問 44 で「1. 知っている」とお答えの方にお伺いします。

- 都の相談窓口（東京ウィメンズプラザや東京都女性相談センターなど）
- 市の相談窓口（女性相談係、こじら相談）
- 警察
- 弁護士
- 法テラス（日本司法支援センター）
- その他（具体的に：_____）

※女性相談：自分の生き方や家族との関係、パートナー、交際相手からの暴力など、様々な悩みを解決するために女性相談員が一緒に考える、日野市の相談窓口です。※要予約

日時：毎月第1～4火曜日 18：00～21：00
毎月第1～4水曜日 9：45～16：00
毎月第1金曜日 13：30～16：30
場所：日野市多摩平2-9 多摩平の森ふれあい館
予約：電話 042-587-8177

問 43 で「1. 相談した」とお答えの方にお伺いします。

問 46 誰（どこ）に相談しましたか。(Oはいくつでも)

- 親族
- 友人・知人
- 戸役所の相談窓口・電話相談
- 市役所以外の公の相談窓口（区、都など）
- 警察
- 民生・児童委員会など
- 医師・看護師・カウンセラー
- その他（具体的に：_____）

問 43 で「2. 相談したかったが、相談しなかった」、「3. 相談しようと思わなかった」、「4. どうしていいかわからなかった」のいずれかとお答えの方にお伺いします。

問 47 相談しなかった理由は何ですか。(Oはいくつでも)

- 誰（どこ）に相談していいか、わからなかった
- 相談する人がいなかった
- 人に相談することに抵抗があった
- 相談しても無駄だと思った
- 相談したことがわかるまで、さらにひどい暴力を及ぼると思った
- 我慢すればこのままやっていけると思った
- 子どもにも暴力を振るわれると思った
- 他人に迷惑をかけたくなかった
- 自分にも過ちがあると思った
- 相談するほどのことではないと思った
- 暴力を受けたという自覚がなかった
- その他（具体的に：_____）

■ 市が取り組むべきこと

問 48 男女平等社会の形成のため市が取り組むべきこと（性的マイノリティ施策、DV 被害防止施策を含む）だと思っものはどれですか。(Oはいくつでも)

- 男女平等に関する講習会や学習機会の充実
- 男女平等に促す相談窓口の充実
- 男性のための悩み相談
- 男女平等に関する情報誌や図書、資料コーナーの充実
- 女性のキャリアアップ、企業、就業に役立つ訓練、相談や再就職支援
- 男女平等参画のための普及・啓発
- 保育・介護制度の充実
- 性別・年代別のニーズに応じた健康支援
- 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を推進するための取り組み
- 男性に向けた男女平等に関する啓発
- 地域コミュニティでの男女平等の推進
- 防犯分野で男女平等の視点を取り組む
- 男女平等教育の推進（地域のリーダー、教育者、管理者などにも必要）
- あらゆる層の権利に向けた取り組み
- 市の協議会などへの女性の参加推進
- 多様な性のあり方に関する理解促進・支援体制の整備
- 民間の団体・グループの自主活動の支援
- 包括的性教育の推進
- その他（具体的に：_____）
- 特にない
- わからない

※包括的性教育：性クセリアリティの認知、感情的、身体的、社会的諸側面について、カリキュラムをベースにした教育と学習のプロセスのこと。子どもや若者が、人間関係やジェンダー理解等、8 つのキーコンセプトについて学習し、知識や態度、スキルを身につけて、彼らが、自らの健康やウェルビーイング（幸福）、自尊心について認識すること、自らの要求が他者のウェルビーイング（幸福）に与える影響について考えること、自身の権利を理解してこれに基づいて行動すること、他者の権利を尊重することといった到達目標がある。

くノエスコ 仮定版 国際セクシュアリティ教育ガイドラインより

切手は貼らずに同封の封筒に入れて、8月31日（土）までにご返送ください。調査にご協力いただき、ありがとうございます。

日野市
男女平等についての市民意識アンケート
調査結果報告書

令和6年12月

日野市 企画部 平和と人権課
〒191-0062
日野市多摩平 2-9
多摩平の森ふれあい館 2 階
電話：042-584-2733